

LogVillage 2.0

運用マニュアル

V2.3J

株式会社 蒼天

logVillage2.0 運用マニュアル

revision : MJ-23-20170927

timeKeeper の運用は「LogVillage_timeKeeper 運用マニュアル」をご参照ください。

- *本書に記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- *本ソフトウェアを無断で複製することを禁止します。
- *本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- *本書の内容に関しては、将来予告なしに変更する場合があります。

株式会社蒼天

<http://www.so-ten.co.jp/>

support@so-ten.co.jp

〒135-0032

東京都江東区福住 1-14-4 山崎ビル 1F

TEL:03-5809-8406 FAX:03-5809-8495

Copyright © 2003-2016 SO-TEN, Inc. All Rights Reserved.

目次

1. LogVillage 機能概要	5
1.1 メニュー系統図	6
1.2 機能一覧	7
LogVillage の主な機能	7
LogVillage のシステム設定	9
1.3 各機能画面とシステム設定画面との関係	12
1.4 グループとLogVillage ユーザーの関係図	13
2. 機能説明	14
2.1 トップ画面	14
2.1.1 ログイン後の画面	15
2.2 稼働管理	16
2.2.1 パフォーマンスログ	16
2.2.2 イベントログ	23
2.2.3 サービス稼働時間	27
2.2.4 プロセス稼働時間	30
2.2.5 セキュリティ対策更新状況	32
2.2.6 アプリケーションインストール履歴	38
2.3 資産管理	41
2.3.1 PC 資産管理台帳	41
2.3.2 指定アプリケーションの設定	45
2.4 操作管理	48
2.4.1 Web アクセス履歴	48
2.4.2 印刷履歴	51
2.4.3 ログオン・オフ履歴	54
2.4.4 デバイス接続履歴	59
2.5 ネットワークスキャン	62
2.6 アラート通知履歴	64
2.7 セキュリティサマリ	67
3. システム設定	68
メニュー系統図	69
3.1 共通設定	70
3.1.1 ポーリングサーバ	70
3.1.2 グループ	73
3.1.3 管理対象 PC	75
3.1.4 トップ画面	81
3.1.5 WindowsUpdate 情報	82
3.1.6 ウィルス対策ソフト定義ファイル	85
3.1.7 プロセス名辞書	87
3.1.8 拡張項目名(資産管理)	90
3.1.9 ネットワークスキャン設定	91
3.1.10 ネットワークスキャンアラート設定	92
3.2 グループ単位設定	94

3. 2. 1	LogVillage ユーザー	94
3. 2. 2	ログ収集スケジュール	100
3. 2. 3	管理対象プロセス	103
3. 2. 4	管理対象サービス	105
3. 2. 5	管理対象フォルダ	107
3. 2. 6	指定アプリケーション	112
3. 2. 7	保有ソフトウェアライセンス	116
3. 2. 8	拡張項目データ登録(資産管理)	118
3. 3	アラートポリシー設定	120
3. 3. 1	禁止 Web サイトアクセス	123
3. 3. 2	禁止印刷ファイル/枚数制限	126
3. 3. 3	禁止アカウントログオン	129
3. 3. 4	禁止デバイス接続	131
3. 3. 5	指定イベントログ発生	136
3. 3. 6	プロセス検知	139
3. 3. 7	サービス検知	143
3. 3. 8	ウィルス定義ファイル未更新	147
3. 3. 9	アプリケーション・インストール検知	149
3. 3. 10	PC リソースしきい値超過	153
3. 4	運用管理	155
3. 4. 1	ライセンスの登録・更新	155
3. 4. 2	LogVillage へのログイン履歴	156
3. 4. 3	LogVillage の稼動モニター	157
3. 4. 4	ユーザー情報変更	159
4.	お問合せ	160
<<	補足資料	>> 161

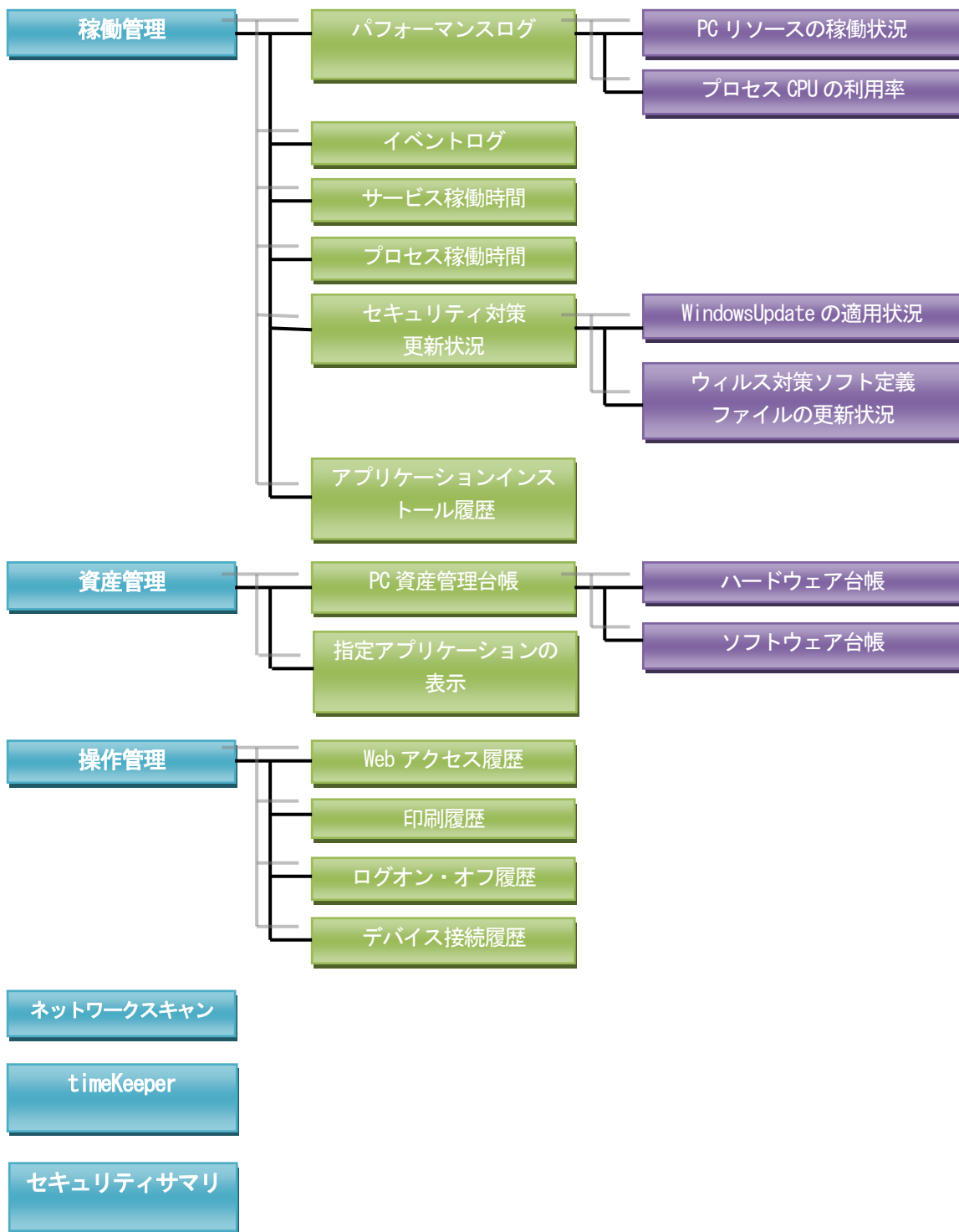
1. LogVillage 機能概要

LogVillage2.0は、管理対象管理ソフトウェアとして、アプリケーション&PCの稼働状況のレポート、障害・性能管理、セキュリティリスクの把握、PC資産管理、操作ログ収集などを行います。

この章では、LogVillageの機能概要について説明します。

✓購入ライセンスによってオプション機能は異なります。

1. 1 メニュー系統図



1. 2 機能一覧

LogVillage の主な機能

LogVillage の主な機能を説明します。

■稼働管理

PC 自体の動きを確認できる機能です。

・パフォーマンスログ

PC リソースの稼働状況

管理対象 PC のリソース稼働状況をグラフで示します。表示内容は、CPU、メモリ残、ネットワーク I/O、HDD 残、ディスク I/O です。

プロセス CPU の利用率

管理対象 PC のプロセスの CPU 利用率を円グラフで示します。どのプロセスが多く使われているかを確認することによって、利用者がどんな仕事をしているか知るヒントになります。

・イベントログ

管理対象 PC のイベントログのエラーと警告について表示します。

・サービス稼働時間

管理対象 PC のサービスが稼働した時間を表示します。

・プロセス稼働時間

管理対象 PC のプロセスが稼働した時間を表示します。

・セキュリティ対策更新状況

WindowsUpdate の適用状況

管理対象 PC の WindowsUpdate 適用状況を表示します。

ウイルス対策ソフト定義ファイルの更新状況

ウイルス対策ソフトウェアの定義ファイルの更新状況を確認することができます。

・アプリケーションインストール履歴

管理対象 PC のアプリケーションインストール履歴を表示します。

■資産管理

使用しているハードウェアやソフトウェアを管理します。

・PC 資産管理台帳

ハードウェア台帳

管理対象 PC のコンピュータ名、機種名、メーカー名、S/N、CPU、CPU 数、メモリ（総容量）、HDD 総容量、HDD 空き容量、OS、SP、Product ID、アクティベート、ユーザー拡張項目を表示します。

ソフトウェア台帳

管理対象 PC のソフトウェア一覧を表示します。

・指定アプリケーションの設定

管理対象 PC の任意に指定したアプリケーションを表示します。

・操作管理

ユーザーの操作ログ管理を行います。

・Web アクセス履歴

Web アクセス履歴を表示します。（IE6, 7 Firefox1.5, 2.0, 3.0, 3.5 での履歴を対象とします。）

・印刷履歴

管理対象 PC の印刷履歴を表示します。

・ログオン・オフ履歴

管理対象 PC のログオン・ログオフ履歴を表示します。

・デバイス接続履歴

管理対象 PC のデバイス接続履歴を表示します。

■ネットワークスキャン

検出したノードを表示します。。

■アラート通知履歴

アラート通知履歴を表示します。

■セキュリティサマリ

指定した期間のアラート通知履歴の集計の比較を表示します。

LogVillage のシステム設定

各種ログ取得の設定や管理対象 PC の設定を行うことができます。

■共通設定

・ポーリングサーバー

LogVillage マネージャに接続しているポーリングサーバーを確認・設定します。

・グループ

管理対象 PC をグループ化して登録することができます。
部署ごとにグループを作成するとわかりやすく管理ができます。グループごとに設定を行うこともできます。

・管理対象 PC

管理対象 PC の登録、削除、管理、ステータスの設定を行いません。

・トップ画面 (

LogVillage のログイン画面でメッセージを表示することができます。
表示設定に文字列を入力し、変更ボタンをクリックしてください。

・WindowsUpdate 情報

管理対象 PC の WindowsUpdate 情報を設定します。

・ウイルス対策ソフト定義ファイル (p.85)

ウイルス対策ソフト/定義ファイルの保存場所を設定します。

・プロセス名辞書

Logvillage は管理対象 PC のプロセス情報とインストールされているアプリケーション情報をそれぞれ取得することができますが、どのアプリケーションがどのプロセスか、という情報は保持していません。
したがって、プロセスの、プロセス稼働時間、システム管理画面のプロセス・アプリケーション登録やアラートリストにおいて、どのようなアプリケーションか把握するにはプロセス名とアプリケーション名を結びつける設定が必要になります。

・拡張項目名 (資産管理台帳)

資産管理の追加項目の設定と HDD 残容量警告値の設定を行います。

ハードディスクの残容量警告値の設定

ハードディスクの残容量警告値の設定を行います。
空白の場合は残容量のチェックを行いません。

ハードウェア台帳の拡張項目の設定

ハードウェア台帳の拡張項目の設定を行います。

LogVillage の PC 資産情報は、WMI 情報より取得しています。WMI 情報以外の項目（例・リース期限、利用者名など）を管理する場合に使用します。

・ネットワークスキャン設定

ネットワークスキャンを実行する IP アドレス範囲や時間を設定します。

・ネットワークスキャンアラート設定

新規兼 sy つつノードや、検出されなくなったノードをアラート通知するための条件を設定します。

■グループ単位設定

・LogVillage ユーザー

LogVillage を利用するユーザーの設定を行います。

・ログ収集スケジュール

グループ毎のスケジュールの管理を行なうことができます。
どの項目をどのくらいの間隔で取るかを設定します。

・指定アプリケーション

バージョン管理などのために、特定のソフトウェアをグルーピングして設定可能です。

・管理対象サービス

稼働時間を確認したいサービスを登録します。

・管理対象プロセス

稼働時間を確認したいプロセスを登録します。

・管理対象フォルダ

ファイル管理でファイル更新履歴を取得するフォルダを登録します。

・保有ソフトウェアライセンス

保有ライセンスの台数を登録します。

・拡張項目データ登録（資産管理）

資産管理の追加項目の入力を行ないます。

■アラートポリシー設定

・禁止 Web サイトアクセス

禁止 Web サイトを設定します。

- ・ **禁止印刷ファイル/枚数制限**
禁止印刷ファイル/枚数制限を設定します。
- ・ **禁止アカウントログオン**
禁止アカウントでのログオンを設定します。
- ・ **禁止デバイス接続**
禁止デバイスの接続を設定します。
- ・ **指定イベントログ発生**
指定イベントログの発生を設定します。
- ・ **サービス検知**
サービスの検知を設定します。
- ・ **プロセス検知**
プロセスの検知を設定します。
- ・ **ウイルス定義ファイル未更新**
ウイルス対策ソフトの定義ファイル未更新の設定を行います。
- ・ **アプリケーション・インストール検知**
アプリケーション・インストールの検知を設定します。
- ・ **PC リソースしきい値超過**
PC リソースのしきい値超過を設定します。

■運用管理

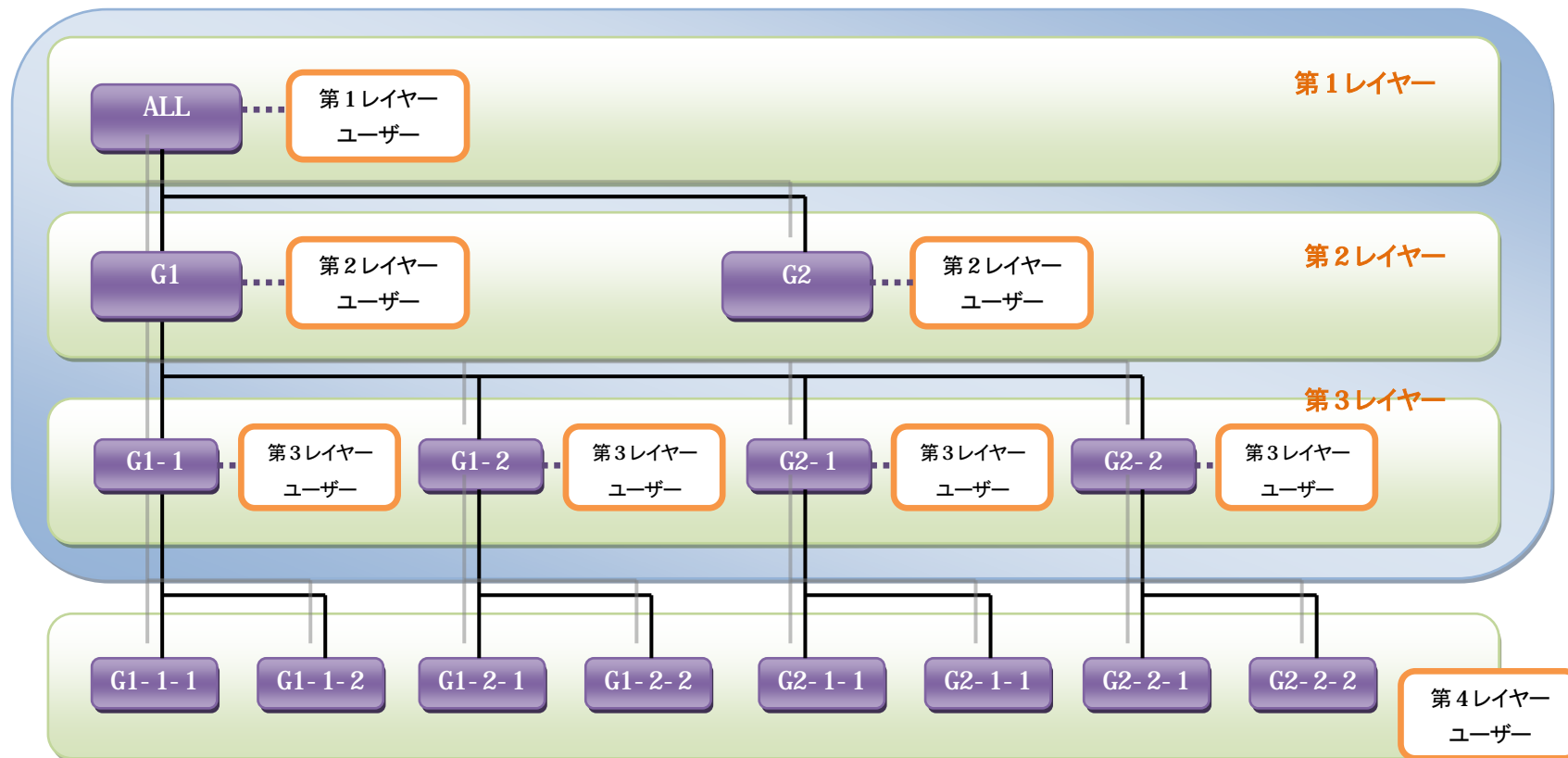
- ・ **ライセンス登録・更新**
使用オプションを変更したり、登録可能管理対象を変更したりする場合にはライセンスの更新が必要です。ライセンス情報の内容を変更する場合には、蒼天もしくは販売店までご連絡ください。
- ・ **LogVillage ログイン履歴**
LogVillage へのログオン履歴を確認することができます。
- ・ **LogVillage 稼働モニター (p. 157)**
稼働中の状況が確認できます。赤丸はエラーとなります。
- ・ **ユーザー情報変更**
現在ログオンしているユーザー自身のメールアドレスとパスワードを変更することが可能です。

1. 3 各機能画面とシステム設定画面との関係

LogVillage では、初期設定しないとログが採取できない機能が存在します。
LogVillage の機能とシステム設定画面との関係を以下に示します。

ログ表示画面		[システム設定] 画面		
分類	画面名	「共通設定」画面	「グループ単位設定」画面	
トップ画面		トップ画面	—	
稼働管理	パフォーマンスログ	—	—	
	イベントログ	—	—	
	サービス稼働時間	—	管理対象サービス	
	プロセス稼働時間	プロセス名辞書	管理対象プロセス	
	セキュリティ対策更新状況	WindowsUpdate の適用状況	WindowsUpdate 情報	—
		ウイルス対策ソフト定義ファイルの更新状況	ウイルス対策ソフト定義ファイル	—
	アプリケーションインストール履歴	—	—	
資産管理	PC 資産台帳	ハードウェア台帳 ※HDD 残要領警告値を設定した場合、台帳上に残容量不足の警告表示	拡張項目名 (資産管理) ※拡張項目が必要ない場合は設定不要	拡張項目データ管理 (資産管理) ※拡張項目が必要ない場合は設定不要
		ハードウェア詳細情報	拡張項目名 (資産管理) ※拡張項目が必要ない場合は設定不要	拡張項目データ管理 (資産管理) ※拡張項目が必要ない場合は設定不要
		ソフトウェア台帳	—	—
	指定アプリケーションの表示	—	指定アプリケーション	
操作管理	Web アクセス履歴	—	—	
	印刷履歴	—	—	
	ログオン・オフ履歴	—	—	
	デバイス接続履歴	—	—	
	アラート通知履歴	—	—	
ファイル管理			管理対象フォルダ	

1. 4 グループと LogVillage ユーザーの関係図



LogVillage のグループとは？

管理対象 PC をグループ管理したり、LogVillage 操作画面のユーザーをグループに所属させ権限を管理することができます。導入直後は、第1レイヤーである「ALL」だけが設定されています。必要に応じてグループを作成してください。また、グループは階層構造（30 まで）にすることができます。会社の組織と対応させると管理がしやすくなります。

2. 機能説明

2. 1 トップ画面

2. 1. 1 ログイン画面

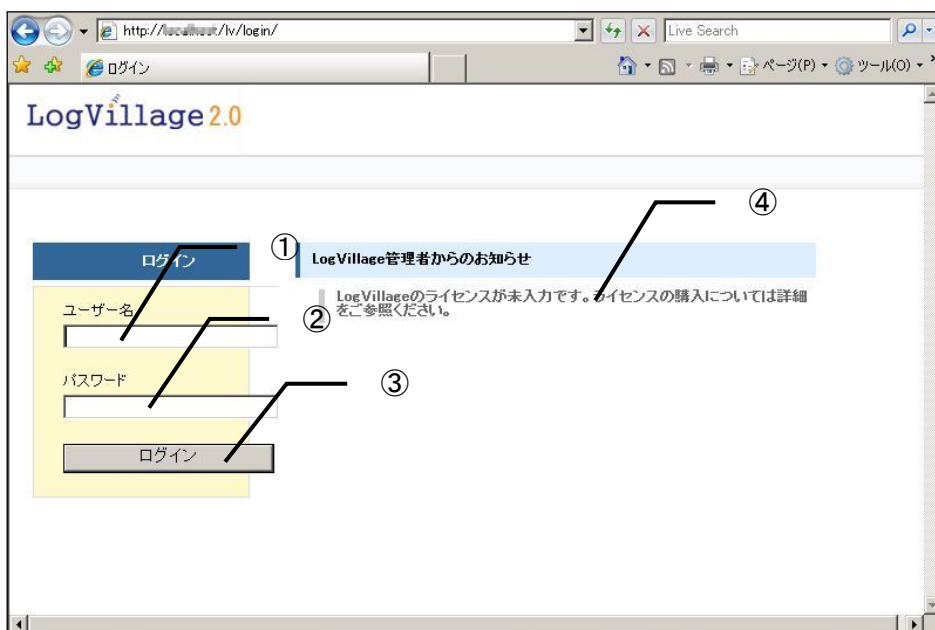
インターネットブラウザにて、「<http://ホスト名/lv/login>」にアクセスします。

ログイン画面が表示されます。

- ①ユーザー名を入力します。
- ②パスワードを入力します。
- ③「ログイン」ボタンをクリックしてください。

- ・ユーザー名 so-ten
- ・パスワード so-ten

- ④LogVillage 管理者からのお知らせ
システム設定にて設定を行うことによってお知らせの表示が可能です。
(p. 81 参照)



2. 1. 2 ログイン後の画面

ログインするとログイン完了のメッセージとともにメニューが表示されます。



2. 2 稼働管理

PC 自体の動きを管理する機能です。

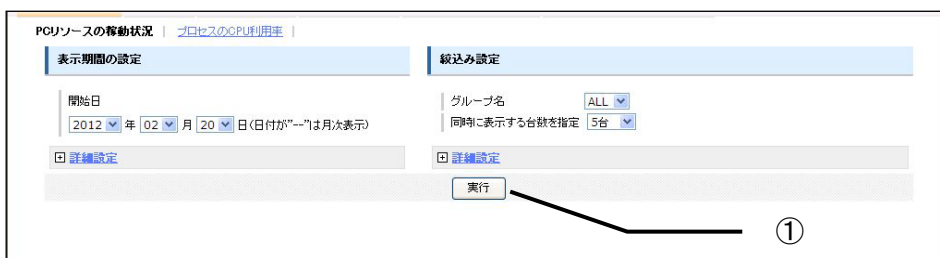


2. 2. 1 パフォーマンスログ

PC リソースの稼働状況

管理対象 PC のリソース稼働状況をグラフで示します。
表示内容は、CPU、メモリ残、ネットワーク I/O、HDD 残、ディスク I/O です。

① 「実行」 ボタンをクリックすると稼働状況が表示されます。



■ 絞り込み設定

さらに条件を絞り込みたい場合は、詳細設定をクリックし詳細設定を開いて条件を設定してください。

✓管理対象 PC が多い場合、条件の絞り込みせずに検索を行うと時間がかかる場合があります。

✓日付指定が-の場合、月次で出力します。

✓ALL の場合は、管理対象 PC のすべてを表示します。ALL が出てこない場合は LogVillage ユーザーが第二レイヤー以降の場合となります。

・表示期間の設定

①終了日

開始日と合わせて範囲指定することが可能です。

②一日毎の時間帯指定

特定の時間に絞り込んで結果を出力することが可能です。

③曜日指定

特定の曜日に絞り込んで結果を出力することが可能です。

・絞り込み設定

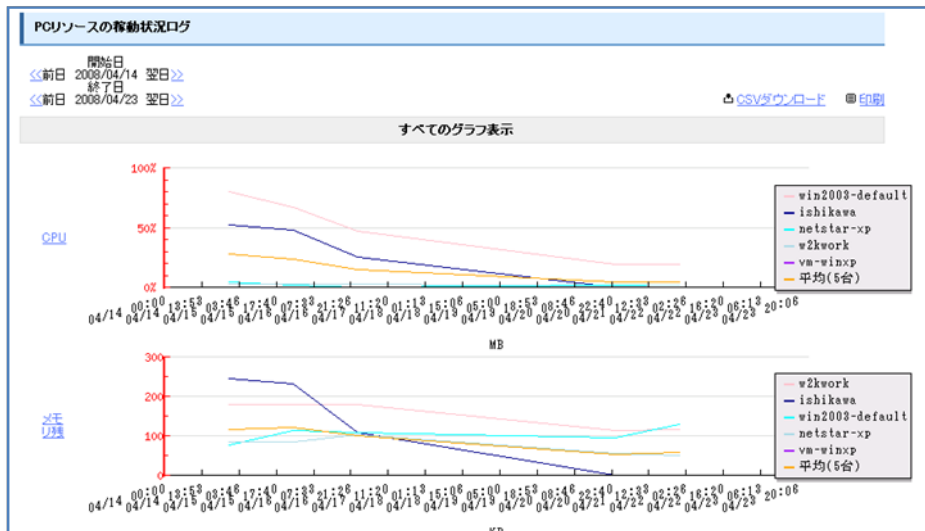
④コンピュータ名を指定

特定のコンピュータに絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)

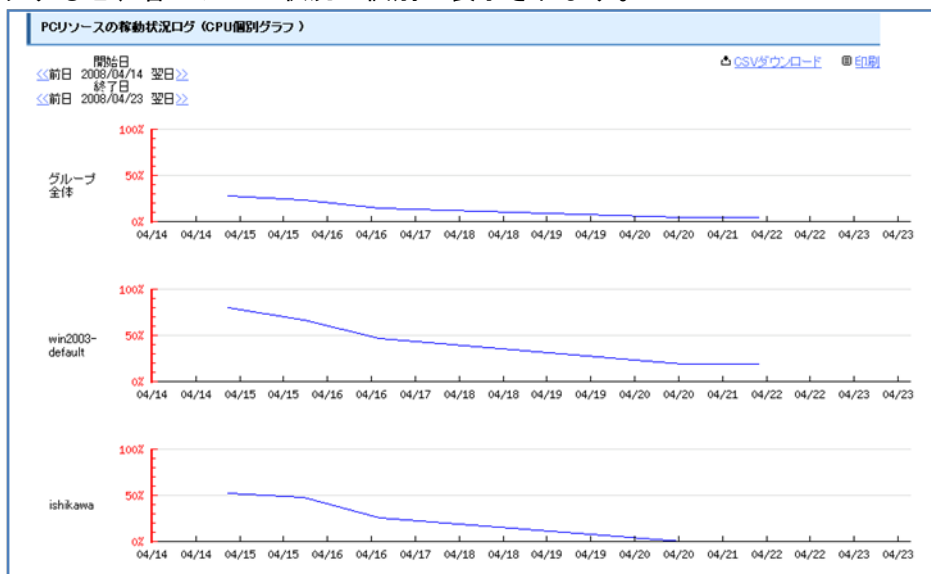
⑤表示するリソースを指定 (複数選択可)

表示したい項目をチェックして絞り込むことが可能です。
CPU メモリ残 ネットワーク IO HDD 残 ディスク IO

■出力結果



CPU、メモリ残、ネットワーク IO、HDD 残、ディスク IO の各項目をクリックすると、各マシンの状況が個別に表示されます。



■CSV ダウンロード

条件設定を行った内容が CSV でダウンロード可能です。

"□ 検索条件"

開始日, 2008-03-31

終了日, --

一日毎の時間指定, : ~:

曜日指定,

グループ名, ALL

コンピュータ名,

"□ レポート"

日時, グループ名, クライアントPC名, CPU使用率, メモリ使用, ネットワーク

IO, HDD残, ディスクIO

"2008-03-31

08:00:00", ALL, win2003-default, 16.13772, 281514, 37, 3639649
7, 9.5

"2008-03-31

09:00:00", ALL, win2003-default, 10.069922, 263663, 59, 363934
72, 5

"2008-03-31

11:00:00", ALL, win2003-default, 20.35264, 195268, 60, 3637862
4, 4.5

"2008-03-31

10:00:00", ALL, win2003-default, 12.41954, 216792, 58, 3638650
8, 3

"2008-03-31 11:00:00", ALL, ishikawa, 0, 0, 0, 0, 0

"2008-03-31 09:00:00", ALL, ishikawa, 0, 0, 0, 0, 0

"2008-03-31 08:00:00", ALL, ishikawa, 0, 0, 0, 0, 0

"2008-03-31 10:00:00", ALL, ishikawa, 0, 0, 0, 0, 0

"2008-03-31

10:00:00", ALL, vm-winxp, 0.251574, 76887, 5, 17423360, 0

:

:

■印刷

画面の内容が印刷されます。

プロセス CPU の利用率

管理対象 PC のプロセスの CPU 利用率を円グラフで示します。
どのプロセスが多く使われているかを知ることによって、利用者がどんな仕事をしているか知るヒントになります。

①「実行」ボタンをクリックすると利用率が表示されます。

✓管理対象 PC が多い場合、条件の絞り込みせずに検索を行うと時間がかかる場合があります。

✓日付指定が-の場合は、月次で出力します。

■詳細条件の設定

さらに条件を絞り込みたい場合は、詳細設定をクリックし詳細設定を開いて条件を設定してください。

・表示期間の設定

①終了日

開始日と合わせて範囲指定することが可能です。

②一日毎の時間帯指定

特定の時間に絞り込んで結果を出力することが可能です。

③曜日指定

特定の曜日に絞り込んで結果を出力することが可能です。

・絞り込み条件

④コンピュータ名を指定

特定のコンピュータに絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)

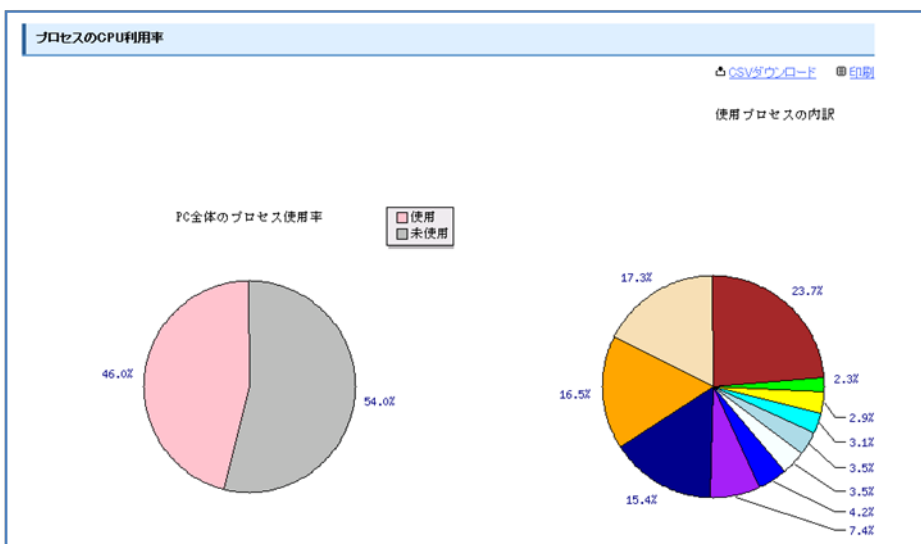
⑤アプリケーション名 or プロセス名を指定

特定のアプリケーション名、プロセス名などに絞りこんで結果を出力することが可能です。表示したい項目をチェックください。
(部分一致可)

■出力結果

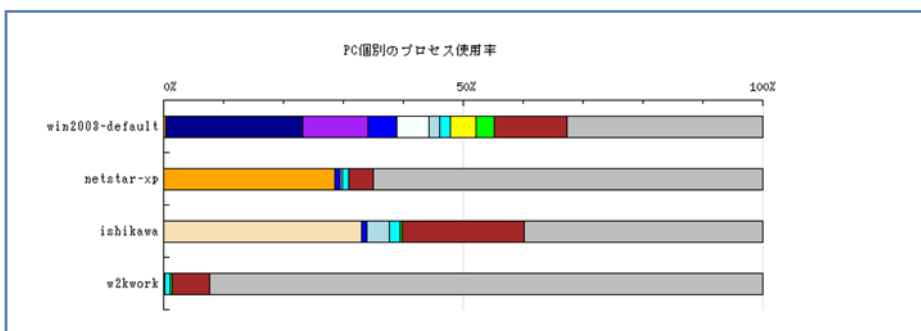
- ・ PC 全体のプロセス使用率
- ・ 使用プロセスの内訳

PC の稼働状況が確認可能です。
どんなプロセスがよく使用されているか確認可能です。



・ PC 個別のプロセス使用率

PC 毎にどんなプロセスが使われているか確認可能です。



✓アプリケーション名で検索する場合は、「システム設定→共通設定→プロセス名辞書」(p. 87)にて設定が必要です。

✓パフォーマンスの表示にアプリケーション名を表示するためには、「システム設定→共通設定→プロセス名辞書」(p. 87)にて設定が必要です。

■ CSV ダウンロード

条件設定を行った内容が CSV でダウンロード可能です。

```
"□ 検索条件"  
開始日, 2008- 03- 31  
終了日, --  
一日毎の時間指定, : ~:  
曜日指定,  
グループ名,  
アプリケーション名,  
コンピュータ名,  
プロセス名,  
" 指定アプリケーション名 ",  
  
"□ レポート"  
日時, グループ名, クライアントPC名 , プロセス名, プロセスID, プロセスのCPU利  
用率  
"2008- 03- 31 10: 00: 00", ALL, wi n2003- defaul t, ALG, 2540, 0. 00  
"2008- 03- 31 11: 00: 00", ALL, wi n2003- defaul t, ALG, 2540, 0. 00  
"2008- 03- 31  
10: 00: 00", ALL, wi n2003- defaul t, APACHEMONI TOR, 3580, 0. 08  
"2008- 03- 31  
11: 00: 00", ALL, wi n2003- defaul t, APACHEMONI TOR, 3580, 0. 00  
"2008- 03- 31 10: 00: 00", ALL, wi n2003- defaul t, CSRSS, 768, 0. 00  
"2008- 03- 31 11: 00: 00", ALL, wi n2003- defaul t, CSRSS, 768, 0. 00  
"2008- 03- 31  
10: 00: 00", ALL, wi n2003- defaul t, CTFMON, 3560, 0. 00  
:  
:
```

■ 印刷

画面の内容が印刷されます。

2.2.2 イベントログ

管理対象 PC のイベントログのエラーと警告について表示します。

①「実行」ボタンをクリックするとイベントログ一覧が表示されます。



✓特定のイベントをアラートして検知したい場合には、「システム設定→アラートポリシー設定→指定イベントログ発生」(p.136)にて設定が必要です。

✓日付指定が-の場合は、月次で出力します。

■詳細条件の設定

さらに条件を絞り込みたい場合は、詳細設定をクリックし詳細設定を開いて条件を設定してください。



・表示期間の設定

①終了日

開始日と合わせて範囲指定することが可能です。

②一日毎の時間帯指定

特定の時間に絞り込んで結果を出力することが可能です。

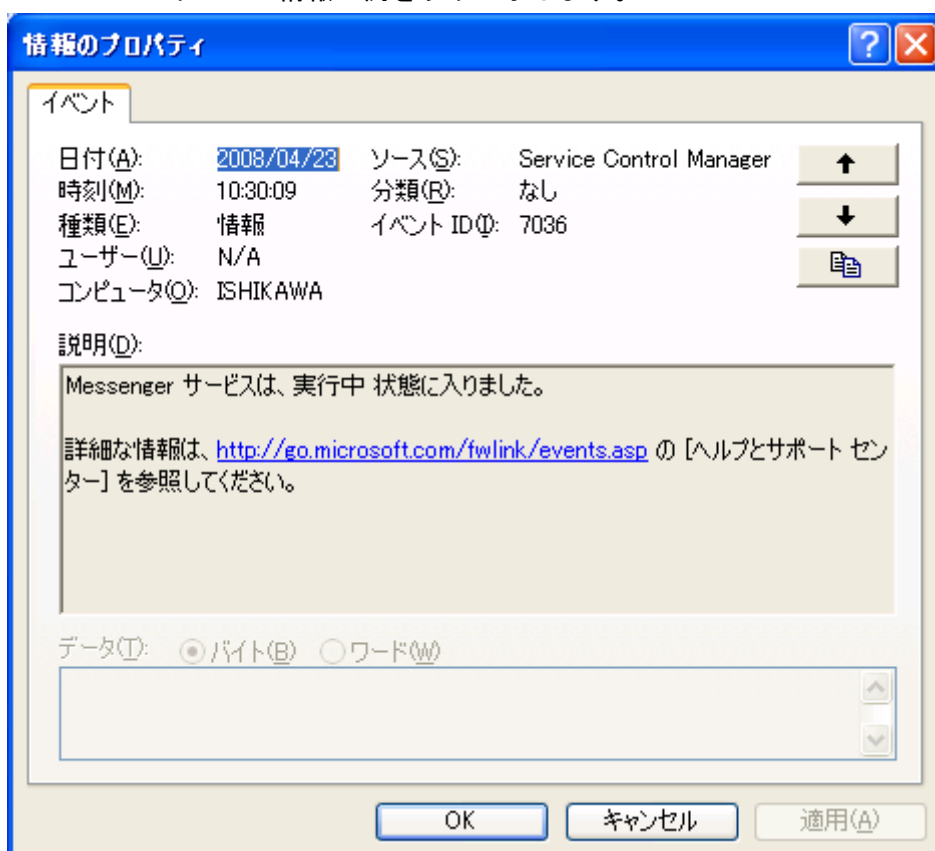
③曜日指定

特定の曜日に絞り込んで結果を出力することが可能です。

・絞り込み条件

- ④コンピュータ名を指定
特定のコンピュータに絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)
- ⑤ログオンアカウント名を指定
特定のログオンアカウントに結果を出力することが可能です。
(部分一致可)。
- ⑥イベントの種別を指定 (複数選択可)
アプリケーション、セキュリティ、システムのイベントの種類が指定可能です。
- ⑦イベントの種別を指定 (複数選択可)
エラー、警告、情報のイベントの種類が指定可能です。
- ⑧イベント ID を指定
特定のイベント ID が指定可能です。(部分一致可)
- ⑨イベントのソースを指定
特定のイベントソースが指定可能です。(部分一致可)
- ⑩イベントの説明のキーワードを指定
イベントの説明文字列から部分一致検索が可能です。

Windows 上のイベント情報の例を以下に示します。



■ 出力結果

イベントログ								
◀ 前日 2008/03/28 翌日 ▶				CSVダウンロード		印刷		
日付▼	グループ名▼	コンピュータ名▼	ログオンアカウント名▼	種類▼	種類▼	イベントID▼	ソース▼	説明▼
2008-03-28 08:43:04	ALL	ishikawa	N/A	システム	警告	4	b57w0k	次の情報はイベントの一部です。 - Broadcom NetLink (TM) Fast Ethernet
2008-03-28 08:43:37	ALL	ishikawa	N/A	システム	エラー	5	ACPI	次の情報はイベントの一部です。 - AMLIO:810x81 - 0x83
2008-03-28 08:43:46	ALL	ishikawa	N/A	システム	警告	1003	Dhcp	ネットワーク アドレスが 0013E8234D49 のネットワーク カードに付いて、ネットワーク (DHCP サーバー) から割り当てられたアドレスを書き換えることができませんでした。次のエラーが発生しました。NNT21 ネットワーク アドレス (DHCP) サーバーから引き続き、アドレスの取得を試みます。
2008-03-28 08:43:56	ALL	ishikawa	N/A	システム	警告	1007	Dhcp	ネットワーク アドレスが 0013E8234D49 のネットワーク カードに付する IP アドレスを自動的に構成しました。使用している IP アドレスは 169.254.225.82 です。
2008-03-28 08:44:02	ALL	ishikawa	N/A	システム	エラー	2505	Server	ネットワークの別のコンピュータが同じ名前を使用しているため、サーバーはトランスポート VDeviceNetB1_Topip_40F1CBF9-2964-48AE-996D-2F94311B1A60 にコトバインドできませんでした。サーバーを起動できませんでした。
2008-03-28 08:51:50	ALL	ishikawa	N/A	システム	警告	1003	Dhcp	ネットワーク アドレスが 0013E8234D49 のネットワーク カードに付いて、ネットワーク (DHCP サーバー) から割り当てられたアドレスを書き換えることができませんでした。次のエラーが発生しました。NNT21 ネットワーク アドレス (DHCP) サーバーから引き続き、アドレスの取得を試みます。
2008-03-28 11:03:37	ALL	win2003-default	N/A	アプリケーション	エラー	439	ESENT	services (820) ファイル D:\installer\FollowingServer\hisecws.sdb のシャドウ ヘッダーを書き込めません。エラー -1032 が発生しました。

■ CSV ダウンロード

条件設定を行った内容が CSV でダウンロード可能です。

開始日, 2008-03-28
終了日, --
一日毎の時間指定, :~:
曜日指定,
グループ名を指定, ALL
コンピュータ名を指定,
ログオンアカウント名を指定,
イベントの種別を指定,
イベントの種類を指定,
イベントIDを指定,
"イベントのソースを指定",
イベントの説明のキーワードを指定,
日付, グループ名, コンピュータ名, ログオンアカウント名, 種別, 種類, イベントID, "ソース", 説明
"2008-03-28 08:43:04", ALL, i shi kawa, N/A, システム, 警告, 4, b57w2k, "次の情報はイベントの一部です。- Broadcom NetLink (TM) Fast Ethernet"
"2008-03-28 08:43:37", ALL, i shi kawa, N/A, システム, エラー, 5, ACPI, "次の情報はイベントの一部です。- AMLI 0x810x81 - 0x83"
"2008-03-28 08:43:46", ALL, i shi kawa, N/A, システム, 警告, 1003, Dhcp, "ネットワーク アドレスが 0013E8234D49 のネットワークカードに対して、ネットワーク (DHCP サーバー) から割り当てられたアドレスを書き換えることができませんでした。次のエラーが発生しました:
%%121
ネットワーク アドレス (DHCP) サーバーから引き続き、アドレスの取得を試みます。"
"2008-03-28 08:43:56", ALL, i shi kawa, N/A, システム, 警告, 1007, Dhcp, "ネットワーク アドレスが 0013E8234D49 のネットワークカードに対する IP アドレスを自動的に構成しました。使用している IP アドレスは 169.254.225.82 です。"
"2008-03-28 08:44:02", ALL, i shi kawa, N/A, システム, エラー, 2505, Server, "ネットワークの別のコンピュータが同じ名前を使用しているため、サーバーはトランスポート ¥Device¥NetBT_Tcpip_{40F1CBF9-2964-48AE-986D-2F94311B1A60} にバインドできませんでした。サーバーを起動できませんでした。"
"2008-03-28 08:51:50", ALL, i shi kawa, N/A, システム, 警告, 1003, Dhcp, "ネットワーク アドレスが 0013E8234D49 のネットワークカードに対して、ネットワーク (DHCP

■印刷

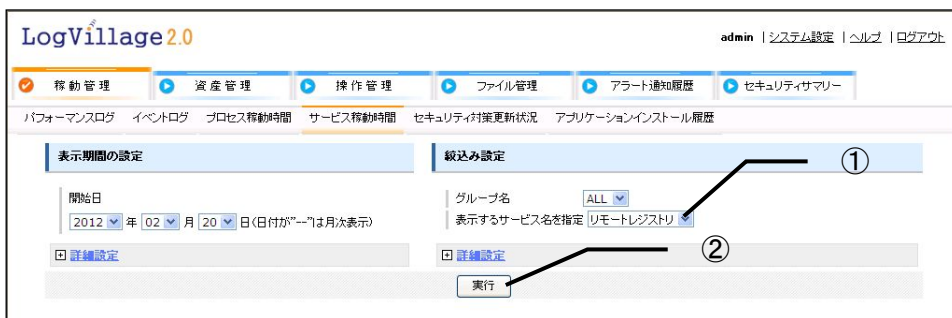
画面の内容が印刷されます。

Copyright © 2003-2016 S0-TEN, Inc. All Rights Reserved.

2. 2. 3 サービス稼働時間

管理対象 PC のサービスの稼働した時間を表示します。

- ①表示するサービス名を選択します。
- ②「実行」ボタンをクリックするとサービス稼働時間が表示されます。

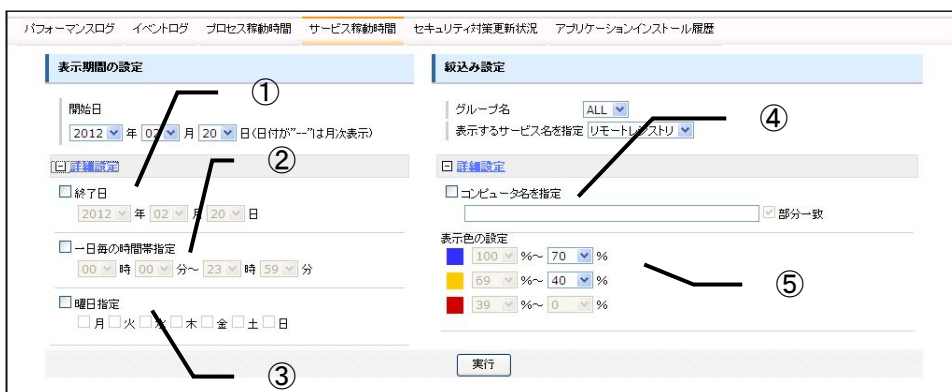


✓サービス稼働時間を表示するためには、「システム設定→グループ単位設定→管理対象サービス (p. 105) にて設定が必要です。

✓日付指定が--の場合は、月次で出力します。

■ 詳細条件の設定

さらに条件を絞り込みたい場合は、詳細設定をクリックし詳細設定を開いて条件を設定してください。



・ 表示期間の設定

- ①終了日
開始日と合わせて範囲指定することが可能です。
- ②一日毎の時間帯指定
特定の時間に絞り込んで結果を出力することが可能です。
- ③曜日指定
特定の曜日に絞り込んで結果を出力することが可能です。

・ 絞り込み条件

- ④コンピュータ名を指定
特定のコンピュータに絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)

⑤表示色の設定

青・黄・赤の色表示のパーセント範囲が指定可能です。
 ポーリングが実行された内、該当サービスの軌道が何回検知できたかをもとに算出します。

例) 10:00 - 10:59 の間にポーリング回数が 10 回実行された場合

<該当サービスの検知>	<稼働率>
10 回	100%
8 回	80%
6 回	60%
:	
:	

■出力結果



■ CSV ダウンロード

条件設定を行った内容が CSV でダウンロード可能です。

```
"□ 検索条件"  
開始日, 2008- 03- 31  
終了日, --  
一日毎の時間指定, : ~:  
曜日指定,  
グループ名, ALL  
サービス名, HTTPFilter  
コンピュータ名,  
  
"□ レポート"  
ホスト名, サービス名, ポーリング収集時間, 時間内最小ポーリング時刻, 時間内  
最大ポーリング時刻, 時間内ポーリング回数  
wi n2003- default, HTTPFilter, "2008- 03- 31  
08: 00: 00", "2008- 03- 31 08: 24: 40", "2008- 03- 31 08: 59: 10", 0  
wi n2003- default, HTTPFilter, "2008- 03- 31  
09: 00: 00", "2008- 03- 31 09: 00: 12", "2008- 03- 31 09: 59: 11", 0  
wi n2003- default, HTTPFilter, "2008- 03- 31  
10: 00: 00", "2008- 03- 31 10: 00: 13", "2008- 03- 31 10: 59: 09", 0  
wi n2003- default, HTTPFilter, "2008- 03- 31  
11: 00: 00", "2008- 03- 31 11: 00: 13", "2008- 03- 31 11: 59: 55", 0  
wi n2003- default, HTTPFilter, "2008- 03- 31  
12: 00: 00", "2008- 03- 31 12: 00: 30", "2008- 03- 31 12: 59: 44", 0  
wi n2003- default, HTTPFilter, "2008- 03- 31  
13: 00: 00", "2008- 03- 31 13: 00: 55", "2008- 03- 31 13: 01: 29", 0  
i shi kawa, HTTPFilter, "2008- 03- 31 08: 00: 00", "2008- 03- 31  
08: 24: 41", "2008- 03- 31 08: 59: 14", 28  
i shi kawa, HTTPFilter, "2008- 03- 31 09: 00: 00", "2008- 03- 31  
09: 00: 17", "2008- 03- 31 09: 59: 11", 60  
  
:  
:
```

■ 印刷

画面の内容が印刷されます。

- ✓ プロセス稼働時間を表示するためには、「システム設定→グループ単位設定→管理対原油プロセス」(p. 103)にて設定が必要です。
- ✓ 日付指定が-の場合、月次で出力します。

2. 2. 4 プロセス稼働時間

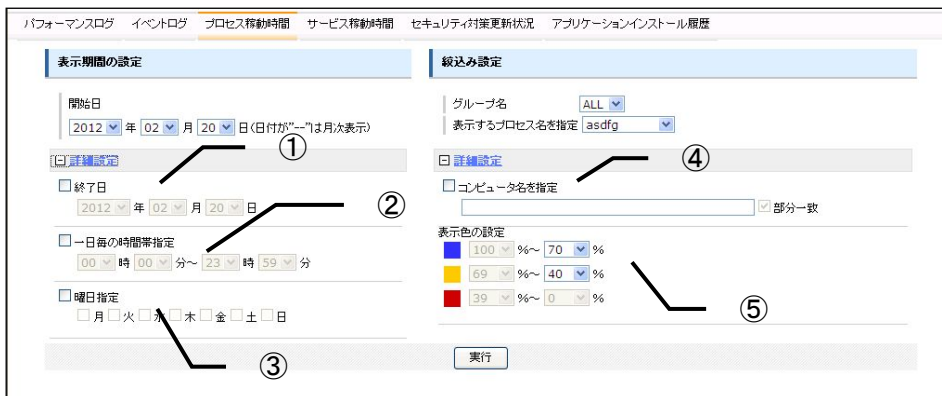
管理対象 PC のプロセスの稼働した時間を表示します。

- ①表示するプロセス名を指定します。
- ②「実行」ボタンをクリックするとプロセス稼働時間が表示されます。



■詳細条件の設定

さらに条件を絞り込みたい場合は、詳細設定をクリックし詳細設定を開いて条件を設定してください。



・表示期間の設定

①終了日

開始日と合わせて範囲指定することが可能です。

②一日毎の時間帯指定

特定の時間に絞り込んで結果を出力することが可能です。

③曜日指定

特定の曜日に絞り込んで結果を出力することが可能です。

・絞り込み条件

④コンピュータ名を指定

特定のコンピュータに絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)

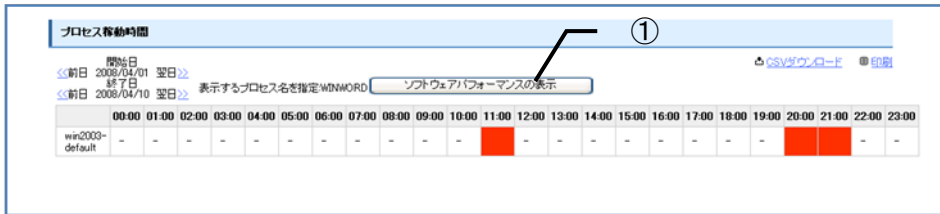
⑤表示色の設定

青・黄・赤の色表示のパーセント範囲が指定可能です。
ポーリングが実行された内、該当プロセスの軌道が何回検知できたかを
もとに算出します。

例) 10:00 - 10:59 の間にポーリング回数が 10 回実行された場合

<該当プロセスの検知>	<稼働率>
10 回	100%
8 回	80%
6 回	60%
:	:
:	:

■出力結果



①ソフトウェアパフォーマンスの表示

選択したプロセスを絞り込み条件に設定したプロセスの CPU 使用率
画面が表示されます。

■CSV ダウンロード

条件設定を行った内容が CSV でダウンロード可能です。

“□ 検索条件”

開始日, 2008-04-01
終了日, 2008-04-10
一日毎の時間指定, :~:
曜日指定,
グループ名, ALL
プロセス名, WINWORD
コンピュータ名,

“□ レポート”

ホスト名, プロセス名, ポーリング収集時間, 時間内最小ポーリング時刻, 時間内最大ポーリング時刻, 時間内ポーリング回数, 時間内平均CPU利用率
win2003-default, WINWORD, “2008-04-07 00:00:00”, “2008-04-07 11:56:32”, “2008-04-07 11:59:29”, 2, 0

■印刷

画面の内容が印刷されます。

Copyright © 2003-2016 S0-TEN, Inc. All Rights Reserved.

✓ WindowsUpdate の適用状況を表示するためには、「システム設定→全体の共通設定→WindowsUpdate 情報」(p. 85)にて設定が必要です。

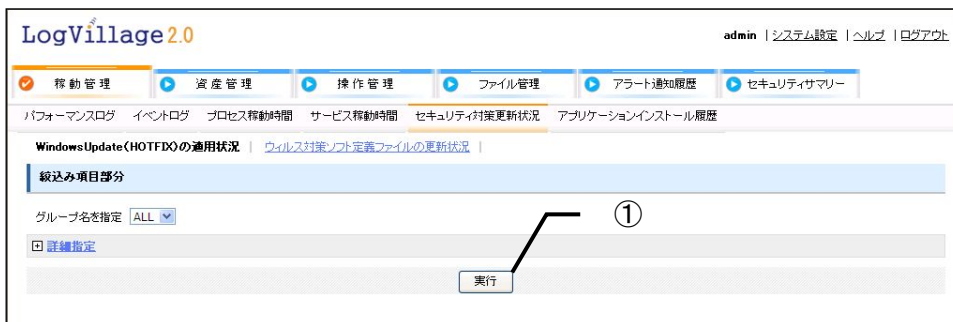
✓ 蒼天よりご提供する WindowsUpdate の最新情報をインポートすることにより最新の情報を登録することが出来ます。

2. 2. 5 セキュリティ対策更新状況

WindowsUpdate の適用状況

管理対象 PC の WindowsUpdate 適用状況を表示します。

①「実行」ボタンをクリックすると WindowsUpdate 適用状況が表示されます。



■ 詳細条件の設定

さらに条件を絞り込みたい場合は、詳細設定をクリックし詳細設定を開いて条件を設定してください。



・絞り込み検索

①コンピュータ名を指定

特定のコンピュータに絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)

②WindowsUpdate (HOTFIX) の種別

WindowsUpdate (HOTFIX) の種別をプルダウンメニューから選択します。

③WindowsUpdate の内容 or 文書番号で検索

プルダウンメニューから、「内容」または「文書番号」を選択します。

さらにプルダウンメニューから選択するか、キーワードを入力します。

適用されているものを表示させるか適用していないものを表示させるか選択します。

④〇〇日以上前の HOTFIX がインストールされていない PC

日にちを入力します。

WindowsUpdate の例を示します。

文書番号

[MS08-021] GDI の脆弱性により、リモートでコードが実行される

対象製品

目次

- ↓はじめに
- ↓このセキュリティ更新プログラムに関するヘルプとサポートを受ける方法
- ↓このセキュリティ更新プログラムに関する既知の問題
- ↓検索
- ↓解決方法
- ↓ファイル情報

はじめに

マイクロソフトはセキュリティ情報 MS08-021 を公開しました。このセキュリティ情報には、ファイルの一覧情報、展開オプションを始め、セキュリティ更新プログラムの関連情報がすべて記載されています。セキュリティ情報の詳細を参照するには、次のマイクロソフト Web サイトのいずれかにアクセスしてください。

- ホーム ユーザー向け
<http://www.microsoft.com/japan/security/bulletins/MS08-021e.mspx>
- 詳細をスキップ：ご自宅のコンピュータまたはラップトップに、Microsoft Update Web サイトから更新プログラムを今すぐダウンロードします。
<http://update.microsoft.com/microsoftupdate/>
- IT プロフェッショナル向け
<http://www.microsoft.com/japan/technet/security/bulletin/ms08-021.mspx>

↑ 先頭へ戻る

内容

文書番号 : 948590
 最終更新日 : 2008年4月22日
 リビジョン : 2.0

x64ベースの Windows Server 2003 (SP1QFE)	Gdi32.dll Wgd32.dll Win32k.sys	Gdi32.dll Wgd32.dll
Itanium ベースの Windows Server 2003 (SP1QFE)	Gdi32.dll Wgd32.dll Win32k.sys	Gdi32.dll Wgd32.dll

解決方法

この問題を解決するには、セキュリティ情報 MS08-021 に記載されているセキュリティ更新プログラムを再インストールします。この更新プログラムをインストールするには、以下のマイクロソフト Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.update.microsoft.com>

↑ 先頭へ戻る

ファイル情報

セキュリティ更新プログラム (日本語版) のファイル名は、セキュリティ情報 MS08-021 の「ファイル情報」セクションをご覧ください。

↑ 先頭へ戻る

Hotfix の種

この資料は以下の製品について記述したものです。

- Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard Edition (32-bit x86)
- Microsoft Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition (32-Bit x86)
- Microsoft Windows Server 2003 R2 Datacenter Edition (32-Bit x86)
- Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard x64 Edition
- Microsoft Windows Server 2003 R2 Enterprise x64 Edition
- Microsoft Windows Server 2003 R2 Datacenter x64 Edition
- Microsoft Windows Server 2003, Standard x64 Edition

■ 出力結果

WindowsUpdateの適用状況							
日付▼	グループ名▼	コンピュータ名▼	OS名▼	WindowsUpdate (HOTFIX)の種別	文書番号▼	WindowsUpdateの内容▼	未適用期間
	ALL	Vista-PC2					
2008-03-27 16:15:26	ALL	ishikawa	MICROSOFT WINDOWS XP PROFESSIONAL		923845		4
2008-02-14 03:01:24	ALL	vm-winxp	MICROSOFT WINDOWS XP PROFESSIONAL		946026		46
	ALL	w2kwork	MICROSOFT WINDOWS 2000 PROFESSIONAL				
2007-11-20 19:28:19	ALL	win2003-default	MICROSOFT(R) WINDOWS(R) SERVER 2003, STANDARD EDITION		911164		132

✓ウイルス対策ソフトウェアの定義ファイルの更新状況を表示するためには、「システム設定→共通設定→ウイルス対策ソフト定義ファイル」(p. 85)にて設定が必要です。

■ CSV ダウンロード

条件設定を行った内容が CSV でダウンロード可能です。

" 検索条件"
 グループ名を指定, ALL
 コンピュータ名を指定,
 WindowsUpdate (HOTFIX) の種別を指定,
 "WindowsUpdateの内容 or 文書番号で検索",
 " WindowsUpdateを選択する",
 " WindowsUpdateのキーワードを指定する",
 適用されているPC/適用されていないPC,
 期間(日),

" レポート"
 日付, グループ名, コンピュータ名, OS名, WindowsUpdate (HOTFIX) の種別,
 文書番号, WindowsUpdateの内容, 未適用期間(日)
 , ALL, Vista- PC2, , , , ,
 "2008- 03- 27 16: 15: 26", ALL, i shi kawa, "MI CROSOFT WI NDOWS XP
 PROFESSIONAL", , 923845, , 4
 "2008- 02- 14 03: 01: 24", ALL, vm- wi n xp, "MI CROSOFT WI NDOWS XP
 PROFESSIONAL", , 946026, , 46
 , ALL, w2kwork, "MI CROSOFT WI NDOWS 2000 PROFESSI ONAL", , , , ,
 "2007- 11- 20 19: 28: 19", ALL, wi n2003- defaul t, "MI CROSOFT (R)
 WI NDOWS (R) SERVER 2003, STANDARD EDI TION", , , 911164, , 132

✓通常ならば毎日更新されているものなので、3日くらいが適当です。

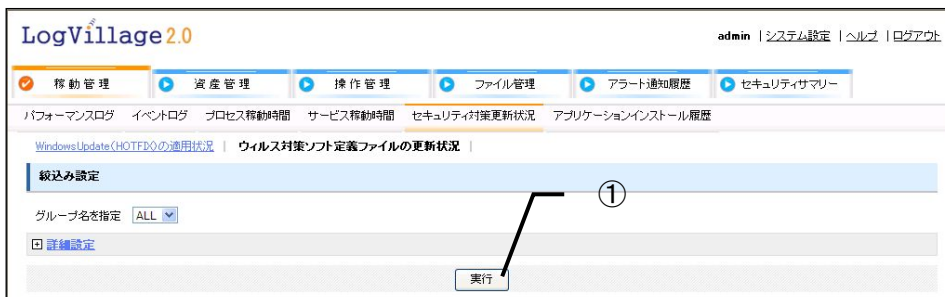
■ 印刷

画面の内容が印刷されます。

ウイルス対策ソフト定義ファイルの更新状況

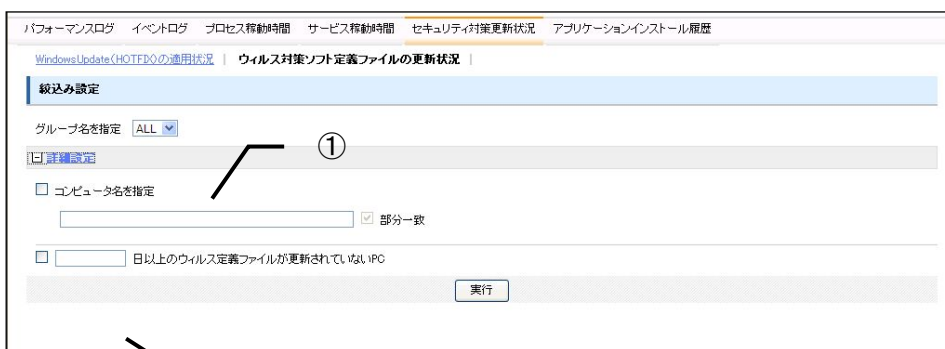
ウイルス対策ソフトウェアの定義ファイルの更新状況を確認することができます。

①「実行」をクリックします。



■ 詳細条件の設定

さらに条件を絞り込みたい場合は、詳細設定をクリックし詳細設定を開いて条件を設定してください。



・絞り込み設定

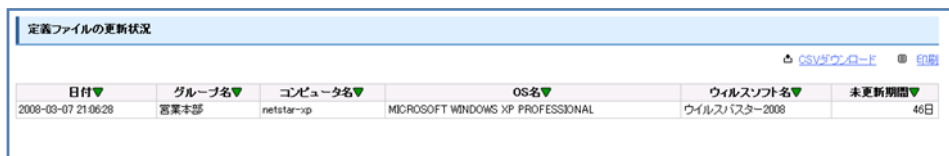
①コンピュータ名を指定

特定のコンピュータに絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)

②〇〇日以上ウイルス定義が更新されていないPC

日にちを入力します。

■出力結果



日付▼	グループ名▼	コンピュータ名▼	OS名▼	ウイルスソフト名▼	未更新期間▼
2008-03-07 21:06:28	営業本部	netstar-xp	MICROSOFT WINDOWS XP PROFESSIONAL	ウイルスバスター-2008	46日

■CSV ダウンロード

条件設定を行った内容が CSV でダウンロード可能です。

グループ名を指定, ALL
コンピュータ名を指定,
未更新期間 (日) ,
日付, グループ名, コンピュータ名, OS名, "ウイルスソフト名", 未更新期間 (日)
"2008-03-07 21:06:28", 営業本部, netstar-xp, "MICROSOFT WINDOWS XP
PROFESSIONAL", ウイルスバスター-2008, 46

■印刷

画面の内容が印刷されます。

2. 2. 6 アプリケーションインストール履歴

管理対象 PC のアプリケーションインストール履歴を表示します。

①「実行」ボタンをクリックするとアプリケーションインストール履歴が表示されます。

✓月次単位での出力を推奨します。

✓日付指定が-の場合、月次で出力します。

■詳細条件の設定

さらに条件を絞り込みたい場合は、詳細設定をクリックし詳細設定を開いて条件を設定してください。

・表示期間の設定

①終了日

開始日と合わせて範囲指定することが可能です。

②一日毎の時間帯指定

特定の時間に絞り込んで結果を出力することが可能です。

③曜日指定

特定の曜日に絞り込んで結果を出力することが可能です。

・絞り込み条件

④コンピュータ名を指定

特定のコンピュータに絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)

⑤アプリケーション名を指定

特定のアプリケーションに絞り込んで結果を出力することが可能です。（部分一致可）

■出力結果

The screenshot shows the application filter settings and the resulting list of installed applications. The settings include a start date of 2008/04 and a group name of ALL. The results table lists various applications and their counts.

アプリケーション名 ▼	件数 ▼
ADOBE READER 8.1.2 - JAPANESE	2
APACHE HTTP SERVER 2.2.4	1
CANON PDPLUS IP7100	1
DNSキャッシュ FOR AIR-EDGE	1
GOOGLE TOOLBAR FOR INTERNET EXPLORER	1
LHAPLUS	1
LOGVILLAGE 2.0 HELPER PROGRAM	1
LOGVILLAGE 2.0 ボーリングサーバ	2
LOGVILLAGE 2.0 マネージャサーバ	1

■ CSV ダウンロード

条件設定を行った内容が CSV でダウンロード可能です。

“ 検索条件”

開始日, 2008-04-

終了日, --

一日毎の時間指定, :~:

曜日指定,

グループ名, ALL

コンピュータ名,

アプリケーション名,

“ レポート”

アプリケーション名, 件数

“ADOBE READER 8.1.2 - JAPANESE”, 2

“APACHE HTTP SERVER 2.2.4”, 1

“CANON PIXUS IP7100”, 1

“DNSキャッシュ FOR AIR-EDGE”, 1

“GOOGLE TOOLBAR FOR INTERNET EXPLORER”, 2

LHAPLUS, 1

“LOGVILLAGE 2.0 HELPER PROGRAM”, 1

“LOGVILLAGE 2.0 ポーリングサーバー”, 3

“LOGVILLAGE 2.0 マネージャサーバ”, 1

“MEGAPLUS VENTURI CLIENT”, 1

“MICROSOFT OFFICE ACCESS MUI (JAPANESE) 2007”, 1

“MICROSOFT OFFICE EXCEL MUI (JAPANESE) 2007”, 1

“MICROSOFT OFFICE IME (JAPANESE) 2007”, 1

“MICROSOFT OFFICE INFOPATH MUI (JAPANESE) 2007”, 1

“MICROSOFT OFFICE OUTLOOK MUI (JAPANESE) 2007”, 1

:

:

■ 印刷

画面の内容が印刷されます。

2. 3 資産管理

2. 3. 1 PC 資産管理台帳

ハードウェア台帳

※LogVillageはハードウェア情報をWMIで収集しています。

稀にWindowsXPでCPU名に不適切な情報が表示される場合がありますが、これはMicrosoftが認めている動作です。詳細は以下のURLをご参照ください。

<http://support.microsoft.com/kb/952978/ja>

Windows XPの不適切なCPUの名前とCPU速度の情報プロセッサ情報を認識するWMIを使用するアプリケーションで表示があります。

管理対象PCのコンピュータ名、機種名、メーカー名、S/N、CPU、CPU数、メモリ（総容量）、HDD総容量、HDD空き容量、OS、SP、Product ID、アクティベート ユーザー拡張項目を表示します。

検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックするとハードウェア一覧が表示されます。

The screenshot shows the LogVillage 2.0 search interface. At the top, there are navigation tabs: ダッシュボード, 資産管理 (selected), 操作ログ管理, and 稼働管理. Below the tabs, the breadcrumb path is 資産管理 > ハードウェア台帳. The search area includes a 'グループの指定' dropdown set to 'ALL', a 'キーワード指定(部分一致)' input field, and a date range selector for '日付で絞り込み' from 2016年12月19日 to 2016年12月19日. There is also a '検索' button and a radio button for '検索対象PC' set to '全て'.

■出力結果

コンピュータ名	機種名	メーカー名	S/N	CPU	CPU数	メモリ(総容量)	HDD総容量	HDD空き容量	OS	SP	Product ID	アクティベート	
Vista-PC2													
ishikawa	07644XJ	LENOVO	LV01294	INTEL(R) CORE(TM)2 DUO CPU T7100 @ 1.80GHZ	2	1536MB	1145GB	53.6GB	46K	MICROSOFT WINDOWS XP PROFESSIONAL	SERVICE PACK 2	76494-OEM-0011903-00107	○
vmc-wmsp	VMware Virtual Platform	VMware, Inc.	VMware-56 4d 1b bb fd 89 a3 ce-24 78 ea a2 ec e4 cf c5	INTEL(R) CORE(TM)2 DUO CPU T7100 @ 1.80GHZ	1	256MB	20.5GB	17GB	83K	MICROSOFT WINDOWS XP PROFESSIONAL	SERVICE PACK 2	55383-338-2488015-22659	○
w2kwork	VMware Virtual Platform	VMware, Inc.	VMware-56 4d bc c2 68 0d fd 07-56 08 8d 35 c4 4d 7d 57	INTEL(R) CORE(TM)2 DUO CPU T7100 @ 1.80GHZ	1	256MB	20.5GB	19GB	92K	MICROSOFT WINDOWS 2000 PROFESSIONAL	SERVICE PACK 4	52242-335-7644026-09229	×
wm2003-default	VMware Virtual Platform	VMware, Inc.	VMware-56 4d 86 28 c9 5c 30 4b-36 c1 42 ca 17 d3 b6 55	INTEL(R) CORE(TM)2 DUO CPU T7100 @ 1.80GHZ	1	512MB	41GB	87.1GB		MICROSOFT WINDOWS SERVER 2003 STANDARD EDITION	SERVICE PACK 1	69833-296-0666863-44665	○

✓ 拡張資産項目を表示するためには、「システム設定→グループ単位設定→拡張項目名(資産管理)」(p. 118)にて設定が必要です。

✓ アクティベート

WindowsXP以降OSについて、アクティベート認証されていない場合は空白になります。XP以前のOSは×になります。

✓ 自作PCなどホワイトボックス(メーカー名、S/N、機種名)は空白になります。

ソフトウェア台帳

管理対象 PC のソフトウェア一覧を表示します。

検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックするとハードウェア一覧が表示されます。

※”コンポーネント SW の表示”がチェックオフの場合、コントロールパネル→プログラムと機能 と同じ内容の表示となります。

■出力結果

ソフトウェア台帳

表示対象PC数: 20/22 台

ソフトウェア名	メーカー	保有ライセンス数	インストール数	ライセンス経過
*MORA WIN TYPE1 PLUG-IN	LabelGate	---	1	
*LHACA		---	3	
2007 MICROSOFT OFFICE SUITE SERVICE PACK 2 (SP2)	Microsoft	---	1	
ACCESS_HELP		---	2	
ACTIVE_PORTS		---	1	
ADOBE ACROBAT 8 STANDARD - JAPANESE	Adobe Systems	---	1	
ADOBE ACROBAT 5.0	Adobe Systems, Inc.	---	1	
ADOBE ACROBAT 8.1.3 STANDARD	Adobe Systems	---	1	

③にチェックを入れた場合の出力結果

ソフトウェア台帳

表示対象PC数: 20/22 台

ソフトウェア名	バージョン情報	メーカー	保有ライセンス数	インストール数	ライセンス経過
*MORA WIN TYPE1 PLUG-IN	1.05	LabelGate	---	1	
*LHACA			---	3	
2007 MICROSOFT OFFICE SUITE SERVICE PACK 2 (SP2)		Microsoft	---	1	
ACCESS_HELP	1.00		---	1	
ACCESS_HELP	2.00		---	1	
ACTIVE_PORTS			---	1	
ADOBE ACROBAT 8 STANDARD - JAPANESE	8.1.3	Adobe Systems	---	1	
ADOBE ACROBAT 5.0	5.1	Adobe Systems, Inc.	---	1	
ADOBE ACROBAT 8.1.3 STANDARD	8.1.3	Adobe Systems	---	1	

④にチェックを入れた場合の出力結果

ソフトウェア台帳

表示対象PC数: 6/22 台

ソフトウェア名	メーカー	保有ライセンス数	インストール数	ライセンス経過
MICROSOFT OFFICE ENTERPRISE 2007	Microsoft Corporation	---	1	
MICROSOFT OFFICE PROFESSIONAL 2007	Microsoft Corporation	---	1	
MICROSOFT OFFICE PROFESSIONAL PLUS 2007	Microsoft Corporation	---	4	

・ソート 項目名の▽をクリックするとその項目でのソートが可能です。

✓指定がなければ全件対象となります。

✓ライセンス数を表示するためには「システム設定→グループ毎の設定→保有ライセンス登録」(p. 116)にて設定が必要です。

■CSV ダウンロード

条件設定を行った内容が CSV でダウンロード可能です。

```
"□ ソフトウェアリスト "  
"ソフトウェア名", バージョン情報, メーカー, 導入数, ライセンス数, ライセンス未  
確認数  
"ACCESS HELP", 2.00, , 1, ---, 1  
"ADOBE READER 8.1.2 - JAPANESE", 8.1.2, "Adobe Systems  
Incorporated", 1, ---, 1  
"APACHE HTTP SERVER 2.2.4", 2.2.4, "Apache Software  
Foundation", 1, ---, 1  
"ARIEL MULTISCHEDULER", 11.000.1350, "Ariel  
Networks", 1, ---, 1  
"BROADCOM GIGABIT INTEGRATED  
CONTROLLER", 10.15.13, "Broadcom Corporati on", 1, ---, 1  
"CANON PIXUS IP7100", , , 1, ---, 1  
"CLIENT SECURITY SOLUTION", 8.00.0114.00, "Lenovo Group  
Li mi ted", 1, ---, 1  
"CONEXANT HD AUDIO", 3.36.0.0, Conexant, 1, ---, 1  
"CUTEPDF WRITER 2.7", , , 1, ---, 1  
"DISKEEPER LITE", 9.0.541, "Di skeeper Corporati on", 1, ---, 1  
GETPLUS(R)_OCX, , , 1, ---, 1  
GTONECARE, 2.0.38, Mi crosoft, 1, ---, 1  
"INTEL(R) GRAPHICS MEDIA ACCELERATOR DRIVER", , , 1, ---, 1  
"INTERVIDEO INSTANTON (REMOVE ONLY)", , , 1, ---, 1  
"INTERVIDEO REGISTER MANAGER", 1.0.4.0, "InterVi deo  
Inc. ", 1, ---, 1  
"INTERVIDEO WINDVD", 5.0-B11.1156, "InterVi deo Inc. ", 1, ---, 1  
:  
:
```

■印刷

画面の内容が印刷されます。

2. 3. 2 指定アプリケーションの設定

管理対象 PC の任意に指定したアプリケーションを表示します。

- ①グループ指定、指定アプリケーションで絞り込むことができます。
- ②「実行」ボタンをクリックするとアプリケーション一覧が表示されます。



✓アプリケーションを指定するには、「システム設定 →グループ単位設定→指定アプリケーション」(p. 112)にて設定が必要です。

✓指定がなければ全件対象となります。

■詳細条件の設定

さらに条件を絞り込みたい場合は、詳細設定をクリックし詳細設定を開いて条件を設定してください。



①コンピュータ名を指定

特定のコンピュータに絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)

■ 出力結果

指定アプリケーションのログ		
グループ名▼	クライアントPC▼	MsOffice
ALL	vm-winxp	
ALL	Vista-PC2	
ALL	vm-ishikawa	
ALL	w2kwork	
ALL	win2003-default	○
営業本部	ishikawa	○
営業本部	netstar-xp	

アプリケーショングループ名をクリックするとアプリケーションごとの結果が表示されます。

グループ名▼	クライアントPC▼	MICROSOFT OFFICE ACCESS MUI (JAPANESE) 2007 (12.0.4518.1014)	MICROSOFT OFFICE EXCEL MUI (JAPANESE) 2007 (12.0.4518.1014)	MICROSOFT OFFICE IME (JAPANESE) 2007 (12.0.4518.1014)	MICROSOFT OFFICE INFOPATH MUI (JAPANESE) 2007 (12.0.4518.1014)	MICROSOFT OFFICE OUTLOOK MUI (JAPANESE) 2007 (12.0.4518.1014)	MICROSOFT OFFICE POWERPOINT MUI (JAPANESE) 2007 (12.0.4518.1014)	MICROSOFT OFFICE PROFESSIONAL PLUS 2007 (12.0.4518.1014)	MICROSOFT OFFICE PROOF (ENGLISH) 2007 (12.0.4518.1014)
ALL	vm-winxp								
ALL	Vista-PC2								
ALL	vm-ishikawa								
ALL	w2kwork								
ALL	win2003-default	○	○	○	○	○	○	○	○
営業本部	ishikawa	○	○	○	○	○	○	○	○
営業本部	netstar-xp								

2. 4 操作管理

ユーザーの操作ログ管理です。

2. 4. 1 Web アクセス履歴

Web アクセス履歴を表示します。

- ①「実行」ボタンをクリックすると Web アクセス履歴が表示されます。
- ・「ドメイン毎に表示する」のチェックをはずすと、詳細を直接表示します。



■ 詳細条件の設定

さらに条件を絞り込みたい場合は、詳細設定をクリックし詳細設定を開いて条件を設定してください。



・ 表示期間の設定

① 終了日

開始日と合わせて範囲指定することが可能です。

②一日毎の時間帯指定

特定の時間に絞り込んで結果を出力することが可能です。

③曜日指定

特定の曜日に絞り込んで結果を出力することが可能です。

・絞り込み設定

④コンピュータ名を指定

特定のコンピュータに絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)

⑤ログオンアカウント名を指定

特定のログオンアカウント名に絞り込んで結果を出力することが可能です。(部分一致可)

⑥Web タイトル or URL

■ 出力結果

ドメイン名	件数
7modules.com	10
85modules.com	10
88modules.com	8
adrbtoday.com	7
dictionaryrbtoday.com	1
disneybk.mufg.jp	1
entry01.bk.mufg.jp	1
feature.movies.jp.msn.com	2
go.microsoft.com	1
ia.wikipedia.org	1
jp.msn.com	1
localhost	15
lv20m	29
paread2.google.syndication.com	2
runonce.msn.com	1
shukariki.com	2
win2003-default	123
www61.tkline.jp	5
www.ariel-networks.com	7
www.bk.mufg.jp	1
www.google.co.jp	3
www.google.com	24
www.lenovo.com	12
www.microsoft.com	1
www.so-ten.co.jp	1

各ドメイン名をクリックすると、ドメイン名以下の詳細の確認が可能です。

Webアクセス履歴					
日付▼	グループ名▼	コンピュータ名▼	ログオンアカウント名▼	Webタイトル▼	URL(フルパス表示)▼
2008-03-28 10:24:02	ALL	ishikawa	k-ishikawa	tcp - Google 検索	http://www.google.co.jp/custom?q=tcp&sa=..
2008-03-28 10:24:14	ALL	ishikawa	k-ishikawa	TCPポート - Google 検索	http://www.google.co.jp/custom?hl=ja&inl..
2008-03-28 10:24:36	ALL	ishikawa	k-ishikawa	TCP ポート 番号 - Google 検索	http://www.google.co.jp/custom?hl=ja&inl..

✓日付指定が-の場合は、月次で出力します。

さらに、URL をクリックするとそのページにアクセスできどんなページか確認可能です。

■ CSV ダウンロード

条件設定を行った内容が CSV でダウンロード可能です。

<p>" <input type="checkbox"/> 検索条件 "</p> <p>開始日, 2008- 03- 28</p> <p>終了日, --</p> <p>一日毎の時間指定, : ~:</p> <p>曜日指定,</p> <p>グループ名を指定, ALL</p> <p>コンピュータ名を指定,</p> <p>ログオンアカウント名を指定,</p> <p>"Webタイトル or URLを指定",</p> <p>" <input type="checkbox"/> レポート "</p> <p>ドメイン名, 件数</p> <p>7. gmodules. com, 10</p> <p>85. gmodules. com, 10</p> <p>88. gmodules. com, 8</p> <p>ad. rbbtoday. com, 7</p> <p>dictionary. rbbtoday. com, 1</p> <p>di sney. bk. mufg. jp, 1</p> <p>entry01. bk. mufg. jp, 1</p> <p>feature. movi es. jp. msn. com, 2</p> <p> </p> <p> </p> <p> </p>

■ 印刷

画面の内容が印刷されます。

2. 4. 2 印刷履歴

管理対象 PC の印刷履歴を表示します。

①「実行」ボタンをクリックすると印刷履歴が表示されます。



■ 詳細条件の設定

さらに条件を絞り込みたい場合は、詳細設定をクリックし詳細設定を開いて条件を設定してください。



・ 表示期間の設定

① 終了日

開始日と合わせて範囲指定することが可能です。

② 一日毎の時間帯指定

特定の時間に絞り込んで結果を出力することが可能です。

③ 曜日指定

特定の曜日に絞り込んで結果を出力することが可能です。

・ 絞り込み条件

④ コンピュータ名を指定

特定のコンピュータに絞り込んで結果を出力することが可能です。(部分一致可)

⑤ ログオンアカウント名を指定

特定のログオンアカウント名に絞り込んで結果を出力することが可能です。(部分一致可)

⑥ 印刷ファイル名 or プリンター名を指定

特定の印刷ファイル名やプリンター名に結果を出力することが可能です。(部分一致可)

■ 出力結果

プリンタ名毎の印刷履歴	
<<前日 2008/03/28 翌日>> CSVダウンロード 印刷	
プリンタ名▼	枚数▼
Panasonic DP-2310	13

プリンタ名をクリックすると印刷したドキュメント名が表示されます。

※プリンター名はプリンタードライバー名となります。同じプリンターでも異なる名称であれば別のものとして表示されます。

ドライバ名の変更について（ヒント）

プリンターのプロパティにて変更可能です。

印刷履歴						
<<前日 2008/03/28 翌日>> CSVダウンロード 印刷						
日付▼	グループ名▼	コンピュータ名▼	ログオンアカウント名▼	プリンタ名▼	印刷ファイル名 : ▼	枚数▼
2008-03-28 17:49:28	ALL	ishikawa	k-ishikawa	Panasonic DP-2310	server_vm_manual.pdf	12
2008-03-28				Panasonic DP-		

■ CSV ダウンロード

条件設定を行った内容が CSV でダウンロード可能です。

" 検索条件 "

開始日, 2008-03-28

終了日, --

一日毎の時間指定, : ~:

曜日指定,

グループ名, ALL

コンピュータ名,

ログオンアカウント名,

検索対象,

" レポート "

日付, グループ名, クライアントPC, ログオンアカウント名, プリンタ名, 印刷ファイル名

" 2008-03-28

17:49:40", ALL, i shi kawa, k- i shi kawa, "Panasoni c DP-2310", server_vm_manual . pdf

" 2008-03-28

17:49:28", ALL, i shi kawa, k- i shi kawa, "Panasoni c DP-2310", server_vm_manual . pdf

■ 印刷

画面の内容が印刷されます。

2.4.3 ログオン・オフ履歴

管理対象 PC のログオン・ログオフ履歴を表示します。

■ログオン/ログオフ履歴 OS別取得可否一覧

以下に OS 別のログオン・ログオフ取得状態を示します。

No.	状態	Windows NT4.0	Windows 2000 Professional	Windows 2000 Server	Windows XP Professional	Windows Server 2003	Windows VISTA Ultimate
1	ローカルログオン	×	○	○	○	○	○
2	ローカルログオフ	×	×	×	○	○	○
3	シャットダウン (ログオフ)	×	○	○	○	○	○
4	ネットワークログオン	×	○	○	○	○	○
5	ネットワークログオフ	×	○	○	○	○	○

No.	状態	Windows VISTA Business	Windows 7 Professional	Windows 7 Enterprise	Windows 7 Ultimate	Windows Server 2008 Standard	Windows Server 2008 Enterprise
1	ローカルログオン	○	○	○	○	○	○
2	ローカルログオフ	○	○	○	○	○	○
3	シャットダウン (ログオフ)	○	○	○	○	○	○
4	ネットワークログオン	○	○	○	○	○	○
5	ネットワークログオフ	○	○	○	○	○	○

※ ”×”項目につきましては、OSに該当する状態のログを生成する機能がございません。そのため、LogVillageではログ情報を取得することが不可となっております。

■利用シーンによるログオン/オフの取得イメージ
 ログオン・ログオフの取得イメージを示します。

PC 利用シーン			LogVillage2.0 でのログ情報		
1	8:50	PC 起動⇒ログオン	⇒	8:50	ログオン
	12:00	休止モード		18:30	ログオフ (正常)
	13:00	休止モード解除			
	18:30	PC シャットダウン			
2	8:50	PC 起動⇒ログオン	⇒	8:50	ログオン
	12:00	シャットダウン		12:00	ログオフ (正常)
	13:00	PC 起動⇒ログオン		13:00	ログオン
	18:30	PC シャットダウン		18:30	ログオフ (正常)
3	8:50	PC 起動⇒ログオン	⇒	8:50	ログオン
	10:00	スタンバイモード⇒PC 持出し		18:30	ログオフ (正常)
		外出先で PC 操作		※ログオフ情報は、社内ネットワークへの再接続後の収集となります。	
	18:30	PC シャットダウン			
4	8:50	PC 起動⇒ログオン	⇒	8:50	ログオン
	18:30	電源断 (強制終了)		翌 8:50	ログオフ (異常) [*1]
	翌 8:50	PC 起動⇒ログオン		翌 8:50	ログオン
	18:30	PC シャットダウン		翌 18:30	ログオフ (正常)

[*1] system プロセス情報により、前日の何時まで PC が稼働していたかを判別可能です。

※ログオフ (例外) と表示される場合について

通常、PC のシャットダウンを実行するとイベントログにログオフが記録され、その後シャットダウンされます。

しかし、PC の状態によってはログオフが記録される前にシャットダウンされ、イベントログにログオフが記録されない場合があります。

その場合、LogVillage は、ログオフのイベントログではなく、イベントログサービスの停止のログを取得し、ログオフと判定し、“ログオフ (例外)” と表示しております。

①「実行」ボタンをクリックするとログオン・ログオフ履歴が表示されます。



■ 詳細条件の設定

さらに条件を絞り込みたい場合は、詳細設定をクリックし詳細設定を開いて条件を設定してください。



・ 表示期間の設定

① 終了日

開始日と合わせて範囲指定することが可能です。

② 一日毎の時間帯指定

特定の時間に絞り込んで結果を出力することが可能です。

③ 曜日指定

特定の曜日に絞り込んで結果を出力することが可能です。

・ 絞り込み条件

④ コンピュータ名を指定

特定のコンピュータに絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)

⑤ ログオンアカウント名を指定

特定のログオンアカウント名に絞り込んで結果を出力することが可能です。(部分一致可)

■ 出力結果

ログオンアカウント毎のログオン・オフ履歴				
<<前日 2008/03/28 翌日>>		CSVダウンロード 印刷		
ログオンアカウント名▼	ログオン回数▼	ログオフ回数		
		ログオフ操作によるログオフ▼	ログオフ操作以外でのネットワーク接続切断▼	
Administrator	7回	0回	12回	
k-ishikawa	94回	6回	0回	

%UserProfile%\¥AppData¥Local¥Google¥Drive

ログオンアカウントをクリックするとログオンアカウント毎の日別サマリの確認が可能です。

クリックしたアカウントの日別サマリ					
<<前日 <small>開始日</small> 2008/03/27 翌日>>		CSVダウンロード 印刷			
<<前日 <small>終了日</small> 2008/03/31 翌日>>					
ログオンアカウント名: Administrator					
日付▼	ログオン回数▼	ログオフ回数			利用時間▼
		ログオフ操作によるログオフ▼	ログオフ操作以外でのネットワーク接続切断▼		
2008-03-27	4回	0回	6回		23:37:20
2008-03-28	7回	0回	12回		01:50:24
2008-03-31	2回	0回	3回		08:25:51

[前の画面へ戻る](#)

■ CSV ダウンロード

条件設定を行った内容が CSV でダウンロード可能です。

" 検索条件 "

開始日, 2008-03-27

終了日, 2008-03-31

一日毎の時間指定, : ~ :

曜日指定,

グループ名, ALL

コンピュータ名,

ログオンアカウント名,

"表示", "ログオンアカウント毎に表示する"

" レポート "

ログオンアカウント名, ログオン回数, ログオフ操作によるログオフ回数, ログオフ操作以外でのネットワーク切断回数

Administrator, 13, 0, 23

k-i shi kawa, 94, 6, 11

✓日付指定が- -の場合は、
月次で出力します。

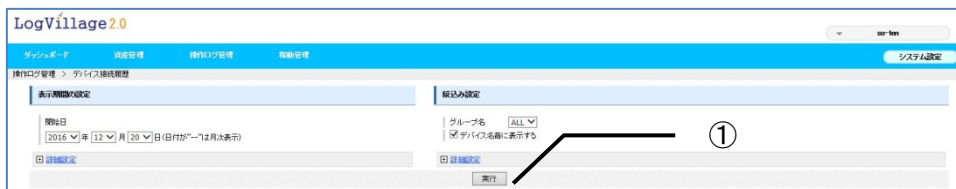
■ 印刷

画面の内容が印刷されます。

2. 4. 4 デバイス接続履歴

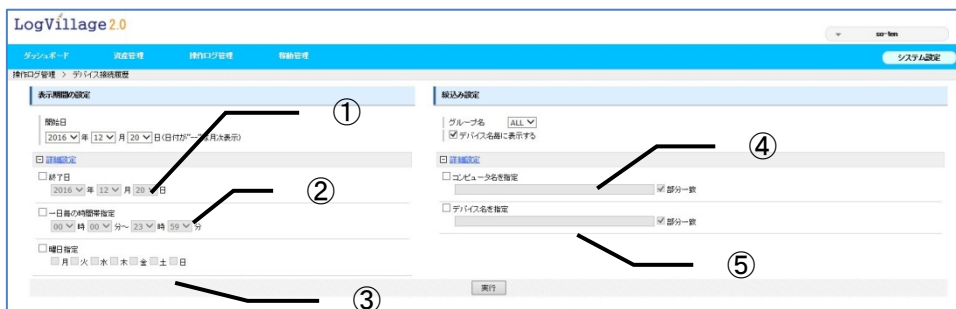
管理対象 PC のデバイス接続履歴を表示します。

①「実行」ボタンをクリックするとデバイス接続履歴が表示されます。



■ 詳細条件の設定

さらに条件を絞り込みたい場合は、詳細設定をクリックし詳細設定を開いて条件を設定してください。



・ 表示期間の設定

① 終了日

開始日と合わせて範囲指定することが可能です。

② 一日毎の時間帯指定

特定の時間に絞り込んで結果を出力することが可能です。

③ 曜日指定

特定の曜日に絞り込んで結果を出力することが可能です。

・ 絞り込み条件

④ コンピュータ名を指定

特定のコンピュータに絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)。

⑤ デバイス名を指定

特定のデバイスに絞り込んで結果を出力することが可能です。(部分一致可)

■ 出力結果

デバイス名毎のデバイス接続履歴	
<<前日 2008/03/28 翌日>> CSVダウンロード 印刷 	
デバイス名▼	件数▼
FUJITSU_MHW2120BH	1
HL-DT-ST DVD+-RW GSA-H21N	1
HL-DT-ST DVD-RAM GMA-4082N	2
NECVMWor_VMware_IDE_CDR10	1
VMware_Virtual_IDE_Hard_Drive	1
VMware_VMware_Virtual_S_SCSI_Disk_Device	2

デバイス名をクリックするとデバイス毎の接続状況の確認が可能です。

デバイス接続履歴				
<<前日 2008/03/28 翌日>> CSVダウンロード 印刷 				
最終更新日時▼	グループ名▼	コンピュータ名▼	デバイス名▼	接続時間▼
2008-03-28 18:00:22	ALL	win2003-default	HL-DT-ST DVD-RAM GMA-4082N	290分
2008-03-28 18:00:30	ALL	ishikawa	HL-DT-ST DVD-RAM GMA-4082N	280分

■ CSV ダウンロード

条件設定を行った内容が CSV でダウンロード可能です。

" 検索条件 "

開始日, 2008-03-28

終了日, --

一日毎の時間指定, : ~:

曜日指定,

グループ名, ALL

コンピュータ名,

デバイス名,

" レポート "

デバイス名, 件数

"FUJITSU MHW2120BH", 1

"HL-DT-ST DVD+-RW GSA-H21N", 1

"HL-DT-ST DVD-RAM GMA-4082N", 2

"NECVMWare VMware IDE CDR10", 1

"VMware Virtual IDE Hard Drive", 1

"VMware, VMware Virtual S SCSI Disk Device", 2

■ 印刷

画面の内容が印刷されます。

2. 5 ネットワークスキャン

ネットワークスキャンで検出されたノードの確認を行います。

2. 5. 1 ファイル管理

①ネットワークスキャンを選択します。



②表示条件を設定し[検索を実行]をクリックします。



<表示条件>

OS 区分	表示したい OS を選択します。 「-」は検出時に OS 判定が行えなかったノードとなります。
検索対象 PC	LogVillage の管理対象 PC として登録されていないノードを表示する場合は「未登録 PC」を選択します。
IP アドレスの前方一致	表示した IP アドレスの一部を入力します。 空白の場合は全ての IP アドレスを表示します。
表示台数	1 ページに表示する台数（行数）を選択します。

■ CSV ダウンロード

表示内容を CSV でダウンロード可能です。

The screenshot shows the LogVillage 2.0 web interface. At the top, there's a navigation bar with 'admin' and 'システム設定'. Below it, a 'ネットワークスキャン' section contains search filters for OS (Windows, Mac, Linux, Unix), search target (All or Unregistered PC), IP prefix, and number of results (20). A '検索実行' button is present. Below the search area is a table titled 'ネットワークスキャン台帳' showing search results. A 'CSVダウンロード' button is highlighted with a red box. The table has columns for IP address, registration status, OS, MAC, NIC, subnet, broadcast, computer name, model name, first scan date, and last scan date. One row is visible with details for a Cisco device.

IPアドレス	台帳 未登録	OS区分	MACアドレス	NICベンダー名	サブネット	ブロードキャスト	コンピュータ名	型式名	初回検出 日時	最終検出 日時
193.168.5.1		Linux	84:2D:C6:4E:5C:C0	Cisco	255.255.255.0	193.168.5.255	(unknown)	Cisco IOS Software, C800M Software (C800M-UNIVERSALK9-M), Version 15.5(3M), RELEASE SOFTWARE (fc1) Technical Support:	2017-08-26	2017-10-07

2.6 アラート通知履歴

アラート通知履歴を表示します。



- ① 「実行」ボタンをクリックするとアラート通知履歴が表示されます。
- ② 「自動更新」ボタンをクリックすると別ウィンドウが表示され、指定した間隔で最新情報を自動表示します。



■ 詳細条件の設定

さらに条件を絞り込みたい場合は、詳細設定をクリックし詳細設定を開いて条件を設定してください。



・ 表示期間の設定

① 終了日

開始日と合わせて範囲指定することが可能です。

② 一日毎の時間帯指定

特定の時間に絞り込んで結果を出力することが可能です。

③ 曜日指定

特定の曜日に絞り込んで結果を出力することが可能です。

・ 絞り込み条件

④ コンピュータ名を指定

特定のコンピュータに絞り込んで結果を出力することが可能です。

✓アラート通知履歴を表示するためには、「システム設定→アラートポリシー設定」(p. 120)にて設定が必要です。

✓日付指定が- -の場合は、月次で出力します。

(部分一致可)

⑤アラートポリシーを指定

アラートポリシーでの絞り込みが可能です。

- ・ 禁止サイトへの Web アクセス
- ・ 禁止印刷ファイル・枚数制限
- ・ 禁止アカウントでのログオン
- ・ 禁止デバイスの接続
- ・ 指定イベントログの発生
- ・ サービスの検知
- ・ プロセスの検知
- ・ ウィルス対策ソフトの未更新
- ・ アプリケーション・インストールの検知
- ・ PC リソースのしきい値超過

⑥アラートメッセージのキーワード指定

■ 出力結果

アラート通知履歴				
日付▼	グループ名▼	コンピュータ名▼	アラート種別▼	アラート内容▼
2008-03-31 08:23:35	ALL	ishikawa	禁止印刷ファイル/枚数制限	2008/03/31 08:23:35 ALLの月額累積枚数が1を超えました。23枚
2008-03-31 08:24:33	ALL	vm-winxp	PCリソースのしきい値超過	2008/03/31 08:24:33 vm-winxpメモリ残容量が100MBを下回っています。
2008-03-31 08:34:20	ALL	ishikawa	禁止印刷ファイル/枚数制限	2008/03/31 08:34:20 ALLの月額累積枚数が1を超えました。23枚
2008-03-31 08:35:13	ALL	vm-winxp	PCリソースのしきい値超過	2008/03/31 08:35:13 vm-winxpメモリ残容量が100MBを下回っています。
2008-03-31 08:38:10	ALL	vm-winxp	PCリソースのしきい値超過	2008/03/31 08:38:10 vm-winxpメモリ残容量が100MBを下回っています。
2008-03-31 08:41:07	ALL	vm-winxp	PCリソースのしきい値超過	2008/03/31 08:41:07 vm-winxpメモリ残容量が100MBを下回っています。
2008-03-31 08:44:08	ALL	vm-winxp	PCリソースのしきい値超過	2008/03/31 08:44:08 vm-winxpメモリ残容量が100MBを下回っています。
2008-03-31 08:47:07	ALL	vm-winxp	PCリソースのしきい値超過	2008/03/31 08:47:07 vm-winxpメモリ残容量が100MBを下回っています。
2008-03-31 08:50:06	ALL	vm-winxp	PCリソースのしきい値超過	2008/03/31 08:50:06 vm-winxpメモリ残容量が100MBを下回っています。
2008-03-31 08:53:10	ALL	vm-winxp	PCリソースのしきい値超過	2008/03/31 08:53:10 vm-winxpメモリ残容量が100MBを下回っています。
2008-03-31 08:56:11	ALL	vm-winxp	PCリソースのしきい値超過	2008/03/31 08:56:11 vm-winxpメモリ残容量が100MBを下回っています。
2008-03-31 08:59:09	ALL	vm-winxp	PCリソースのしきい値超過	2008/03/31 08:59:09 vm-winxpメモリ残容量が100MBを下回っています。
2008-03-31 09:02:08	ALL	vm-winxp	PCリソースのしきい値超過	2008/03/31 09:02:08 vm-winxpメモリ残容量が100MBを下回っています。
2008-03-31 09:05:08	ALL	vm-winxp	PCリソースのしきい値超過	2008/03/31 09:05:08 vm-winxpメモリ残容量が100MBを下回っています。

■ CSV ダウンロード

条件設定を行った内容が CSV でダウンロード可能です。

```
開始日, 2008-03-31
終了日, --
一日毎の時間指定, :~:
曜日指定,
グループ名を指定, ALL
コンピュータ名を指定,
アラートポリシーを指定,
アラートメッセージのキーワードを指定,
日付, グループ名, コンピュータ名, アラート種別, アラート内容
"2008-03-31 08:23:35", ALL, i shi kawa, 禁止印刷ファイル/枚数制限, "2008/03/31 08:23:35 ALLの月額累積枚数が1を超えました。

                23枚"
"2008-03-31 08:24:33", ALL, vm-wi nxp, "PCリソースのしきい値超過", "2008/03/31 08:24:33 vm-wi nxpメモリ残容量が100MBを下回っています。"
"2008-03-31 08:34:20", ALL, i shi kawa, 禁止印刷ファイル/枚数制限, "2008/03/31 08:34:20 ALLの月額累積枚数が1を超えました。

                23枚"
"2008-03-31 08:35:13", ALL, vm-wi nxp, "PCリソースのしきい値超過", "2008/03/31 08:35:13 vm-wi nxpメモリ残容量が100MBを下回っています。"
:
:
```

■ 印刷

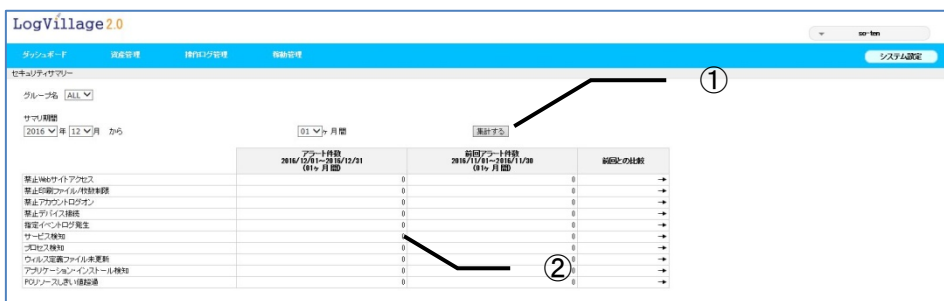
画面の内容が印刷されます。

2.7 セキュリティサマリ

指定した期間のアラート通知履歴の集計の比較を表示します。



- ① 「集計する」ボタンをクリックすると指定された期間の集計と前回の比較が表示されます。
- ② アラートの数値をクリックすると該当アラートの詳細表示に移動します。

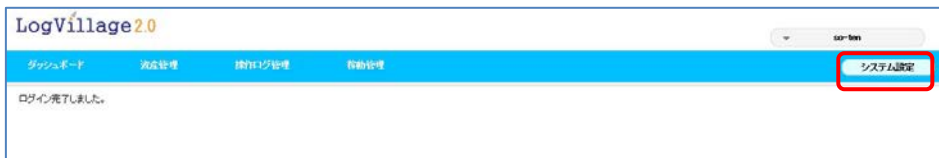


✓たとえば
サマリ期間 4月から 3か月
の場合は
XXXX/4/1 ~ XXXX/6/30
と
XXXX/1/1~XXXX/3/31
となります。

3. システム設定

システム設定では、各種ログ取得の設定や管理対象 PC の設定を行うことができます。

画面右上のシステム設定をクリックします。



システム設定をクリックしたら表示されるプルダウンメニューより目的の設定項目を選択します。



メニュー系統図

*** 初期設定が必須な設定

** その機能を使用する場合は設定が必要なもの



3. 1 共通設定

3. 1. 1 ポーリングサーバ

LogVillage マネージャに接続しているポーリングサーバーを確認・設定します。

接続されているポーリングサーバーが表示されます。

- ・ポーリングサーバー名
- ・ポーリングサーバーのバージョン
- ・最終ログ取得日時

ポーリングサーバーよりログを受け取った日時が示されます。

- ・ステータス

承認済 マネージャサーバーより認識され、管理対象 PC の割り当て待ちです。

接続許可待ち ポーリングサーバーが承認待ちです。

✓割り当てた後も 10 分以上「承認中」であった場合は不具合の可能性がります。サポートセンターまでご連絡ください。

✓管理対象 PC の割り当てについては、管理対象 PC の登録をご確認ください。

(p. 75)

ポーリングサーバの設定とステータス

ポーリングサーバの接続許可、削除、ステータス変更を行います。
また、各ポーリングサーバの稼働状況も確認できます。

①

設定内容の検索

ポーリングサーバ名 (部分一致)

ステータス

検索された設定内容

ポーリングサーバ名▼	バージョン▼	最終ログ取得日時▼	ステータス▼
<input type="checkbox"/> lv-test-new	2.1.1.45	2009-11-12 14:45:09	承認済み

②

③

チェックしたポーリングサーバの

ポーリングサーバの登録を削除する前に、削除するポーリングサーバに所属する管理対象PCを手動で他のポーリングサーバに割り当てるか、ポーリングサーバを先にアンインストールしてください。

- ・設定内容の検索

①ポーリングサーバー名

特定のサーバーに絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)

②ステータス

特定のステータスで絞り込んで結果を出力することが可能です。

- ・稼働中
- ・接続許可待ち

- ③ポーリングサーバー名をクリックするとポーリングサーバーの詳細を確認できます。

ポーリングサーバー詳細

[ポーリングサーバの設定とステータス](#)

サーバー情報

ポーリングサーバ名	lv-test-new
バージョン	2.1.1.45
Macアドレス	00-0c-29-b4-71-bc
IPアドレス	192.168.5.60
ステータス	承認済み

ログ収集モジュール名	バージョン	最終ログ取得日時
WM0情報	2.1.1.45	2009-11-12 12:52:44
ウイルスパターン情報	2.1.1.45	2009-11-12 12:50:20
アプリケーション情報	2.1.1.45	2009-11-12 13:52:10
デバイス情報	2.1.1.45	2009-11-12 14:50:07
イベントログ情報	2.1.1.45	2009-11-12 14:50:15
クライアントPC起動情報	2.1.1.45	2009-11-12 14:50:43
パフォーマンス・プロセス情報	2.1.1.45	2009-11-12 14:50:25
サービス情報	2.1.1.45	2009-11-12 14:50:18
Webアクセス履歴情報	2.1.1.45	2009-11-12 14:50:21

メールサーバ設定情報

SMTPサーバ	
ポート	
送信元メールアドレス	
POPサーバ名 (POPBeforeSMTP)	
POPポート	
POPユーザー	

[アラート通知メールサーバ設定](#)

- ・メールサーバーの情報を設定する
アラートメール送信時に利用する送信メールサーバー情報を設定します。

アラート通知メールサーバ設定

[ポーリングサーバの設定とステータス](#) | [ポーリングサーバ詳細](#) ①

ポーリングサーバ名	lv-test-new	②
SMTPサーバ	<input type="text"/>	③
ポート	25	④
送信元メールアドレス	<input type="text"/>	

POPBeforeSMTPを使用する

POPサーバ名 (POPBeforeSMTP)	<input type="text"/>	⑤
POPポート	110	⑥
POPユーザー	<input type="text"/>	⑦
POPパスワード	<input type="text"/>	⑧
POPパスワード確認	<input type="text"/>	⑨

- ①ポーリングサーバー名
- ②SMTP サーバー名
SMTP サーバー名を入力します。(IP アドレスでも可)
- ③ポート
SMTP で使用するポート番号を入力します。

④送信元メールアドレス

アラートメールの送信者となるメールアドレスを入力します。

※POP Before SMTP を使用する場合

⑤POP サーバー名 (POP Before SMTP)

POP サーバー名を入力します。(IP アドレスでも可)

⑥POP ポート

POP で使用するポート番号を入力します。

⑦POP ユーザー

POP ユーザー名を入力します。

⑧POP パスワード

POP パスワードを入力します。

⑨POP パスワード確認

確認のため POP パスワードを入力します。

✓グループとは？

グループの概念は、

「1.4 グループと LogVillage ユーザーの関係図」を参照してください。(p. 13)

管理対象 PC をグループ化して登録することができます。

部署ごとにグループを作成するとわかりやすく管理ができます。グループごとに設定を行うこともできます。

✓ALL は第一レイヤーグループの初期設定名称です。名称は変更可能です。

3. 1. 2 グループ

グループの登録、変更、削除を行いません。

- ・ ALL

初期状態の第一レイヤーグループです。グループの設定を行わない場合は全て全体グループに属します。

- ・ 階層構造

階層構造を持たせることができます。階層は 30 までとなります。

- ・ グループの権限

LogVillage ユーザーをどこに所属させるかでグループ階層構造における権限の設定が可能です。

第一レイヤーグループ (ALL) の権限を持つユーザーは全体設定とグループ毎の設定を行なうことができ、下層グループ (第一レイヤーグループ以外のグループすべて) の権限を持つユーザーは自分が属するグループと下位グループの設定を行なうことができます。

- ・ グループ毎の設定

下位グループの設定が存在しない場合は、上位グループの設定が反映されます。上位グループで行われた設定の変更・削除することは不可能です。

グループ毎のアラートメールの送信先が設定可能です。

また、送信先の複数登録が可能です。



・登録

「グループの新規追加」をクリックします。上位となるグループの選択を行い、グループ名を入力し「登録する」ボタンをクリックします。選択した上位グループの下位に新規グループが配置されます。

・編集

グループ名をクリックするとグループ名、階層を変更できます。

・削除

削除したいグループをチェックし、「削除する」ボタンをクリックしてください。

✓管理対象 PC に対して **administrator** 権限のあるユーザーであることが必要です。

✓ActiveDirectory ユーザーの場合は、(ドメイン名)¥(ユーザー名)で入力してください。

例)

So-ten¥administrator

※¥は、表示上は(バックslash)となります。

3. 1. 3 管理対象 PC

管理対象 PC の登録、削除、管理、ステータスの設定を行ないます。

管理対象 PC の登録は、手動登録、設定ツール (ActiveX 版)、設定ツール (ダウンロード版)、csv によるインポートで行なうことができます。

管理対象 PC をポーリングサーバーに割り当てることにより、ポーリングサーバーのステータスが稼働中となります。

■手動登録

必要な情報をすべて手入力します。

管理対象PCの設定

[管理対象PCの登録リスト](#)

コンピュータ名

アカウント名

パスワード

パスワード (確認用)

グループ名を指定

所属するポーリングサーバー (PS)名

ステータス

最終検出日時

- ・ コンピュータ名 (必須)
- ・ ユーザー名 (必須)
- ・ パスワード (必須)
- ・ グループ名 (任意・未入力の場合は第一レイヤーグループ)
- ・ ポーリングサーバー名 (任意・未入力の場合は「自動」)
- ・ ステータス (「稼働」または「停止」)

■自動設定ツール (オプション) による登録

別冊の「LogVillage2.0 導入マニュアル」の“管理対象 PC 自動設定ツール (オプション)”の項をご参照ください。

■csv によるインポート

カンマ区切りの csv ファイルのインポートを行いません。

※フォーマット

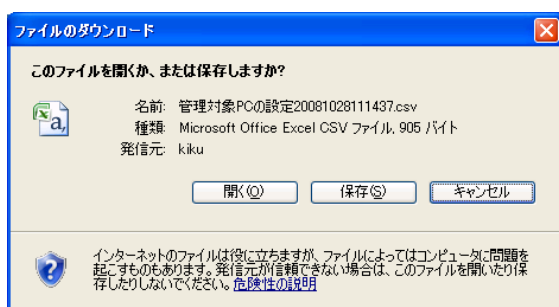
項目名	記述法など
コンピュータ名	必須
ユーザー名	必須
パスワード	必須
グループ名	任意・未入力の場合は第一レイヤーグループ
ポーリングサーバー名	任意・未入力の場合は「自動」

※ポーリングサーバー名の不一致、コンピュータ名重複の場合はエラーとなります。

○管理対象 PC のグループ名を一括で変更する方法（組織変更時など）

CSV インポートを行う際、インポート用 CSV ファイルにて、コンピュータ名の行のグループ名を変更し、インポートを実行すると管理対象 PC のグループを一括で変更することができます。

①エクスポートをクリックします。



②「ファイルのダウンロード」ダイアログが表示されますので [保存] をクリックします。

その後、保存場所を指定し CSV ファイルを保存します。

③②で保存した CSV ファイルを開きます。

・グループを変更する場合：

各コンピュータ名の行のグループ名を変更します。

・管理対象 PC を新規登録する場合：

最後の行の後に、コンピュータ名、ユーザー名、パスワード、グループ名、所属するポーリングサーバー名を入力します。

*1 新しいグループ名を登録する場合、インポートを行う前に必ず「グループの設定」画面より、新しいグループの登録を行っておいてください。

グループの登録が行われていないグループ名や間違ったグループ名（カタカナの全角/半角、スペースの有無、等）を CSV ファイルに入力し、インポートを行うと“コンピュータ名「xxxxxx」:グループ名「xxxxxxx」が登録されていません。”とエラー表示され、該当管理対象 PC のグループ名を変更することができませんのでご注意ください。

*2 グループ変更を行うコンピュータ名だけの CSV ファイルを作成することでも、インポートによる一括変更が可能です。

*3 新規登録 PC だけの CSV ファイルを作成することでも、インポートにより一括登録が可能です。

④インポート用 CSV ファイルを分割します。

一度に、インポートが行える CSV ファイルの行数は 300 行までです。

③で作成した CSV ファイルが 300 行（300 台）を超える場合、300 行以内の複数ファイルに分割を行ってください。



⑤ [インポート] をクリックします。



⑥ [参照] をクリックし、インポート用 CSV ファイルを指定します。

⑦ [実行] をクリックし、インポートを開始します。

※未登録なグループ名が存在した場合、エラーメッセージが表示されます。

⑧インポートが完了すると、「管理対象 PC の設定」画面に自動遷移します。

■管理対象 PC の検索

管理用 PC 一覧の絞り込みが可能です。

管理対象PCの登録リスト [インポート](#) | [エクスポート](#) | [最新ログ](#)

管理対象PCの新規登録や登録情報、ステータスの変更を行います。
グループ名、ポーリングサーバ名、ステータスは、本画面の最下部より一括変更を行うこともできます。
また、各管理対象PCが所属するポーリングサーバの指定や自動割当の設定を行うことができます。
自動割当とした場合、LogVillageは管理対象PCからネットワーク上で最も最適なポーリングサーバを自動で割当てます。

設定内容の検索

コンピュータ名	<input type="text"/>	(部分一致)	①
アカウント名	<input type="text"/>	(部分一致)	②
グループ名	ALL ▾		③
所属するポーリングサーバ(PS)名	<input type="text"/>		④
PSへの割当	自動/手動 ▾		⑤
ステータス	<input type="text"/>		⑥

・絞り込み条件

- ①コンピュータ名を指定
特定のコンピュータに絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)
- ②アカウント名を指定
特定のログオンアカウント名に絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)
- ③グループ名を指定
プルダウンでグループ名を選択します。
- ④所属するポーリングサーバ (PS) 名を指定
プルダウンでポーリングサーバ名を選択します。
- ⑤ステータスを指定
プルダウンでステータスを選択します。

■変更・削除

検索された設定内容

管理対象PCの新規登録

コンピュータ名▼	アカウント名▼	グループ名▼	所属するポーリングサーバ(PS)名▼	PSへの割当自動/手動	ステータス▼	最終検出日時▼
<input type="checkbox"/> Vista-PC2	so-ten	ALL	LV-P	自動	稼働	
<input type="checkbox"/> vm-winxp	administrator	ALL	LV-P	自動	稼働	2008-03-31 20:44:40
<input type="checkbox"/> w2kwork	administrator	ALL	LV-P	自動	稼働	2008-04-02 16:47:07
<input type="checkbox"/> ishikawa	k-ishikawa	ALL	LV-P	自動	稼働	2008-04-02 16:47:09
<input type="checkbox"/> win2003-default	administrator	ALL	LV-P	自動	稼働	2008-04-02 16:47:44

全てをチェック

チェックした管理対象PCを

管理対象PCの新規登録

一括設定 チェックした管理対象PCに対して一括更新

グループ名 所属するポーリングサーバ(PS)名 ステータス

・変更

コンピュータ名をクリックすると管理対象 PC のコンピュータ名、ユーザー名、パスワード、グループ名、ポーリングサーバ名、ステータスを変更できます。

・削除

削除したい管理対象 PC をチェックし、「削除する」ボタンをクリックしてください。

■登録した管理対象 PC の接続確認

登録した管理対象 PC が、正常に LogVillage より接続（ログ取得）可能かを確認することができます。

管理対象 PC の設定変更後、以下の手順をご参照のうえ、接続確認を行って下さい。

- 管理対象 PC 接続確認ツールのご利用手順

<http://www.so-ten.co.jp/manual/lv20/>

※上記 URL へアクセスすると、「LogVillage2.0 製品マニュアル」ページが表示されます。

“管理対象 PC 接続確認ツールのご利用手順”をご選択下さい。

3. 1. 4 トップ画面

LogVillage のログイン画面でメッセージを表示することができます。
表示設定に文字列を入力し、変更ボタンをクリックしてください。

トップ画面へのメッセージ表示設定

トップ画面へ表示するLogVillageユーザーへのメッセージ設定を行います。
表示するメッセージを入力後、[変更する]ボタンをクリックして下さい。

変更する

- ✓ URL アクセスのためには ID とパスワードが必要です。
ID とパスワードは、「LogVillage2.0 保守サポートシート」をご参照下さい。
- ✓すでにインポートされている場合は上書きとなります。

3. 1. 5 WindowsUpdate 情報

管理対象 PC の WindowsUpdate 情報を設定します。

■手動登録

必要な情報をすべて手入力します。

WindowsUpdate情報の登録

WindowsUpdate情報の登録リスト

*種別を複数入力する場合は「|」で区切ってください

文書番号

内容

種別

登録する

- ①文書番号 例) 931212
- ②内容 例) (MS07-040) .NET Framework の脆弱性により、リモートでコードが実行される
- ③種別 例) Windows XP Professional Service Pack 2;Windows XP Professional x64 Edition

④必要事項の入力後「登録する」ボタンをクリックします。

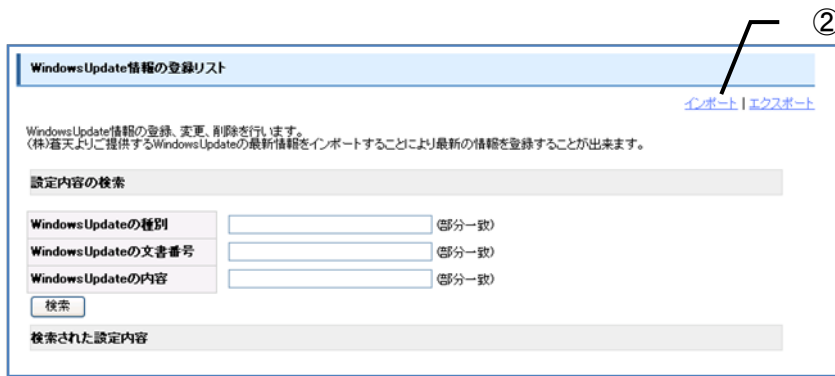
■csv によるインポート

カンマ区切りの csv ファイルのインポートを行ないます。

WindowsUpdate の設定ファイルは定期的に蒼天のホームページにアップしています。
下記 URL よりアクセスしてください。

<http://www.so-ten.co.jp/user/update/>

- ①上記リンク先で最新の WindowsUpdate 情報のご案内を確認してください。配布している WindowsUpdate 設定ファイルのリンク上で右クリックし、ポップアップメニューより [対象をファイルに保存] を選択します。
- ②LogVillage 画面上の [インポート] をクリックします。

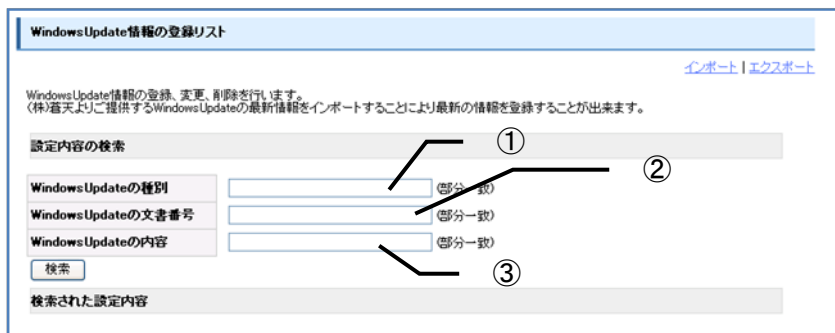


③ダウンロードしたファイルを指定し、「実行」をクリックします。



※取り込まれた WindowsUpdate 情報

<input type="checkbox"/>	887219	(MS05-004) ASP.NET バス検証の脆弱性	<ul style="list-style-type: none"> Windows 2000 Service Pack 3 Windows 2000 Service Pack 4 Windows Server 2003 Windows Server 2003 for Itanium-based Systems Windows Server 2003 Service Pack 1 Windows Server 2003 Service Pack 2 Windows Server 2003 with SP1 for Itanium-based Systems Windows Server 2003 with SP2 for Itanium-based Systems Windows Server 2003 x64 Edition Windows Server 2003 x64 Edition Service Pack 2 Windows Vista Windows XP Media Center Edition Windows XP Professional x64 Edition Windows XP Professional x64 Edition Service Pack 2 Windows XP Service Pack 1 Windows XP Service Pack 2 Windows XP Tablet PC Edition
<input type="checkbox"/>	889167	(MS06-010) PowerPoint 2000 の脆弱性により、情報漏えい が起る可能性がある	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2003 Service Pack 1 Windows Server 2003 Windows Server 2003 with SP1 for Itanium-based Systems Windows Server 2003 for Itanium-based Systems Windows Server 2003 x64 Edition Windows XP Service Pack 2 Windows XP Service Pack 1 Windows XP Professional x64 Edition



■ 設定内容の検索

① WindowsUpdate の種別

特定の WindowsUpdate の種別に絞り込んで結果を出力することが可能です。

(部分一致可)

② WindowsUpdate の文書番号

特定の WindowsUpdate の文書番号に絞り込んで結果を出力することが可能です。

(部分一致可)

③ WindowsUpdate の内容

特定の WindowsUpdate の内容に絞り込んで結果を出力することが可能です。

(部分一致可)

■ 変更・削除

・ 変更

文書番号をクリックすると文書番号、内容、種別が変更可能です。

※種別を複数入力する場合は「;」で区切ってください

Windows Update情報の設定

Windows Update情報の登録リスト

※種別を複数入力する場合は「;」で区切ってください

文書番号	947890
内容	(MS08-008) OLE オートメーションの脆弱性により、リモート
種別	Microsoft Office 2004 for Mac; Microsoft Visual Basic

登録する

・ 削除

削除したい文書番号をチェックし、「削除する」ボタンをクリックします。

<input type="checkbox"/>	947890	(MS08-008) OLE オートメーションの脆弱性により、リモートでコードが実行される	Windows Server 2000 Service Pack 1 Windows Server 2003 Service Pack 2 Windows Server 2003 with SP1 for Itanium-based Systems Windows Server 2003 with SP2 for Itanium-based Systems Windows Server 2003 x64 Edition Windows Server 2003 x64 Edition Service Pack 2 Windows Vista Windows Vista x64 Edition Windows XP Professional x64 Edition Windows XP Professional x64 Edition Service Pack 2 Windows XP Service Pack 2
--------------------------	--------	---	---

全てをチェック

削除する

チェックしたWindows Updateを
Windows Updateの新規追加

3. 1. 6 ウィルス対策ソフト定義ファイル

ウィルス対策ソフト/定義ファイルの保存場所を設定します。
設定することによって更新状況が確認可能です。

■ 設定内容の検索

① ウィルス対策ソフト名

特定のウィルス対策ソフトに絞り込んで結果を出力することが可能です。(部分一致可)

■ 追加

② ウィルス対策ソフト名

任意のウィルス対策ソフト名を入力します。

③ 定義ファイルの保存フォルダパス

定義ファイルの保存フォルダパスを入力します。

④ 「追加する」をクリックします。

■ 変更・削除

・ 変更

変更する内容を直接入力し、変更したい行にチェックを入れ、「変更する」ボタンをクリックします。

・削除

削除したい行にチェックを入れ、「削除する」ボタンをクリックします。

■使用する・使用しない

設定した定義ファイルを使用するかしないか選択可能です。

3. 1. 7 プロセス名辞書

Logvillageは管理対象PCのプロセス情報とインストールされているアプリケーション情報をそれぞれ取得することができますが、どのアプリケーションがどのプロセスか、という情報は保持していません。

したがって、プロセスの、プロセス稼働時間、システム管理画面のプロセス・アプリケーション登録やアラートリストにおいて、どのようなアプリケーションか把握するにはプロセス名とアプリケーション名を結びつける設定が必要になります。

この辞書は、稼働管理→パフォーマンスログ→プロセスの CPU 利用率画面の絞込み設定→詳細設定の中に、アプリケーション名指定にて使用されます

設定はすべてのPCに適用されます。登録方法は、手動での登録と、インポートによる登録の2種類があります。

■追加（手動での登録）

- ①アプリケーション名を直接入力します。
- ②「追加する」をクリックします。

プロセス名辞書の設定(アプリケーション名→プロセス名辞書) [インポート](#) | [エクスポート](#)

アプリケーション名からプロセス名を判別するための辞書の設定を行います。
この辞書は、稼働管理→パフォーマンスログ→プロセスのCPU利用率画面の絞込み設定→詳細設定の中に、アプリケーション名指定にて使用されます。
また、一つのアプリケーション名に対して複数のプロセス名を登録することも可能です。

設定内容の検索

アプリケーション名 (部分一致)

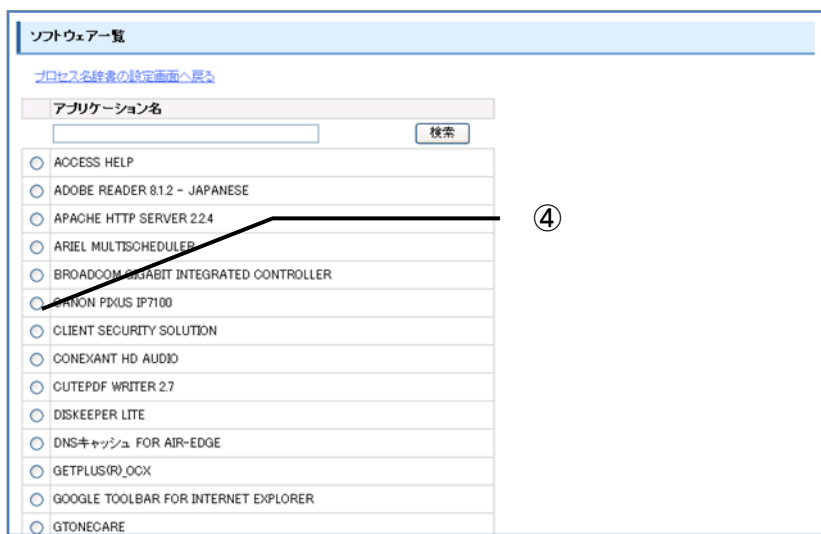
プロセス名 (部分一致)

検索された設定内容

アプリケーション名	プロセス名
全てをチェック	
該当するデータはありません	
新規にプロセス辞書を登録する	
アプリケーション名を直接入力 <input type="text"/>	<input type="button" value="追加する"/>
ソフトウェア一覧よりアプリケーション名を選択して追加する	

※アプリケーション名を一覧より選択する場合

- ③「ソフトウェア一覧よりアプリケーション名を選択して追加する」をクリックします。



- ④アプリケーション名を選択し「追加ボタン」をクリックします。
- ⑤プロセス名を入力します。
- ⑥「追加する」をクリックします。

※プロセス名を一覧より選択する場合

- ⑦「プロセスリストから追加する」をクリックします。



- ⑧プロセス名を選択し、「追加ボタン」をクリックします。



■ ファイルをインポートする場合

すでにあるアプリケーション名とプロセス名が関連付けられたファイルをインポートすることができます。

① ファイルの準備をします。

CSV 形式

アプリケーション名, プロセス名

例)

"SKYPE 3.6", SKYPE

"SKYPE 3.6", SKYPEPM

② 「インポート」 をクリックします。

③ ファイルのパスを指定します。

④ 「実行」 をクリックします。

プロセス名辞書の設定(アプリケーション名→プロセス名辞書)

CSVファイル: 参照...

実行 キャンセル

■ 絞り込み検索

設定内容の検索

アプリケーション名 (部分一致)

プロセス名 (部分一致)

検索

① アプリケーション名

特定のアプリケーション名に絞り込んで結果を出力することが可能です。(部分一致可)

② プロセス名

特定のプロセス名に絞り込んで結果を出力することが可能です。(部分一致可)

✓設定値以下になった場合は、ハードウェア台帳の HDD 空き容量の欄がオレンジ色に表示されます。

3. 1. 8 拡張項目名（資産管理）

資産管理の追加項目の設定と HDD 残容量警告値の設定を行います。

ハードディスクの残容量警告値の設定

ハードディスクの残容量警告値の設定を行います。
空白の場合は残容量のチェックを行いません。

パーセンテージを入力して「設定する」をクリックします。

ハードウェア台帳の拡張項目の設定

ハードウェア台帳の拡張項目の設定を行います。
LogVillage の PC 資産情報は、WMI 情報より取得しています。WMI 情報以外の項目（例・リース期限、利用者名など）を管理する場合に使用します。任意の項目を登録してください。

■ 追加

- ① 拡張項目名を入力します。
- ② ハードウェア詳細情報に追加します。
- ③ ハードウェア台帳に追加します。
- ④ 拡張項目名の「追加する」ボタンをクリックします。

■ 変更・削除

・ 変更

該当する項目を変更してその行の「設定する」ボタンをクリックします。

・ 削除

該当する行の「削除する」ボタンをクリックします。

3. 1. 9 ネットワークスキャン設定

ネットワークスキャンの実行条件を設定します。

スキャン範囲	実行曜日							開始時刻	スキャン実行間隔
	毎日	月	火	水	木	金	土		
192.168.5.1 ~ 192.168.5.101	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	09:00	3 時間
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	00:00	1 時間

- ① ネットワークスキャンを実行する IP アドレスの範囲を設定します。
例) 192.168.5.1~192.168.5.100
192.168.5.1~192.168.6.255
- ② 実行する曜日を選択します。
- ③ 開始時刻を設定します。
ここで設定した開始時刻にネットワークスキャンが開始され、その後は次に設定するスキャン実行間隔毎にネットワークスキャンが実行されます。
- ④ スキャン実行間隔を設定します。
ここで設定した時間の間隔でネットワークスキャンが実行されます。
- ⑤ 複数の IP アドレス範囲を設定する場合に[+]ボタンをクリックすると 1 行追加されます。

スキャン範囲	実行曜日							開始時刻	スキャン実行間隔
	毎日	月	火	水	木	金	土		
192.168.5.1 ~ 192.168.5.101	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	09:00	3 時間
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	00:00	1 時間

- ⑥ [設定] をクリックすると設定が保存されます。

3. 1. 10 ネットワークスキャンアラート設定

ネットワークスキャンにて新たに検出されたノード、検出されなくなったノードがあった場合にアラートメールを送信する設定を行います。
本設定はポーリングサーバ単位の設定となります。

【ご注意ください】
事前に、「ポーリングサーバ」設定にて「アラート通知メールサーバ設定」が必要です。

①設定するポーリングサーバ名を選択し[追加する]をクリックします。
以下のアラート条件設定画面に遷移します。

- ②アラートを発信する条件を選択します。（複数選択可）
- ・ 新規検出ノード：新たなノードを検出したばあいにアラートが発信されます。
 - ・ 検出されなくなったノード：ネットワークスキャンで検出されていたノードの中で検出が行えなくなったノードがあった場合にアラート送信されます。

- ③アラートメールの送信先を設定します。
「; (セミコロン)」で区切ると複数メールアドレスを設定可能です。
- ④アラートメールのタイトル (件名) を設定します。
- ⑤アラートメールを送信する曜日を設定します。
- ⑥アラートメールの送信時刻を設定します。

アラートは、前回アラート送信から今回のアラート送信までの間で、アラート条件に合致するイベントがあればアラート発信されます。

- ⑦[設定する]をクリックすると設定が保存されます。

3. 2 グループ単位設定

3. 2. 1 LogVillage ユーザー

LogVillage を利用するユーザーの設定を行います。

一番最初に登録するユーザーはすべての権限をもつユーザーとなります。このユーザーの登録を行った時点で、初期管理者である so-ten（パスワード：so-ten）は利用できなくなります。

ユーザー登録時にアクセス権限を設定し、ユーザーは与えられた権限の機能を使用することができます。ただし、現在ログインしている LogVillage ユーザーが所属するグループおよびその下位グループとなります。グループが「第一レイヤー」の時のみ、「全体の共通設定」の項目を選択できます。

LogVillageユーザーの設定

LogVillageを利用するユーザーの登録、変更、削除、および各ユーザーの権限の設定を行います。

設定内容の検索

①

②

③

④

検索

検索された設定内容

[LogVillageユーザーの新規追加](#)

ユーザー名▼	メールアドレス	グループ▼	備考▼
<input type="checkbox"/> admin		ALL	
<input type="checkbox"/> salesmgr		営業本部	
<input type="checkbox"/> salesuser		営業1部	

チェックしたユーザーを

[LogVillageユーザーの新規追加](#)

■設定内容の検索

①ユーザー名

特定のユーザー名に絞り込んで結果を出力することが可能です。（部分一致可）

②メールアドレス

特定のメールアドレスに絞り込んで結果を出力することが可能です。（部分一致可）

③グループ

特定の WindowsUpdate の内容に絞り込んで結果を出力することが可能です。（部分一致可）

④備考

■追加

①Logvillage 新規ユーザーの追加 をクリックします。

- ②「ユーザー名」を入力します。
- ③「パスワード」を入力します。
- ④確認のため、もう一度「パスワード」を入力します。
- ⑤「メールアドレス」を入力します。
- ⑥グループをプルダウンメニューから選択します。
- ⑦「備考」を任意で入力します。
- ⑧「権限設定画面へ」をクリックします。

⑨権限設定を変更・確認し「設定」ボタンをクリックします。

■変更

①該当ユーザー名をクリックします。

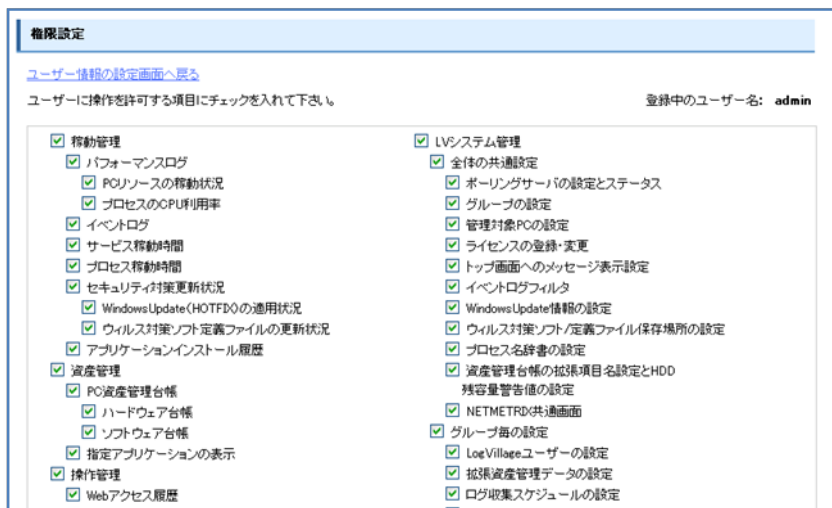
ユーザー名▼	メールアドレス	グループ▼	備考▼
<input type="checkbox"/> admin	ishikawa@so-ten.co.jp	ALL	
<input type="checkbox"/> salesmgr		営業本部	
<input type="checkbox"/> salesuser		営業1部	

- ②変更したい項目に変更値を入力します。
- ③「権限設定画面へ」をクリックします。
- ④権限設定を変更・確認し「設定」ボタンをクリックします。

■削除

- ⑤該当ユーザーにチェックを入れます。
- ⑥「削除する」ボタンをクリックします。

■権限設定画面



以下の権限の設定が可能です。

設定項目		
稼働管理	パフォーマンスログ	PC リソースの稼働状況 プロセスの CPU 利用率
	イベントログ	
	サービス稼働時間	
	プロセス稼働時間	
	セキュリティ対策更新状況	WindowsUpdate (HOTFIX) の適用状況 ウィルス対策ソフト定義ファイルの更新状況
	アプリケーションインストール履歴	
資産管理	PC 資産管理台帳	ハードウェア台帳 ソフトウェア台帳
	指定アプリケーションの表示	
操作管理	Web アクセス履歴	
	印刷履歴	
	ログオン・オフ履歴	
	デバイス接続履歴	
ファイル管理	ファイル更新履歴	
URL カテゴリ履歴	URL カテゴリ履歴	
アラート通知履歴	禁止サイトへの Web アクセス	
	禁止印刷ファイル/枚数制限	
	禁止アカウントでのログオン	
	禁止デバイスの接続	
	指定イベントログの発生	
	サービス検知	
	プロセスの検知	
	ウィルス対策ソフトの定義ファイル未更新	
	アプリケーション・インストールの検知	
PC リソースのしきい値超過		
セキュリティサマリー		

設定項目		
システム設定	共通設定	ポーリングサーバー
		グループ
		管理対象 PC
		トップ画面
		WindowsUpdate 情報
		ウィルス対策ソフト定義ファイル
		プロセス名辞書
		拡張項目名 (資産管理)
	グループ単位設定	LogVillage ユーザーの設定
		ログ収集スケジュール
		指定アプリケーション
		管理対象プロセス
		管理対象サービス
		管理対象フォルダ
		保有ソフトウェアライセンス
		拡張項目データ登録 (資産管理)
	アラートポリシー設定	禁止 Web サイトへのアクセス
		禁止印刷ファイル/枚数制限
		禁止アカウントでのログオン
		禁止デバイスの接続
		指定イベントログの発生
		サービスの検知
		プロセスの検知
		ウィルス対策ソフトの定義ファイル未更新
		アプリケーション・インストールの検知
		PC リソースのしきい値超過
	運用管理	ライセンスの登録・変更
LogVillage ログイン履歴		
LogVillage の稼動モニター		
ユーザー情報変更		

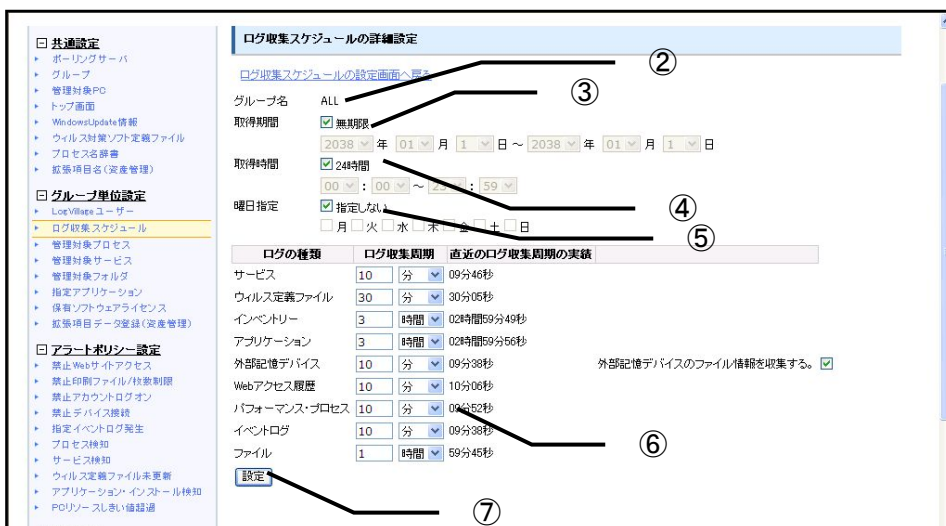
3. 2. 2 ログ収集スケジュール

グループ毎のスケジュールの管理を行なうことができます。
どの項目をどのくらいの間隔で取るかを設定します。



■追加

①スケジュールの新規追加 をクリックします。



②スケジュールの所属する「グループ名」をプルダウンメニューから選択します。

③「取得期間」を入力します。

④「取得時間」を入力します。

⑤「曜日指定」を入力します。

⑥ ログの収集周期を入力します。

- ・ サービス
- ・ ウィルス定義ファイル
- ・ インベントリー
- ・ アプリケーション
- ・ 外部記憶デバイス

※外部記憶デバイスのファイル情報を収集する場合はチェックを入れます。

- ・ Web アクセス履歴
- ・ パフォーマンス・プロセス
- ・ イベントログ
- ・ ファイル

⑦ 「設定」 ボタンをクリックします。

✓WMI 情報、アプリケーション情報、Web アクセス履歴情報、イベントログ情報は、初回分は時間がかかる場合があります。

■ 変更

① 該当するスケジュールの「スケジュールの内容を変更する」をクリックします。

② 変更画面にて変更を行い、「設定する」 ボタンをクリックします。



■ 削除

③ 削除したいスケジュールにチェックを入れて「削除する」 ボタンをクリックします。

■ ログ収集スケジュール関連表

ログ収集スケジュール 種別	稼働ファイル	関連レポート種別
サービス情報	05：サービス情報ファイル	稼働管理/サービス稼働時間
ウイルスパターン情報	07：パターンファイル 更新情報ファイル	稼働管理/セキュリティ対策更新状況/ ウイルス対策ソフト定義ファイルの更新状況
WMI情報	12：WMI情報ファイル	資産管理/PC資産管理台帳/ハードウェア台帳
アプリケーション情報	01：アプリケーション 情報ファイル	稼働管理/アプリケーションインストール履歴 稼働管理/セキュリティ対策更新状況/WindowsUpdate (HOTFIX)の適用状況 資産管理/PC資産管理台帳/ソフトウェア台帳
デバイス情報	02：デバイス情報ファイル	操作管理/デバイス接続履歴
Webアクセス履歴情報	11：URL履歴情報ファイル	操作管理/Webアクセス履歴
パフォーマンス・プロセス情報	03：プロセス情報ファイル	稼働管理/パフォーマンスログ/プロセスのCPU利用率 稼働管理/プロセス稼働時間
	04：パフォーマンス情報 ファイル	稼働管理/パフォーマンスログ/PCリソースの稼働状況
イベントログ情報	08：イベントログ情報 ファイル	稼働管理/イベントログ
	09：印刷履歴情報ファイル	操作管理/印刷履歴
	10：ログオン情報ファイル	操作管理/ログオン・オフ履歴
HDDファイル情報収集	06：ファイル情報ファイル	ファイル管理/ファイル管理
—	13：アラート履歴情報 ファイル※1	アラート通知履歴
—	15：ポーリングサーバ の状態ファイル※2	システム設定/全体の共通設定/ポーリングサーバの設定 とステータス内「最終ログ取得日時」項目

※1：アラート対象となる情報が検出された際に生成される稼働ファイルとなります。

※2：PollingServer のログが規定値を超えた際に、定期的に Manager へ連絡するために生成される稼働ファイルとなります。

3. 2. 3 管理対象プロセス

プロセス稼働時間画面にて稼働時間を確認したいプロセスを登録します。

- ・ 設定情報はグループ毎に変更することができます。
- ・ 上位グループで設定されたものは変更・削除できません。

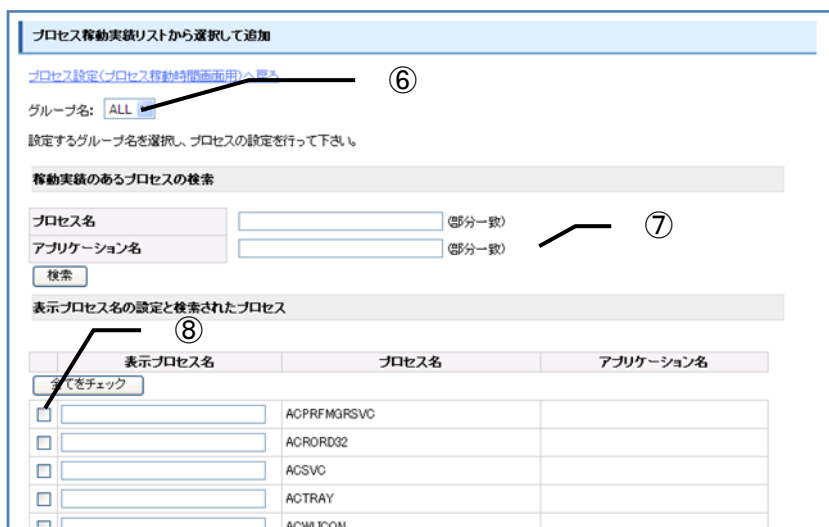
■ 追加

・ 手動でプロセスを追加する場合

- ① 所属させるグループをプルダウンメニューから選択します。(必須)
- ② 「表示プロセス名」を入力します。
- ③ 「プロセス名」(必須)を入力します。
- ④ 「アプリケーション名」を入力します。

・ プロセス稼働実績リストから選択して追加する場合(推奨)

- ⑤ 「プロセス稼働実績リストから選択して追加する」をクリックします。



⑥設定するグループをプルダウンメニューから選択します。

⑦(必要であれば)プロセスの検索が可能です。

・プロセス名

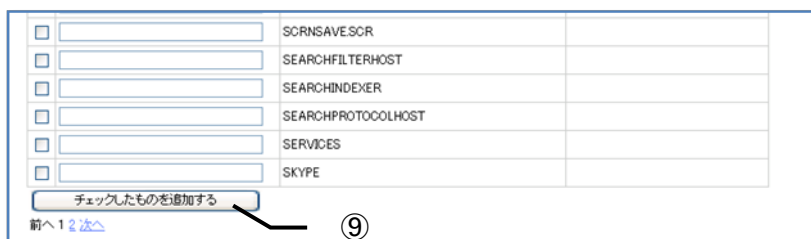
特定のプロセス名に絞り込むことが可能です。(部分一致可)

・アプリケーション名

アプリケーション名で絞り込むことが可能です。(部分一致可)

⑧プロセスを選択してチェックを入れます。(ここで表示プロセス名を入力できます。空白の場合サービス名が表示プロセス名となります。)

⑨「チェックしたものを追加する」をクリックします。



■変更

⑩変更したいプロセスの内容を変更し、チェックを入れ、「変更する」ボタンをクリックします。

■削除

⑪削除したいプロセスにチェックを入れ、「削除する」ボタンをクリックします。

3. 2. 4 管理対象サービス

サブす稼働時間画面にて稼働時間を確認したいサービスを登録します。

- ・ 設定情報はグループ毎に変更することが可能です。
- ・ 上位グループでの設定は変更・削除できません。

サービス設定(サービス稼働時間画面用)

稼働管理→サービス稼働時間画面に表示するサービスの設定を行います。
実際のサービス名と画面表示用サービス名の設定、表示するグループ名の設定
を行います。

現在登録されているサービス

グループ名	表示サービス名	サービス名	サービスの説明
<input type="checkbox"/> ALL	LV_ManagerServer	LV_ManagerServer	LV_ManagerServer
<input type="checkbox"/> ALL	LV_M_MonitorSrv	LV_M_MonitorSrv	LV_M_MonitorSrv
<input type="checkbox"/> ALL	LV_PollingServer	LV_PollingServer	LV_PollingServer
<input type="checkbox"/> ALL	LV_P_MonitorSrv	LV_P_MonitorSrv	LV_P_MonitorSrv

チェックしたサービスを

新規に表示サービスを登録する

ALL

[サービス稼働実績リストから選択して追加する](#)

■追加

- ・ 手動でサービスを追加する場合

- ①所属させるグループをプルダウンメニューから選択します。(必須)
- ②「表示サービス名」を入力します。
- ③「サービス名」(必須)を入力します。
- ④「サービスの説明」を入力します。

- ・ サービス稼働実績リストから選択して追加する場合(推奨)

- ⑤「サービス稼働実績リストから選択して追加する」をクリックします。



- ⑥設定するグループをプルダウンメニューから選択します。
- ⑦(必要であれば)サービスの検索が可能です。
 - ・サービス名 特定のサービス名に絞り込むことが可能です。(部分一致可)
 - ・サービスの説明 サービス名で絞り込むことが可能です。(部分一致可)
- ⑧サービスを選択してチェックを入れます。(ここで表示サービス名を入力できます。空白の場合サービス名が表示サービス名となります。)
- ⑨「チェックしたものを追加する」をクリックします。

■変更

- ⑩変更したいサービスの内容を変更し、チェックを入れ、「変更する」ボタンをクリックします。

■削除

- ⑪削除したいサービスにチェックを入れ、「削除する」ボタンをクリックします。

3. 2. 5 管理対象フォルダ

ファイル管理でファイル情報を取得するフォルダを登録します。

- ・設定情報はグループ毎に変更することができます。
- ・上位グループで設定されたものは変更・削除できません。
- ・初回ポーリング時に登録したフォルダ内のファイル情報をすべて取得し、リスト表示します。

管理対象フォルダ設定(ファイル更新履歴画面用)/フォルダ設定(全体)

ファイルの更新履歴を管理するフォルダの設定を行ないます。 [インポート](#) | [エクスポート](#)

管理対象フォルダの新規追加/編集

グループ名

現在登録されているフォルダ

検索された設定内容

チェックしたグループの設定を

<input type="checkbox"/>	グループ名▼	コンピュータ名▼	フォルダ名▼	ステータス
<input type="checkbox"/>	ALL	wir2003-default	C:\Documents and Settings\Administrator\My Documents	未検出
<input type="checkbox"/>	営業本部	ishikawa	C:\Documents and Settings\k-ishikawa\My Documents	
			C:\Program Files\Microsoft Windows OneCare Live	
		netstar-xp	c:\	
			C:\Documents and Settings\Administrator\My Documents	

チェックしたグループの設定を

■追加（管理対象フォルダの新規追加）

- ①「グループ名」をプルダウンメニューより選択します。
- ②「グループ全体設定」または「個別 PC の設定」ボタンをクリックします。
 - ・グループ全体設定
グループ内すべての端末が同じフォルダを指定するのであればこちらを使用します。
 - ・個別 PC の設定
PCによって監視するフォルダが異なる場合個別指定となるため、こちらを使用します。

- ③フォルダパスを入力します。
- ④「追加する」ボタンをクリックします。

管理対象フォルダ設定(ファイル更新履歴画面用)/フォルダ設定の編集(PC個別)

フォルダ設定(全体)画面へ戻る
 フォルダ設定の編集(グループ全体)画面へ移動する

グループ名

フォルダパスの追加

- 直接フォルダパスを登録する

コンピュータ名 フォルダパス

設定内容の検索

検索された設定内容

チェックしたフォルダパスを

<input type="checkbox"/>	コンピュータ名▼	フォルダ名▼	ステータス
<input type="checkbox"/>	ishikawa	C:\Documents and Settings\k-ishikawa\My Documents	
<input type="checkbox"/>	ishikawa	C:\Program Files\Microsoft Windows OneCare Live	
<input type="checkbox"/>	ishikawa	c:\	
<input type="checkbox"/>	netstar-xp	C:\Documents and Settings\Administrator\My Documents	

チェックしたフォルダパスを

■ 変更

- ①変更したいグループをクリックします。

管理対象フォルダ設定(ファイル更新履歴画面用)/フォルダ設定(全体)

ファイルの更新履歴を管理するフォルダの設定を行います。 [レポート](#) | [エクスポート](#)

管理対象フォルダの新規追加/編集

グループ名

現在登録されているフォルダ

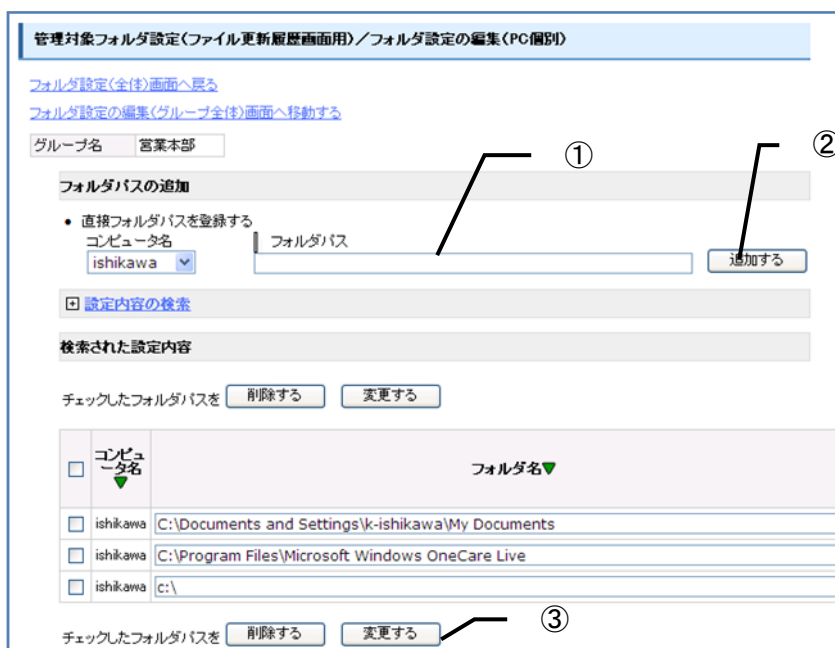
設定内容の検索

検索された設定内容

チェックしたグループの設定を

<input type="checkbox"/>	グループ名▼	コンピュータ名▼	フォルダ名▼	ステータス
<input type="checkbox"/>	ALL	win2003-default	C:\Documents and Settings\Administrator\My Documents	未検出
<input type="checkbox"/>	営業本部	ishikawa	C:\Documents and Settings\k-ishikawa\My Documents	
		netstar-xp	C:\Program Files\Microsoft Windows OneCare Live	
			c:\	
			C:\Documents and Settings\Administrator\My Documents	

チェックしたグループの設定を

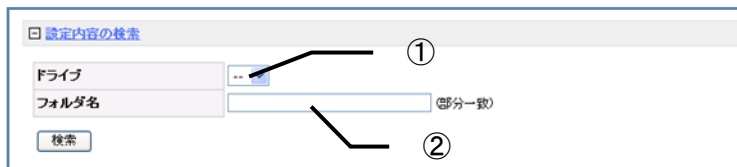


・ 追加

- ①フォルダパスの追加にてフォルダパスを入力します。
- ②「追加」ボタンをクリックします。

・ 変更

- ③一覧から変更したいパスを選択し「変更する」ボタンをクリックします。



・ 設定内容の検索

- ①ドライブ
フォルダパスのドライブをプルダウンメニューから指定します。
- ②フォルダ名
フォルダ名から絞り込み検索が可能です。(部分一致可)

■ 削除

- ・ グループ全体の設定を削除したい場合
削除したいグループにチェックを入れ、「削除する」ボタンをクリックします。
- ・ グループ内の設定を個別に削除したい場合
削除したい設定が含まれているグループをクリックします。
削除したいフォルダパスにチェックを入れ、「削除する」ボタンをクリックします。

■対象拡張子、対象外拡張子、対象外フォルダの設定

※「対象フォルダ」は管理画面の「管理対象フォルダ設定」で指定します。
「対象拡張子」「対象外拡張子」「対象外フォルダ」は、PSのConfig.iniで指定します。

・設定方法

①以下のファイルを開きます。

「LogVillage インストールフォルダ¥PServer¥Config.ini」

②任意の設定を行います。

※「,」で区切ってください。

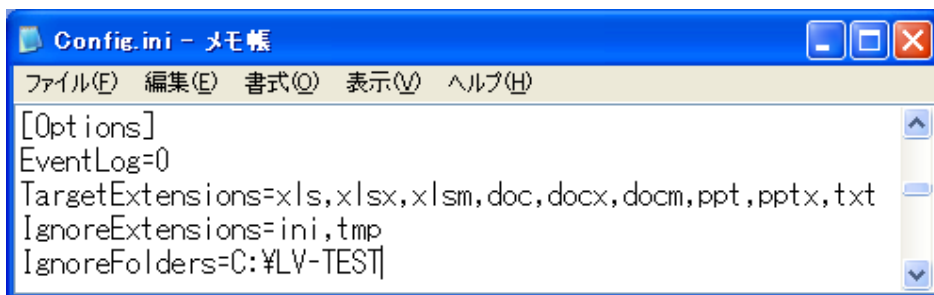
[Options]

TargetExtensions : 対象の拡張子を入力します

IgnoreExtensions : 対象外の拡張子を入力します

IgnoreFolders : 対象外のフォルダを入力します

例 :



上図の場合、以下となります。

対象の拡張子 : xls,xlsx,xlsm,doc,docx,docm,ppt,pptx,txt

対象外の拡張子 : ini,tmp

対象外のフォルダ : C:¥LV-TEST

③ポーリングサーバーを再起動します。

再起動方法は「<<補足資料>>」の「■LogVillagePSの再起動」をご参照ください。

・設定の優先順位は、以下の通りです。

1. IgnoreFolders
2. IgnoreExtensions
3. TargetExtensions
4. 管理画面の「管理対象フォルダ設定」

✓ポーリングサーバーを複数 PC にインストールした場合は、全ての PC に設定を行ってください。

・ 注意点

[1] 「IgnoreExtensions」と「TargetExtensions」に同じ拡張子を設定した場合、「IgnoreExtensions」が有効となり、対象の拡張子の情報が取得できません。

(新規ファイルの情報は取得しないor 既存ファイルは削除扱いとなります)

例 : TargetExtensions=xls,xlsx

IgnoreExtensions=xls

→結果

「xls」は対象外、「xlsx」のみ収集します。

[2] 「IgnoreExtensions」と「TargetExtensions」にまったく同じ設定すると、ファイル管理のログ収集が停止します。

例 : TargetExtensions=xls,xlsx

IgnoreExtensions=xls,xlsx

→結果

06稼働ファイルを作成しない。ファイル情報が収集されません。

[3] 「IgnoreFolders」は、指定したフォルダ名のみ対象外となります。

例 : IgnoreFolders=C:¥LV-TEST¥bbb

→結果

C:¥LV-TEST¥aaa →収集する

C:¥LV-TEST¥bbb →収集しない

C:¥LV-TEST¥bbb_01 →収集する

C:¥LV-TEST¥01_bbb →収集する

[4] 「IgnoreFolders」と「管理対象フォルダ設定」に同じフォルダ名があった場合、「IgnoreFolders」が有効となります。

例 : IgnoreFolders=C:¥test

管理対象フォルダ設定

<input type="checkbox"/>	グループ名▼	コンピュータ名▼	フォルダ名▼	ステータス
<input checked="" type="checkbox"/>	ALL	グループ全体	C¥test	未検出

→結果

C:¥test →収集しない

3. 2. 6 指定アプリケーション

バージョン管理などのために、特定のソフトウェアをグルーピングして設定可能です。

- ・設定情報はグループ毎に変更することができます。
- ・上位グループで設定されたものは変更・削除できません。

指定アプリケーションの登録は、グループ内 PC にインストールされたアプリケーション名、バージョン情報、ベンダー名がリスト表示されます。表示名を入力項目とし、未入力の場合はアプリケーション名+バージョン名が自動で入力されます。リストを使用せず、手入力を行なうことも可能です。

また、指定アプリケーション設定は一括登録、一括削除が可能です。

■追加

①「指定アプリケーションの新規登録」をクリックします。

②設定したい「グループ名」をプルダウンメニューから選択します。

③「指定アプリケーション名」を入力します。

④「設定を保存する」をクリックします。

指定アプリケーション編集・直接登録

[指定アプリケーション一覧へ戻る](#) | [指定アプリケーション詳細](#)

グループ名: ALL
 指定アプリケーション名: MsOffice

アプリケーションリスト

表示アプリケーション名	アプリケーション名	バージョン	メーカー名	
<input type="checkbox"/>	MICROSOFT OFFICE WORL	MICROSOFT OFFICE WORL	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation
<input type="checkbox"/>	MICROSOFT OFFICE PUBL	MICROSOFT OFFICE PUBL	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation
<input type="checkbox"/>	MICROSOFT OFFICE POWE	MICROSOFT OFFICE POWE	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation
<input type="checkbox"/>	MICROSOFT OFFICE OUTL	MICROSOFT OFFICE OUTL	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation
<input type="checkbox"/>	MICROSOFT OFFICE EXCE	MICROSOFT OFFICE EXCE	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation
<input type="checkbox"/>	MICROSOFT OFFICE ACCE	MICROSOFT OFFICE ACCE	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation

チェックしたアプリケーションを

新規アプリケーションリスト追加
 すべての項目を入力して「追加する」をクリックしてください。

[インストール済みアプリケーションリストから追加する](#)

・手入力の場合

- ① 「新規アプリケーションリスト追加」欄に項目名（表示アプリケーション名、アプリケーション名、バージョン、メーカー名）を入力します。
- ② 「追加する」ボタンをクリックします。

・インストール済みアプリケーションリストから追加する場合

- ③ 「インストール済みアプリケーションリストから追加する」をクリックします。

✓表示アプリケーション名は任意です。（空白の場合、アプリケーション名と同一になります。）

指定アプリケーション登録(リストから)

[指定アプリケーション一覧へ戻る](#) | [指定アプリケーション詳細](#) | [指定アプリケーション編集・直接登録](#)

グループ名: ALL
 指定アプリケーション名: MsOffice

インストール済みアプリケーションリスト

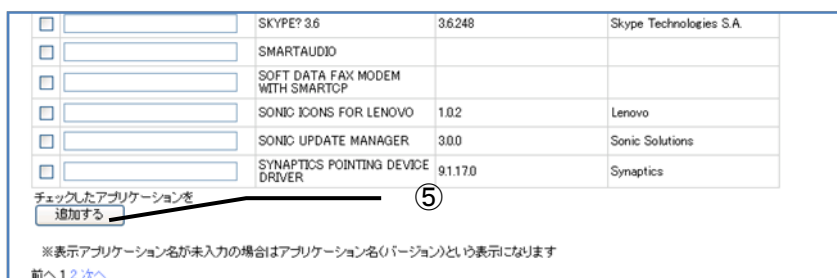
設定内容の検索

アプリケーション名: (部分一致)
 バージョン: (部分一致)
 メーカー名: (部分一致)

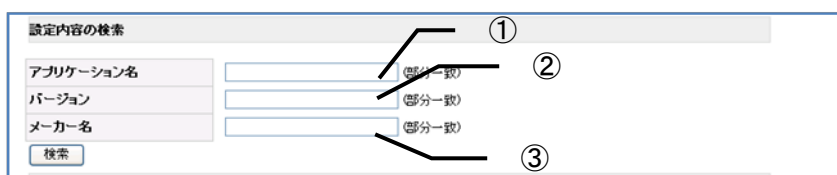
検索された設定内容

表示アプリケーション名	アプリケーション名	バージョン	メーカー名
<input type="checkbox"/>	ACCESS HELP	2.00	
<input type="checkbox"/>	ADOBE READER 8.1.2 - JAPANESE	8.1.2	Adobe Systems Incorporated
<input type="checkbox"/>	APACHE HTTP SERVER 2.2.4	2.2.4	Apache Software Foundation
<input type="checkbox"/>	ARIEL MULTISCHEDULER	11.000.1350	Ariel Networks
<input type="checkbox"/>	BROADCOM GIGABIT INTEGRATED CONTROLLER	10.15.13	Broadcom Corporation
<input type="checkbox"/>	CANON PDLUS IP7100		

- ④ グループ化したいアプリケーションにチェックを入れます。



⑤ 「追加する」 ボタンをクリックします。



■設定内容の検索

①アプリケーション名

特定のアプリケーション名に絞り込んで結果を出力することが可能です。

プルダウンメニューから選択します。(部分一致可)

②バージョン

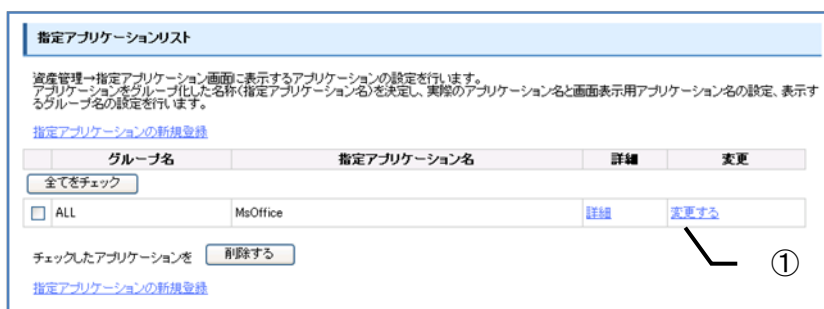
特定のバージョンに絞り込んで結果を出力することが可能です。(部分一致可)

③メーカー名

特定のメーカー名に絞り込んで結果を出力することが可能です。(部分一致可)

■変更

①該当する指定アプリケーションの「変更する」をクリックします。



②変更画面にてこの指定アプリケーションに関して、追加・変更・削除を行います。

指定アプリケーション編集・直接登録

[指定アプリケーション一覧へ戻る](#) | [指定アプリケーション詳細](#)

グループ名: ALL
 指定アプリケーション名: MsOffice

アプリケーションリスト

表示アプリケーション名	アプリケーション名	バージョン	メーカー名
<input type="checkbox"/> MICROSOFT OFFICE WORD	MICROSOFT OFFICE WORD	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation
<input type="checkbox"/> MICROSOFT OFFICE PUBL	MICROSOFT OFFICE PUBL	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation
<input type="checkbox"/> MICROSOFT OFFICE POWE	MICROSOFT OFFICE POWE	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation
<input type="checkbox"/> MICROSOFT OFFICE OUTL	MICROSOFT OFFICE OUTL	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation
<input type="checkbox"/> MICROSOFT OFFICE EXCE	MICROSOFT OFFICE EXCE	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation
<input type="checkbox"/> MICROSOFT OFFICE ACCE	MICROSOFT OFFICE ACCE	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation

チェックしたアプリケーションを

新規アプリケーションリスト追加
 すべての項目を入力して「追加する」をクリックしてください。

[インストール済みアプリケーションリストから追加する](#)

■削除

削除したい指定アプリケーションにチェックを入れて「削除する」ボタンをクリックしてください。

■詳細を確認する

「詳細」または、変更画面の「指定アプリケーションの詳細」をクリックしてください。

指定アプリケーション詳細

[指定アプリケーション一覧へ戻る](#)

グループ名: ALL
 指定アプリケーション名: MsOffice

表示アプリケーション名	アプリケーション名	バージョン	メーカー名
MICROSOFT OFFICE WORD MUI (JAPANESE) 2007 (12.0.4518.1014)	MICROSOFT OFFICE WORD MUI (JAPANESE) 2007	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation
MICROSOFT OFFICE PUBLISHER MUI (JAPANESE) 2007 (12.0.4518.1014)	MICROSOFT OFFICE PUBLISHER MUI (JAPANESE) 2007	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation
MICROSOFT OFFICE POWERPOINT MUI (JAPANESE) 2007 (12.0.4518.1014)	MICROSOFT OFFICE POWERPOINT MUI (JAPANESE) 2007	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation
MICROSOFT OFFICE OUTLOOK MUI (JAPANESE) 2007 (12.0.4518.1014)	MICROSOFT OFFICE OUTLOOK MUI (JAPANESE) 2007	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation
MICROSOFT OFFICE EXCEL MUI (JAPANESE) 2007 (12.0.4518.1014)	MICROSOFT OFFICE EXCEL MUI (JAPANESE) 2007	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation
MICROSOFT OFFICE ACCESS MUI (JAPANESE) 2007 (12.0.4518.1014)	MICROSOFT OFFICE ACCESS MUI (JAPANESE) 2007	12.0.4518.1014	Microsoft Corporation

3. 2. 7 保有ソフトウェアライセンス

保有しているライセンス数を登録します。

- ・ 設定情報はグループ毎に変更できます。
- ・ ライセンス情報を取得したソフトウェア名のみ表示されます。
- ・ 登録した保有ライセンス数は「ソフトウェア台帳」に反映されます。

保有ライセンス登録				
グループの指定 <input type="text" value="ALL"/> キーワード指定(部分一致) <input type="text"/> <input type="button" value="検索"/>				
ソフトウェア名▼	メーカー▼	保有ライセンス数	インストール数▼	ライセンス超過
MICROSOFT OFFICE ENTERPRISE 2007	Microsoft Corporation	---	1	
MICROSOFT OFFICE PROFESSIONAL 2007	Microsoft Corporation	---	1	
MICROSOFT OFFICE PROFESSIONAL PLUS 2007	Microsoft Corporation	---	5	

- ・ ライセンス超過の場合、赤丸が表示されます。

保有ライセンス登録				
グループの指定 <input type="text" value="ALL"/> キーワード指定(部分一致) <input type="text"/> <input type="button" value="検索"/>				
ソフトウェア名▼	メーカー▼	保有ライセンス数	インストール数▼	ライセンス超過
MICROSOFT OFFICE ENTERPRISE 2007	Microsoft Corporation	---	1	
MICROSOFT OFFICE PROFESSIONAL 2007	Microsoft Corporation	---	1	
MICROSOFT OFFICE PROFESSIONAL PLUS 2007	Microsoft Corporation	3	5	●

■追加

①追加対象のソフトウェア名をクリックします。

保有ライセンス登録				
グループの指定 <input type="text" value="ALL"/> キーワード指定(部分一致) <input type="text"/> <input type="button" value="検索"/>				
ソフトウェア名▼	メーカー▼	保有ライセンス数	インストール数▼	ライセンス超過
MICROSOFT OFFICE ENTERPRISE 2007	Microsoft Corporation	---	1	
MICROSOFT OFFICE PROFESSIONAL 2007	Microsoft Corporation	---	1	
MICROSOFT OFFICE PROFESSIONAL PLUS 2007	Microsoft Corporation	---	5	

②「ライセンス情報」をクリックします。

保有ライセンス登録					
ソフトウェア名▼	メーカー▼	ライセンス情報	保有ライセンス数	インストール数▼	ライセンス超過
MICROSOFT OFFICE PROFESSIONAL PLUS 2007	Microsoft Corporation	ライセンス情報	---	5	---

③登録対象の「グループ名」をクリックします。

保有ライセンス登録			
プロダクトID	95169-761-2041030		
アプリケーション名	MICROSOFT OFFICE PROFESSIONAL PLUS 2007		
メーカー名	Microsoft Corporation		
総保有ライセンス数	---		
総導入数	5		
差異	---		
グループ名	ALL	表示	
グループ名	保有ライセンス数	インストール数	差異
(内訳)	ALL	5	---
ALL	---	5	---
本社	---	---	---
営業部	---	---	---

④「総保有ライセンス数」を入力します。

保有ライセンス登録	
アプリケーション名	MICROSOFT OFFICE PROFESSIONAL PLUS 2007
バージョン名	---
メーカー名	Microsoft Corporation
グループ名	ALL
総保有ライセンス数	3

■変更・削除

登録した「総保有ライセンス数」を変更・削除します。

3. 2. 8 拡張項目データ登録（資産管理）

資産管理の追加項目の入力を行ないます。

資産管理台帳の拡張項目名設定にて設定を行った項目名に対応する情報の追加を行います。

登録方法は、個別に入力する方法と、csv によるインポートで行なうことが可能です。

■個別に入力する方法

- ①コンピュータ名をクリックします。
- ②拡張した項目に変更内容を入力します。
- ③「設定」ボタンをクリックします。

拡張資産管理データの登録

[拡張資産管理データの設定画面へ戻る](#)

グループ	営業本部
コンピュータ名	ishikawa
LogVillage拡張項目	<input type="text"/>

設定

■csv によるインポート

カンマ区切りの csv ファイルのインポートを行ないます。

- ・管理対象 PC 名（コンピュータ名）をキーに更新します。
- ・csv でインポートされた内容は上書きとなります。（値が空白の場合は空白となります。）
- ・csv にない管理対象 PC の情報はエラーとなります。
- ・管理対象 PC 名が自分が属するグループよりも上位グループ、別のグループの場合はエラーとなります。

○CSV フォーマット

“管理対象 PC 名”, “項目 1”, “項目 2”, “項目 3”, “項目 4” . . .

- ①CSV ファイルを選択します。

拡張資産管理データの設定

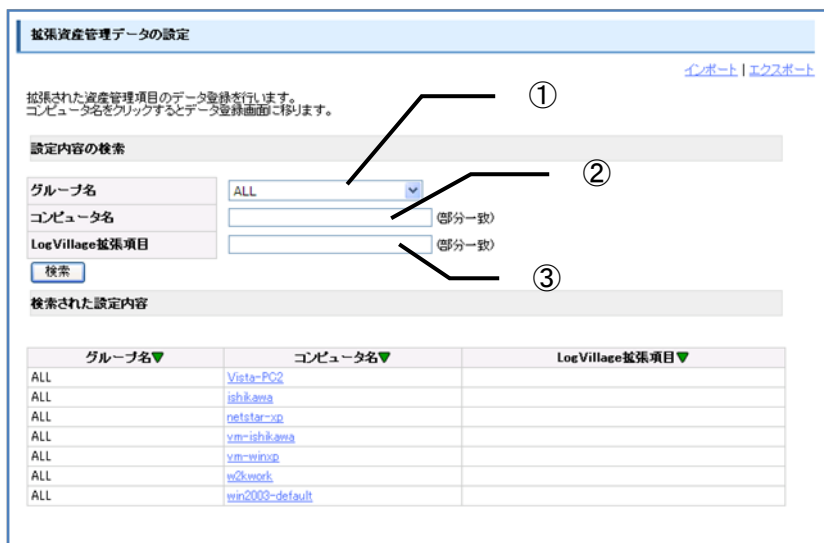
CSVファイル: [参照](#)

実行 キャンセル

- ②「実行」をクリックします。

✓例) 拡張項目がリース期限の場合
「2010/9/30」と入力します。

✓エクスポートの場合は、所属するグループとそれ以下のグループだけがエクスポートされます。



■ 設定内容の検索

① グループ名

特定のグループ名に絞り込んで結果を出力することが可能です。
プルダウンメニューから選択します。

② コンピュータ名

特定のコンピュータ名に絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)

③ 拡張した項目

特定の拡張した項目に絞り込んで結果を出力することが可能です。
(部分一致可)

3.3 アラートポリシー設定

■自動アラート通知機能一覧

分類	設定するアラートポリシー	アラートポリシーの設定方法		管理者へのメール通知	管理対象PCへのポップアップ通知	アラート通知の設定例
		[システム設定] ⇒ 「アラートポリシー設定」画面	設定内容			
稼働管理	イベントログ発生に関する通知	指定イベントログ発生	1) イベントログ種別： システム、アプリケーション、セキュリティ 2) イベントログ種類： エラー、エラーと警告、情報 3) イベントログのソース： ソース名（部分一致 or 完全一致） 4) イベントログの説明： キーワード（部分一致 or 完全一致）	○	—	システムからの警告で、ソース=diskにて” Bus Error” を含むイベントログが発生した ※複数項目を設定した場合は and 条件での設定となります。
	サービス稼働に関する通知	サービス検知	1) 稼働を許可しないサービス 2) 稼働が必要なサービス	○	○	1) iPod Service が起動された 2) Emproxy (McAfee E-mail Proxy) が起動していない
	プロセス稼働に関する通知	プロセスの検知	1) 稼働を許可しないプロセス 2) 稼働が必要なプロセス 3) 定期的に稼働が必要なプロセス	○	○	1) winny が起動された 2) 業務で必至のプロセスが起動していない 3) 5日以上一度も起動していない（バックアッププロセス等）
	ウィルス対策ソフト定義ファイル更新に関する通知	ウィルス定義ファイル未更新	1) ウィルス対策ソフト毎：xx 日以上	○	—	3 日以上、定義ファイルが更新されていない
	アプリケーションのインストール、アンインストールに関する通知	アプリケーション・インストール検知	1) インストールを許可しないアプリケーション 2) インストールを許可するアプリケーション 3) アンインストールを許可しないアプリケーション	○ 3のみー	○ 3のみー	1) SKYPE がインストールされた 2) ” Capture It!” を許可設定とすることで、その後はアラート通知は中止されます 3) NORTON360 がアンインストールされた

分類	アラートポリシー	アラートポリシーの設定方法		管理者へのメール通知	管理対象PCへのポップアップ通知	アラート通知の設定例
		[システム設定] ⇒ 「アラートポリシー設定」画面	設定内容			
操作管理	Web サイト閲覧に関する通知	禁止 Web サイトアクセス	1) 閲覧禁止 Web サイトの URL キーワード設定 2) 閲覧禁止 Web サイトのタイトルキーワード設定	○	○	1) " mail" を含む URL へアクセスした (Web メールの利用を抑制したい場合) 2) Web タイトルに" ショッピング" を含むサイトへアクセスした
	印刷に関する通知	禁止印刷ファイル/枚数制限	1) 印刷禁止ファイル名の設定 2) 印刷禁止ファイル拡張子の設定 3) 月間の印刷上限枚数の設定	○	○	1) " ユーザー" を含むファイル名が印刷された 2) 拡張子=" xls" のファイルが印刷された 3) グループ内で当月の印刷枚数が 5,000 枚以上となった "admin" を含むログオンアカウントでログオンされた
	ログオンアカウントに関する通知	禁止アカウントログオン	1) ログオン禁止アカウントの設定	○	○	
	記憶デバイスの接続に関する通知	禁止デバイス接続	1) デバイス種類別： 接続を許可、許可しないを設定 2) デバイス名別： 接続を許可、許可しないを設定 3) 管理対象 PC 別： 接続を許可、許可しないデバイス名を設定	○ 許可の場合は一	○ 許可の場合は一	1) フロッピーが接続された 2) " HAGIWARA UD-Pure USB Device" (USB メモリー) が接続された 3) " USB 2.0 Flash Disk USB Device" を許可設定とすることで、その後はアラート通知は中止されます
アラート通知メールの送信タイミングの設定	各アラートポリシー毎に設定可能	1) ログ情報のポーリング時と同時 (即時) にアラートメールを送信 2) 毎日 xx 時に一括送信 3) 送信しない				
アラート通知を管理対象 PC の画面上へポップアップ表示させる設定	各アラートポリシー毎に設定可能	1) 表示する、しないを設定 2) ポップアップメッセージを編集				

■アラートメール送信先の登録は？

- ① 「LV システム設定」 → 「全体の共通設定」 → 「LogVillage ユーザーの設定」
- ② 「LogVillage ユーザーの新規追加」で作成されたユーザへ登録されているメール送信先を確認してください。

アラートメールが送信される条件

- ・ 選択したグループに登録されているアラート条件を満たしたログ情報が取得される。
- ・ アラートメール設定にて「即時」が選択されている。
- ・ アラート条件を満たすログを出力した管理対象 PC が所属するポーリングサーバーのメールサーバー情報設定が完了している。(p. 70)

「下位グループのアラートメールを受け取る」にチェックが入っている場合
選択したグループ以下の下位グループにて発生したアラートメールも受信します。

■ポップアップを管理対象 PC 上に表示させるには？

管理対象 PC 上に警告メッセージが記載されたポップアップメッセージが表示される条件

- ・ 管理対象 PC 上で、「Messenger」サービスのスタートアップの種類が「自動」もしくは「手動」となっている。(デフォルト設定では「手動」となっています)
- ・ 管理対象 PC が所属するグループに登録されているアラート条件を満たしたログ情報が取得される。
- ・ ポップアップ設定にて「表示する」が選択されている。

- ✓ 「アラート詳細を表示する」を
チェックする事により、より
詳細なアラート内容を含んだ
警告ポップアップウィンドウが
表示されます。

3. 3. 1 禁止Web サイトアクセス

禁止 Web サイトを設定します。

■設定されたアラート条件の検索

- ・グループ名
プルダウンメニューからグループ名を選択します。
- ・アラート条件キーワード
キーワードを入力します。部分一致で検索可能です。
- ・設定対象項目
URL の設定かタイトルの設定かをチェックを入れます。

■追加（アラート条件の新規追加）

①アラート条件を設定するグループ名を選択し、「追加する」をクリックします。

②アラート条件キーワード（部分一致での指定も可能）にて、アラート条件となる URL もしくはタイトルに含まれるキーワードを入力します。

③URL とタイトルいずれかをチェックし「追加」をクリックします。

例) 「so-ten」というキーワードで URL アラート登録された場合、以下の URL 閲覧は全てアラート対象となります。

http://www. so-ten. co. jp/
 https://www. so-ten. co. jp/
 http://www. so-ten. jp/

■変更

- ④変更したいグループをクリックします。
- ⑤変更したい項目を変更して「変更する」ボタンをクリックします。

グループ名	アラート条件キーワード	設定対象項目	アラートメール	ポップアップ
ALL	競馬	タイトル	送信する(即時)	表示

削除する ④

アラート条件の新規追加 ⑥

*アラート条件を追加するグループ名を選択してから[追加する]をクリック

グループ名 ALL 追加する

■削除

・グループごとに削除したい場合

- ⑥削除したいグループにチェックを入れて「削除する」ボタンをクリックします。

・設定毎に削除したい場合

- ⑦削除したい項目を含むグループをクリックします。
- ⑧削除したい項目をチェックして「削除する」ボタンをクリックします。

■アラートメール／ポップアップ設定

アラートメール／ポップアップ設定について、以下の設定が可能です。

アラートメール／ポップアップ設定

メール

送信しない 即時

アラートメールの件名にアラート詳細をつける

下位グループのアラートメールを受け取る

送信先

ポップアップ

表示しない 表示する

[logvillage]不正なWebサイトを検知しました 初期値に戻す

アラート詳細を表示する

設定する キャンセル

・メール

「送信しない」または「即時」

アラートメールの件名にアラート詳細を付けるか？

下位グループのアラートメールを受け取るか？

・ポップアップ

「表示しない」または「表示する」

メッセージの入力

アラート詳細を表示するか？

3. 3. 2 禁止印刷ファイル/枚数制限

禁止印刷ファイル/枚数制限を設定します。

アラートの設定 < 禁止印刷ファイル/枚数制限 >

プリンタ毎の印刷枚数制限の設定

設定されたアラート条件の検索

グループ名: ALL

アラート条件キーワード: himitsu (部分一致)

設定対象項目: 拡張子 ファイル名

検索

検索されたアラート条件

グループ名	アラート条件キーワード	設定対象項目	アラート設定枚数	アラートメール	ポップアップ
<input type="checkbox"/> ALL	himitsu	ファイル名(部分一致)	100枚	送信する(同時)	表示する

チェックしたアラート設定を

アラート条件の新規追加

*アラート条件を追加するグループ名を選択してから[追加する]をクリック

グループ名: ALL

■設定されたアラート条件の検索

①グループ名

プルダウンメニューからグループ名を選択します。

②アラート条件キーワード

キーワードを入力します。部分一致で検索可能です。

③設定対象項目

「拡張子」か「ファイル名」を選択します。

■追加（アラート条件の新規追加）

①アラート条件を設定するグループ名を選択し、「追加する」をクリックします。

アラート条件の編集(禁止印刷ファイル/枚数制限)

アラートの設定 < 禁止印刷ファイル/枚数制限 > 画面へ戻る

グループ名: ALL

アラート条件キーワード: himitsu

ファイル名 部分一致 拡張子

※は上位グループの設定条件(変更、削除不可)

チェックしたアラート設定を

アラート設定枚数: 100 枚(上限 9999枚)

②アラート条件キーワードにて、アラート条件となるファイル名（部分一致での指定も可能）もしくは拡張子を入力します。

③「追加する」をクリックします。

■変更

- ④変更したいグループをクリックします。
- ⑤変更したい項目を変更して「変更する」ボタンをクリックします。

■削除

・グループごと削除したい場合

- ⑥削除したいグループにチェックを入れて「削除する」ボタンをクリックします。

・設定毎に削除したい場合

- ⑦削除したい項目を含むグループをクリックします。
- ⑤削除したい項目をチェックして「削除する」ボタンをクリックします。

■アラート枚数の設定

月次で枚数を越えた場合、アラートを出力します。



- ①枚数を入力します。
- ②「変更する」をクリックします。

■アラート枚数の削除

枚数のアラートを停止します。



- ①空白にします。
- ②「変更する」をクリックします。

■アラートメール／ポップアップ設定

アラートメール／ポップアップ設定について、以下の設定が可能です。

アラートメール／ポップアップ設定

メール

送信しない 即時

アラートメールの件名にアラート詳細をつける

下位グループのアラートメールを受け取る

送信先

ポップアップ

表示しない 表示する

[logvillage]不正なWebサイトを検知しました [初期値に戻す](#)

アラート詳細を表示する

・メール

「送信しない」または「即時」

アラートメールの件名にアラート詳細を付けるか？

下位グループのアラートメールを受け取るか？

・ポップアップ

「表示しない」または「表示する」

メッセージの入力

アラート詳細を表示するか？

3.3.3 禁止アカウントログオン

禁止アカウントでのログオンを設定します。

■設定されたアラート条件の検索

①グループ名

プルダウンメニューからグループ名を選択します。

②ログオンアカウント

キーワードを入力します。部分一致で検索可能です。

■追加（アラート条件の新規追加）

③アラート条件を設定するグループ名を選択し、「追加する」をクリックします。

④アラート条件キーワードにて、アラート条件となるログオンアカウント名に含まれるキーワードを入力します。

⑤「追加する」をクリックします。

■変更

①変更したいグループをクリックします。

②変更したい項目を変更して「変更する」ボタンをクリックします。

■削除

- ・グループごと削除したい場合

⑥削除したいグループにチェックを入れて「削除する」ボタンをクリックします。

- ・設定毎に削除したい場合

⑦削除したい項目を含むグループをクリックします。

⑧削除したい項目をチェックして「削除する」ボタンをクリックします。

■アラートメール／ポップアップ設定

アラートメール／ポップアップ設定について、以下の設定が可能です。

アラートメール／ポップアップ設定

メール

送信しない 即時

アラートメールの件名にアラート詳細を付ける

下位グループのアラートメールを受け取る

送信先

ポップアップ

表示しない 表示する

[初期値に戻す](#)

アラート詳細を表示する

- ・メール

「送信しない」または「即時」

アラートメールの件名にアラート詳細を付けるか？

下位グループのアラートメールを受け取るか？

- ・ポップアップ

「表示しない」または「表示する」

メッセージの入力

アラート詳細を表示するか？

3. 3. 4 禁止デバイス接続

禁止デバイスの接続を設定します。

取得したデバイス情報を許可設定にする場合は、不許可設定を行います。

■追加（アラート条件の新規追加）

①アラート条件を設定するグループ名を選択し、「追加する」をクリックします。

②新規アラート追加にて「デバイスの種類別表示」、「デバイス名別表示」、「管理対象PC別」のいずれかを選択します。

・ デバイスの種類別表示



変更したい「ステータス」をプルダウンメニューから変更後、「全てをチェック」ボタンで『全て』のデバイスの種類を選択し、「アラート条件に追加する」をクリックします。

※表示されているデバイスの種類を『全て』アラート条件に追加してください。アラート条件への追加漏れがある場合、予定外のアラートが発生する可能性があります。
 ※情報が複数ページになる場合は、全てのページで同じ操作を行ってください。

ステータス

許可 アラートに該当しません。

不許可 ポーリングサーバーが検知した時に接続されているとアラートに該当します。

・ デバイス名別表示



変更したい「ステータス」をプルダウンメニューから変更後、「全てをチェック」ボタンで『全て』のデバイス名を選択し、「アラート条件に追加する」をクリックします。

※表示されているデバイス名を『全て』アラート条件に追加してください。アラート条件への追加漏れがある場合、予定外のアラートが発生する可能性があります。
 ※情報が複数ページになる場合は、全てのページで同じ操作を行ってください。

ステータス

許可 アラートに該当しません。

不許可 ポーリングサーバーが検知した時に接続されているとアラートに該当します。

アラート設定されていないデバイスの検索

- ・ デバイス名 デバイス名を入力します。
- ・ デバイスの種類 プルダウンメニューから選択します。

<デバイス名の部分一致設定>

デバイス名の部分一致でアラート設定を行うことができます。

(例) 「USB」を部分一致ワードとして設定。

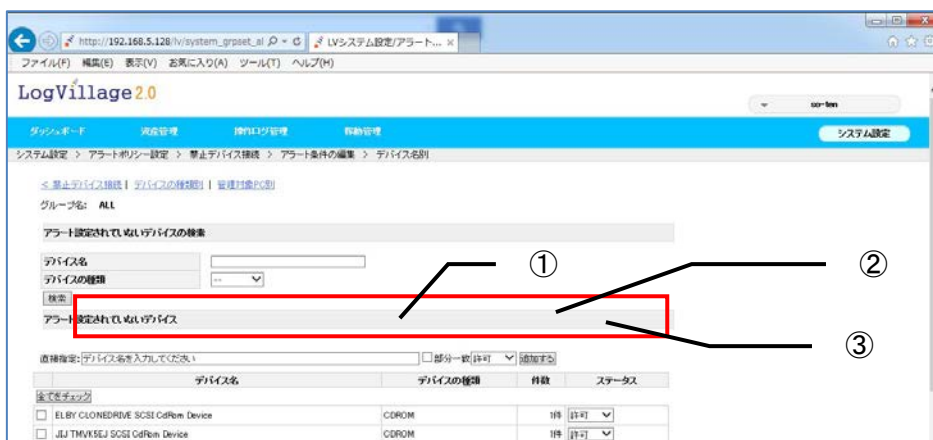
以下のようなデバイス名が接続された場合にアラートに該当します。

Sony-USB-xxxxxxx

USBstorage-xxxxxxxxx

■ デバイス名部分一致設定の方法

- ①部分一致ワードを入力し、”部分一致”をチェックオンにする。
- ②許可、不許可を選択
- ③[追加する]をクリック



・管理対象 PC 毎に表示



変更したい「ステータス」をプルダウンメニューから変更後、「全てをチェック」ボタンで『全て』のコンピュータ名を選択し、「アラート条件に追加する」をクリックします。

※表示されているコンピュータ名を『全て』アラート条件に追加してください。アラート条件への追加漏れがある場合、予定外のアラートが発生する可能性があります。
 ※情報が複数ページになる場合は、次のページでも同じ操作を行ってください。

ステータス

許可 アラートに該当しません。

不許可 ポーリングサーバーが検知した時に接続されているとアラートに該当します。

アラート設定されていないクライアントの検索

- ・ コンピュータ名 コンピュータ名を入力します。
- ・ デバイス名 デバイス名を入力します。
- ・ デバイスの種類 プルダウンメニューから選択します。

■削除

- ・グループごとに削除したい場合

①削除したいグループにチェックを入れて「削除する」ボタンをクリックします。

- ・設定毎に削除したい場合

①削除したい項目を含むグループをクリックします。

②削除したい項目をチェックして「削除する」ボタンをクリックします。

■アラートメール／ポップアップ設定

アラートメール／ポップアップ設定について、以下の設定が可能です。

アラートメール／ポップアップ設定

メール

送信しない 即時

アラートメールの件名にアラート詳細をつける

下位グループのアラートメールを受け取る

送信先

ポップアップ

表示しない 表示する

[logvillage]不正なWebサイトを検知しました [初期値に戻す](#)

アラート詳細を表示する

- ・メール

「送信しない」または「即時」

アラートメールの件名にアラート詳細を付けるか？

下位グループのアラートメールを受け取るか？

- ・ポップアップ

「表示しない」または「表示する」

メッセージの入力

アラート詳細を表示するか？

3. 3. 5 指定イベントログ発生

指定イベントログの発生を設定します。

アラートの設定<指定イベントログ発生>

グループ名	アラート条件名	ログ種別	ログ種類	ソース	説明	アラートメール
<input type="checkbox"/> ALL						
	Webサービス	アプリケーション	警告とエラー	Apache(部分一致)		送信する(即時)
		システム	警告とエラー	Apache(部分一致)		

チェックしたアラート設定を

アラート条件の新規追加

*アラート条件を追加するグループ名を選択してから[追加する]をクリック

グループ名

■追加（アラート条件の新規追加）

- ①アラート条件を設定するグループ名を選択します。
- ②「追加する」をクリックします。

アラート条件の編集(指定イベントログ発生)

[アラートの設定<指定イベントログ発生>画面へ戻る](#)

グループ名: ALL ①

アラート条件名

アラート条件を新規追加する場合は
*アラート条件名を入力してから[追加する]をクリック

②

アラート条件名	ログ種別	ログ種類	ソース	説明
<input type="checkbox"/> Webサービス				
	アプリケーション	警告とエラー	Apache(部分一致)	
	システム	警告とエラー	Apache(部分一致)	

※は上位グループの設定条件(変更、削除不可)

チェックしたアラート条件を

アラート条件の編集(指定イベントログ発生)

[アラートの設定<指定イベントログ発生>画面へ戻る](#)

グループ名: ALL

アラート条件名: Webサービス

アラート条件詳細

ログ種別	ログ種類	ソース	説明
<input type="checkbox"/> アプリケーション	警告とエラー	Apache(部分一致)	
<input type="checkbox"/> システム	警告とエラー	Apache(部分一致)	

チェックしたアラート条件を

アラート条件を追加

ログ種別 アプリケーション システム セキュリティ

ログ種類

ソース 部分一致

説明

- ③アラート条件編集にて、アラート条件名（任意）を入力します。
- ④アラートの条件を追加にて以下の設定を行います。
 - ・ログ種別 アプリケーション、システム、セキュリティ
 - ・ログ種類
 - ・ソース ソースのキーワードを設定します。（部分一致可能）
 - ・説明 説明を入力します。
- ⑤「追加する」ボタンをクリックします。

■削除

- ・グループごと削除したい場合

①削除したいグループにチェックを入れて「削除する」ボタンをクリックします。

- ・設定毎に削除したい場合

②削除したい項目を含むグループをクリックします。

③削除したい項目をチェックして「削除する」ボタンをクリックします。

■アラートメール／ポップアップ設定

アラートメール／ポップアップ設定について、以下の設定が可能です。

アラートメール／ポップアップ設定

メール

送信しない 即時

アラートメールの件名にアラート詳細をつける

下位グループのアラートメールを受け取る

送信先

ポップアップ

表示しない 表示する

[logvillage]不正なWebサイトを検知しました [初期値に戻す](#)

アラート詳細を表示する

・メール

「送信しない」または「即時」

アラートメールの件名にアラート詳細を付けるか？

下位グループのアラートメールを受け取るか？

・ポップアップ

「表示しない」または「表示する」

メッセージの入力

アラート詳細を表示するか？

3. 3. 6 プロセス検知

プロセスの検知を設定します。

※タスクマネージャーのプロセスタブで表示されるプログラムとなります。

アラートの設定(プロセスの検知)

グループ名	プロセス名	アプリケーション名	コンピュータ名	ステータス	アラートメール	ポップアップ
<input type="checkbox"/> ALL	SKYPEPEM		すべて	不許可	送信する(即時)	表示する
<input type="checkbox"/>	SKYPE		すべて	不許可		

チェックしたアラート設定を

新規アラート追加

*アラート条件を追加するグループ名を選択してから[追加する]をクリック

グループ名:

①

■追加（アラート条件の新規追加）

①アラート条件を設定するグループ名を選択し、「追加する」をクリックします。

アラート条件の編集(プロセスの検知)

[アラートの設定<プロセスの検知>画面へ戻る](#)

グループ名: ALL

アラート設定

プロセス名	アプリケーション名	コンピュータ名	ステータス
<input type="checkbox"/> SKYPEPEM		すべて	不許可
<input type="checkbox"/> SKYPE		すべて	不許可

※は上位グループの設定条件(変更、削除不可)

チェックしたアラート条件を

新規に追加する [プロセス名別表示](#) [管理対象PC別に表示](#)

②

②プロセス名別に表示か、管理対象PC別に表示をクリックします。

・ プロセス名別表示

アラート条件の編集(プロセスの検知) > プロセス名別表示

[アラートの設定<プロセスの検知>画面へ戻る](#) |
 [プロセス名別表示](#) |
 [管理対象PC別に表示](#)

アラート設定されてないプロセス

グループ名: ALL

設定されたアラート条件の検索

プロセス名 (部分一致)

アプリケーション名 (部分一致)

検索されたアラート条件

	プロセス名	アプリケーション名	ステータス
<input type="button" value="全てをチェック"/>			
<input type="checkbox"/>	ACPRFMGRSVC		不許可 ▼
<input type="checkbox"/>	ACRORD32		不許可 ▼
<input type="checkbox"/>	ACSVC		不許可 ▼
<input type="checkbox"/>	ACTRAY		不許可 ▼
<input type="checkbox"/>	ACWLICON		不許可 ▼
<input type="checkbox"/>	AIRBROWSERMS		不許可 ▼
<input type="checkbox"/>	AIRCAFE		不許可 ▼

設定するプロセス名をチェックしてステータスをプルダウンメニューから選択します。

「アラート条件に追加する」をクリックします。

ステータス

必須 ポーリングサーバーが検知したときに実行していなければアラート条件に該当します。

不許可 ポーリングサーバーが検知したときに実行されていればアラート条件に該当します。

定期 指定日数（任意の日数を指定します）以上、対象プロセスが未稼働の場合はアラート条件に該当します。

設定されたアラート条件の検索

- ・ プロセス名 プロセス名を入力します。（部分一致可能）
- ・ アプリケーション名 アプリケーション名を入力します。（部分一致可能）

・管理対象 PC 別に表示

アラート条件の編集(プロセスの検知)>管理対象PC別に表示

[アラートの設定<プロセスの検知>画面へ戻る](#) | [プロセス名別表示](#) | [管理対象PC別に表示](#)

アラート設定されていないクライアントPC

グループ名: ALL

設定されたアラート条件の検索

コンピュータ名 (部分一致)

プロセス名 (部分一致)

アプリケーション名 (部分一致)

検索されたアラート条件

	コンピュータ名	プロセス名	アプリケーション名	ステータス
<input type="button" value="全てをチェック"/>				
<input type="checkbox"/>	ishikawa	ACPRFMGRSVC		不許可 ▼
<input type="checkbox"/>	ishikawa	ACRORD32		不許可 ▼
<input type="checkbox"/>	ishikawa	ACSVC		不許可 ▼
<input type="checkbox"/>	ishikawa	ACTRAY		不許可 ▼

設定するコンピュータ名とプロセス名の組み合わせをチェックしてステータスをプルダウンメニューから選択します。

「アラート条件に追加する」をクリックします。

ステータス

必須 ポーリングサーバーが検知したときに実行していなければアラート条件に該当します。

不許可 ポーリングサーバーが検知したときに実行されていればアラート条件に該当します。

定期 指定日数(任意の日数を指定します)以上、対象プロセスが未稼働の場合はアラート条件に該当します。

設定されたアラート条件の検索

- ・コンピュータ名 コンピュータ名を入力します。(部分一致可能)
- ・プロセス名 プロセス名を入力します。(部分一致可能)
- ・アプリケーション名 アプリケーション名を入力します。(部分一致可能)

■削除

- ・グループごと削除したい場合

①削除したいグループにチェックを入れて「削除する」ボタンをクリックします。

- ・設定毎に削除したい場合

①削除したい項目を含むグループをクリックします。

②削除したい項目をチェックして「削除する」ボタンをクリックします。

■アラートメール／ポップアップ設定

アラートメール／ポップアップ設定について、以下の設定が可能です。

アラートメール／ポップアップ設定

メール

送信しない 即時

アラートメールの件名にアラート詳細をつける

下位グループのアラートメールを受け取る

送信先

ポップアップ

表示しない 表示する

[logvillage]不正なWebサイトを検知しました [初期値に戻す](#)

アラート詳細を表示する

・メール

「送信しない」または「即時」

アラートメールの件名にアラート詳細を付けるか？

下位グループのアラートメールを受け取るか？

・ポップアップ

「表示しない」または「表示する」

メッセージの入力

アラート詳細を表示するか？

3.3.7 サービス検知

サービスの検知を設定します。

アラートの設定<サービスの検知>

現在登録されているアラート

グループ名	サービス名	サービスの説明	コンピュータ名	ステータス	アラートメール	ポップアップ
<input type="checkbox"/> ALL	AudioSrv	Windows Audio	すべて	不許可	送信する(即時)	表示する
	Fax	FAX Service	すべて	不許可		

チェックしたアラート設定を

アラート条件の新規追加

*アラート条件を追加するグループ名を選択してから[追加する]をクリック

グループ名

■追加（アラート条件の新規追加）

①アラート条件を設定するグループ名を選択し、「追加する」をクリックします。

アラート条件の編集(サービスの検知)

[アラートの設定<サービスの検知>画面へ戻る](#)

グループ名: ALL

アラート設定

サービス名	サービスの説明	コンピュータ名	ステータス
<input type="checkbox"/> AudioSrv	Windows Audio	すべて	不許可
<input type="checkbox"/> Fax	FAX Service	すべて	不許可

チェックしたアラート条件を

新規に追加する: [サービス名別表示](#) | [管理対象PC別に表示](#)

②サービス名別表示か、管理対象 PC 別に表示をクリックします。

・ サービス名を表示

The screenshot shows a web interface for managing alert conditions. At the top, there's a breadcrumb trail: 'アラート条件の編集(サービスの検知) > サービス名別表示'. Below this, there are navigation links: 'アラートの設定<サービスの検知>画面へ戻る | サービス名別表示 | 管理対象PC別に表示'. The main content area is titled 'アラート設定されていないサービス' and 'グループ名: ALL'. There's a section for '設定されたアラート条件の検索' with input fields for 'サービス名' and 'サービスの説明', both with '(部分一致)' (partial match) indicators, and a '検索' (Search) button. Below the search section is a table of '検索されたアラート条件' (Searched Alert Conditions).

サービス名	サービスの説明	ステータス	
<input type="checkbox"/>	AcPrfMgrSvc	Ac Profile Manager Service	不許可
<input type="checkbox"/>	AcSvc	Access Connections Main Service	不許可
<input type="checkbox"/>	AeLookupSvc	Application Experience Lookup Service	不許可
<input type="checkbox"/>	Alerter	Alerter	不許可
<input type="checkbox"/>	ALG	Application Layer Gateway Service	不許可

設定するサービス名をチェックしてステータスをプルダウンメニューから選択します。

「アラート条件に追加する」をクリックします。

ステータス

必須 ポーリングサーバーが検知したときに開始していなければアラート条件に該当します。

不許可 ポーリングサーバーが検知したときに開始であればアラート条件に該当します。

設定されたアラート条件の検索

- ・ サービス名 サービス名を入力します。(部分一致可)
- ・ サービスの説明 サービスの説明を入力します。(部分一致可)

・管理対象 PC 別に表示

アラート条件の編集(サービスの検知) > 管理対象PC別に表示

[アラートの設定<サービスの検知>画面へ戻る](#) | [サービス名別表示](#) | [管理対象PC別に表示](#)

アラート設定されていないクライアントPC
グループ名: ALL

設定されたアラート条件の検索

コンピュータ名 (部分一致)
サービス名 (部分一致)
サービスの説明 (部分一致)

検索されたアラート条件

コンピュータ名	サービス名	サービスの説明	ステータス
<input type="button" value="全てチェック"/>			
<input type="checkbox"/> ishikawa	AcPrfMgrSvc	Ac Profile Manager Service	不許可
<input type="checkbox"/> ishikawa	AcSvc	Access Connections Main Service	不許可
<input type="checkbox"/> ishikawa	Alerter	Alerter	不許可
<input type="checkbox"/> ishikawa	ALG	Application Layer Gateway Service	不許可
<input type="checkbox"/> ishikawa	AppMgmt	Application Management	不許可
<input type="checkbox"/> ishikawa	aspnet_state	ASP.NET 状態サービス	不許可

設定するコンピュータ名とサービス名の組み合わせをチェックしてステータスをプルダウンメニューから選択します。

「アラート条件に追加する」をクリックします。

ステータス

必須 ポーリングサーバーが検知したときに開始していなければアラート条件に該当します。

不許可 ポーリングサーバーが検知したときに開始であればアラート条件に該当します。

設定されたアラート条件の検索

- ・コンピュータ名 コンピュータ名を入力します。(部分一致可)
- ・サービス名 サービス名を入力します。(部分一致可)
- ・サービスの説明 サービスの説明を入力します。(部分一致可)

■削除

- ・グループごと削除したい場合

③削除したいグループにチェックを入れて「削除する」ボタンをクリックします。

- ・設定毎に削除したい場合

④削除したい項目を含むグループをクリックします。

⑤削除したい項目をチェックして「削除する」ボタンをクリックします。

■アラートメール/ポップアップ設定

アラートメール/ポップアップ設定について、以下の設定が可能です。

アラートメール/ポップアップ設定

メール

送信しない 即時

アラートメールの件名にアラート詳細を付ける

下位グループのアラートメールを受け取る

送信先

ポップアップ

表示しない 表示する

[初期値に戻す](#)

アラート詳細を表示する

・メール

「送信しない」または「即時」

アラートメールの件名にアラート詳細を付けるか？

下位グループのアラートメールを受け取るか？

・ポップアップ

「表示しない」または「表示する」

メッセージの入力

アラート詳細を表示するか？

3. 3. 8 ウィルス定義ファイル未更新

ウィルス対策ソフトの定義ファイル未更新の設定を行います。

■追加（アラート条件の新規追加）

①アラート条件を設定するグループ名を選択し、「追加する」をクリックします。

②アラート設定にて更新されていない期間に日数を入力します。

③「設定する」ボタンをクリックします。

■変更

①変更したいグループをクリックします。

②日数を変更して「設定する」ボタンをクリックします。

■削除

①削除したいグループにチェックを入れて「削除する」ボタンをクリックします。

■アラートメール／ポップアップ設定

アラートメール／ポップアップ設定について、以下の設定が可能です。

アラートメール／ポップアップ設定

メール

送信しない 即時

アラートメールの件名にアラート詳細をつける

送信先

・メール

「送信しない」または「即時」

アラートメールの件名にアラート詳細を付けるか？

下位グループのアラートメールを受け取るか？

3. 3. 9 アプリケーション・インストール検知

アプリケーション・インストールの検知を設定します。

■追加（アラート条件の新規追加）

①アラート条件を設定するグループ名を選択し、「追加する」をクリックします。

②アプリケーション名別表示か、管理対象PC別に表示をクリックします。

・アプリケーション名別表示

アプリケーション名別表示

アラートの設定<アプリケーション・インストールの検知> | [アプリケーション名別表示](#) | [管理対象PC別に表示](#)

アラート設定されていないアプリケーション

グループ名: ALL

設定内容の検索

アプリケーション名 (部分一致)

検索された設定内容

アプリケーション名	ステータス
<input type="checkbox"/> "MORA WIN" TYPE1 PLUG-IN	許可
<input type="checkbox"/> +LHACA	許可
<input type="checkbox"/> 2007 MICROSOFT OFFICE SUITE SERVICE PACK 2 (SP2)	許可

CATALYST CONTROL CENTER LOCALIZATION KOREAN

チェックしたものを

前へ 1 2 3 4 5 6 7 8 次へ

変更したい「ステータス」をプルダウンメニューから変更後、「全てをチェック」ボタンで『全て』のアプリケーション名を選択し、「アラート条件に追加する」をクリックします。

※表示されているアプリケーション名を『全て』アラート条件に追加してください。アラート条件への追加漏れがある場合、予定外のアラートが発生する可能性があります。

※情報が複数ページになる場合は、次のページでも同じ操作を行ってください。

ステータス

許可 アラートに該当しません。

不許可 ポーリングサーバーが検知した時にインストールされているとアラートに該当します。

必須 ポーリングサーバーが検知した時にアンインストールされている(削除されている)とアラートに該当します。

設定されたアラート条件の検索

・アプリケーション名

アプリケーション名を入力します。(部分一致可能)

・管理対象 PC 別に表示

管理対象PC別に表示

[アラートの設定<アプリケーション>インストールの検知](#) | [アプリケーション名別表示](#) | [管理対象PC別に表示](#)

アラート設定されていないクライアントPC

グループ名: ALL

設定内容の検索

コンピュータ名 (部分一致)

アプリケーション名 (部分一致)

検索された設定内容

コンピュータ名	アプリケーション名	ステータス
<input type="button" value="全てをチェック"/>		
<input type="checkbox"/> HINOKI	MYSQL CONNECTOR NET 5.25	許可 <input type="button" value="v"/>
<input type="checkbox"/> HINOKI	BROADCOM NETXTRME ETHERNET CONTROLLER	許可 <input type="button" value="v"/>
<input type="checkbox"/> HINOKI	MYSQL SERVER 5.1	許可 <input type="button" value="v"/>

<input type="checkbox"/> LENOVO-CE430EA3	MICROSOFT OFFICE WORD MUI (JAPANESE) 2007	許可 <input type="button" value="v"/>
--	---	-------------------------------------

チェックしたものを

前へ [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) - [16](#) 次へ

変更したい「ステータス」をプルダウンメニューから変更後、「全てをチェック」ボタンで『全て』のコンピュータ名を選択し、「アラート条件に追加する」をクリックします。

※表示されているコンピュータ名を『全て』アラート条件に追加してください。アラート条件への追加漏れがある場合、予定外のアラートが発生する可能性があります。
 ※情報が複数ページになる場合は、次のページでも同じ操作を行ってください。

ステータス

許可 アラートに該当しません。

不許可 ポーリングサーバーが検知した時にインストールされているとアラートに該当します。

必須 ポーリングサーバーが検知した時にアンインストールされている(削除されている)とアラートに該当します。

設定されたアラート条件の検索

・コンピュータ名

コンピュータ名を入力します。(部分一致可能)

・アプリケーション名

アプリケーション名を入力します。(部分一致可能)

■削除

・グループごと削除したい場合

①削除したいグループにチェックを入れて「削除する」ボタンをクリックします。

・設定毎に削除したい場合

①削除したい項目を含むグループをクリックします。

②削除したい項目をチェックして「削除する」ボタンをクリックします。

■アラートメール／ポップアップ設定

アラートメール／ポップアップ設定について、以下の設定が可能です。

アラートメール／ポップアップ設定

メール

送信しない 即時

アラートメールの件名にアラート詳細をつける

下位グループのアラートメールを受け取る

送信先

ポップアップ

表示しない 表示する

[追加詳細に長す](#)

アラート詳細を表示する

・メール

「送信しない」または「即時」

アラートメールの件名にアラート詳細を付けるか？

下位グループのアラートメールを受け取るか？

・ポップアップ

「表示しない」または「表示する」

メッセージの入力

アラート詳細を表示するか？

3. 3. 10 PCリソースしきい値超過

PCリソースのしきい値超過を設定します。

※期間を指定して設定する項目に関しては、間隔が狭いと突発的に高い値を示したログをすべてアラート対象としてしまうため、アラート数が増える可能性があります。

アラートの設定<PCリソースのしきい値超過>

グループ名	設定項目	アラート基準	アラートメール	ポップアップ
<input type="checkbox"/> ALL	CPU	60分間の平均が 80%以上	送信する(即時)	表示する
	メモリ残	256MB以下		
	HDD残	100MB以下		

チェックしたアラート設定を

アラート条件の新規追加

*アラート条件を追加するグループ名を選択してから[追加する]をクリック

グループ名

■追加（アラート条件の新規追加）

①アラート条件を設定するグループ名を選択し、「追加する」をクリックします。

アラート条件の編集<PCリソースのしきい値超過>

[アラートの設定<PCリソースのしきい値超過>画面へ戻る](#)

グループ名: ALL

アラート設定

CPU: 60 分間の平均が 80 %以上だった場合

メモリ残: 256 MB以下だった場合

ネットワークI/O: 分間の平均が KB/秒以上だった場合

HDD残: 100 MB以下だった場合

ディスクI/O: 分間の平均が %以上だった場合

アラートメール/ポップアップ設定

メール

送信しない 即時

アラートメールの件名にアラート詳細をつける

送信先

ポップアップ

表示しない 表示する

[初期値に戻す](#)

アラート詳細を表示する

②アラート設定にて、CPU、メモリ残、ネットワーク I/O、HDD 残、ディスク I/O を設定します。設定する項目の値を入力してください。

③「設定する」をクリックします

■変更

①変更したいグループをクリックします。

②変更したい項目を変更して「設定する」ボタンをクリックします。

■削除

①削除したいグループにチェックを入れて「削除する」ボタンをクリックします。

■アラートメール／ポップアップ設定

アラートメール／ポップアップ設定について、以下の設定が可能です。

アラートメール／ポップアップ設定

メール

送信しない 即時

アラートメールの件名にアラート詳細をつける

送信先
ishikawa@so-ten.co.jp
ishikawa@so-ten.co.jp

ポップアップ

表示しない 表示する

[logvillage]パフォーマンス異常を検知しました [初期値に戻す](#)

アラート詳細を表示する

・メール

「送信しない」または「即時」

アラートメールの件名にアラート詳細を付けるか？

下位グループのアラートメールを受け取るか？

・ポップアップ

「表示しない」または「表示する」

メッセージの入力

アラート詳細を表示するか？

3. 4 運用管理

3. 4. 1 ライセンスの登録・更新

使用オプションを変更したり、登録可能管理対象を変更したりする場合にはライセンスの更新が必要です。ライセンス情報の内容を変更する場合には、蒼天もしくは販売店までご連絡ください。

ライセンス情報表示

ライセンス情報

お客様番号	2002	
ご利用期限	無期限	ライセンス設定日時 2008/03/28 02:06:03
登録可能ホーリングサーバ	無制限	現在登録数 1 台
登録可能クライアントPC	200 台	現在登録数 5 台
LogVillage リリースバージョン	V02.01.00.00	
マネージャのバージョン	V02.01.00.00	
データベースバージョン	V02.01.00.00	

利用可能機能

- 移動管理パッケージ
- 資産管理オプション
- 操作管理オプション
- ファイル更新履歴オプション

[ライセンス更新](#) ①

①「ライセンス更新」をクリックしてください。

ライセンス更新

[ライセンス情報表示](#)

ライセンス更新

ライセンスコード

登録する ②

②発行されたライセンスをライセンスコードの欄に入力し、「登録ボタン」をクリックします。

3. 4. 2 LogVillage へのログイン履歴

LogVillage へのログイン履歴を確認することができます。

LogVillageへのログイン履歴

LogVillageへのログイン履歴の検索、参照を行います。
ログイン履歴情報の収集設定や削除はログイン履歴の取得設定と削除より行って下さい。

[ログイン履歴の取得設定と削除](#)

表示期間の設定

開始日 終了日

2008年 04月 --日 (日付が"--"は月次表示) 2008年 04月 2日

[CSVダウンロード](#)

日付▼	ユーザー名▼	アクセス元▼	認証
2008-03-28 15:37:43	ishikawa	192.168.5.46	成功
2008-03-28 16:54:40	ishikawa	192.168.5.46	成功
2008-03-28 17:28:24	ishikawa	192.168.5.44	成功
2008-03-31 08:37:38	ishikawa	192.168.5.46	成功
2008-03-31 09:48:03	ishikawa	192.168.5.44	成功
2008-03-31 09:51:24	ishikawa	192.168.5.44	成功
2008-03-31 09:54:07	admin	192.168.5.44	成功
2008-03-31 19:38:47	ishikawa	192.168.5.46	成功
2008-03-31 19:43:07	admin	192.168.5.46	成功
2008-04-02 16:36:35	admin	192.168.5.44	成功
2008-04-02 16:39:24	admin	192.168.5.44	成功

■設定方法

「ログイン履歴の取得設定と削除」をクリックします。

ログイン履歴の取得設定と削除

[LogVillageへのログイン履歴画面へ戻る](#)

LogVillageへのログイン履歴を取得する

ログイン履歴の削除
一度削除するとログイン履歴データの復活ができませんのでご注意ください。

日以上古いログイン履歴を全て削除(0日とすると全て削除されます)

2008年 05月 12日 ~ 2008年 05月 12日の期間のログイン履歴を全て削除

・履歴を取得する。

「LogVillage へのログイン履歴を取得する」にチェックを入れ、「設定する」をクリックします。

・ログイン履歴の削除

・〇〇日以上古いログイン履歴を全て削除

・日付指定

のどちらかを選択し、「設定する」ボタンをクリックします。

✓一度削除するとログイン履歴データの復活ができませんのでご注意ください。

3. 4. 3 LogVillageの稼働モニター

稼働中の状況が確認できます。赤丸はエラーとなります。



■期間指定

詳細設定をクリックすると期間指定が可能です。

■詳細表示

日付をクリックすると詳細の稼働状況が確認できます。

稼働モニター(詳細)					
LogVillageの稼働モニター					
2008/04/18の稼働状況 一日の稼働の中でエラーが発生した場合は●が表示されます					
ボーリングサーバ					
ボーリングサーバ名	最終稼働日時	一日の稼働状況	最後に出力されたエラーメッセージ	CSVダウンロード	
LV-P	2008-04-18 21:08:31	●	[E]NetAddConnection 失敗#Vista-PC2\admin\$アクセスが拒否されました。「システム エラー 5 が発生しました。」	ダウンロードする	
管理対象PC					
コンピュータ名	グループ名	最終稼働日時	一日の稼働状況	最後に出力されたエラーメッセージ	CSVダウンロード
vm-winxp	ALL	2008-04-18 21:05:23	●		ダウンロードする
Vista-PC2	ALL	2008-04-18 21:05:23	●	[E][H2]レジストリキーが見つからない	ダウンロードする
vm-ishikawa	ALL	2008-04-18 21:05:23	●		ダウンロードする
w2kwork	ALL	2008-04-18 21:05:23	●	[E][H4]レジストリキーが見つからない	ダウンロードする
win2003-default	ALL	2008-04-18 21:05:23	●	[E][H5]レジストリキーが見つからない	ダウンロードする
ishikawa	営業本部	2008-04-18 21:05:23	●	[E][H6]のアプリケーション情報取得が失敗しました	ダウンロードする

✓最終稼働日時は、PS が管理対象 PC にアクセスした日時となります。管理対象 PC が見つからなかった場合は、エラーとなりません。稼働データの採取の際、失敗するとエラーとなります。

- ・コンピュータ毎に CSV ファイルへのダウンロードが可能です。

```
コンピュータ名,グループ名,稼働日時,稼働状況,エラーメッセージ
ishikawa,営業本部,"2008-04-18 09:39:07",情報," [I] [C:¥Program
Files¥S0-TEN¥LogVillage¥PServer¥tmpdata¥LV-6-1220080418093816] WMI稼働デ
ータ出力終了"
ishikawa,営業本部,"2008-04-18 09:39:07",情報," [I] [H:6] CPU例外: [a
CPdhException occurred, Error:指定されたコンピュータに接続できないか、ま
たはコンピュータがオフラインです。] "
ishikawa,営業本部,"2008-04-18 09:39:07",情報," [I] [H:6] NIC例外: [a
CPdhException occurred, Error:指定されたコンピュータに接続できないか、ま
たはコンピュータがオフラインです。] "
ishikawa,営業本部,"2008-04-18 09:39:07",情報, [I] [H:6] WMI情報開始
ishikawa,営業本部,"2008-04-18 09:39:07",情報, [I] [H:6] WMI情報終了
ishikawa,営業本部,"2008-04-18 09:39:07",情報, [I] [H:6] アプリケーショ
ン情報取得開始
ishikawa,営業本部,"2008-04-18 09:39:07",情報," [I] [H:6] ディスク例外:
[a CPdhException occurred, Error:指定されたコンピュータに接続できないか、
またはコンピュータがオフラインです。] "
:
:
```

3. 4. 4 ユーザー情報変更

現在ログインしているユーザー自身のメールアドレスとパスワードを変更することが可能です。

■変更

①「変更する」をクリックします。

ID	メールアドレス	備考
admin	ishikawa@so-ten.co.jp	変更する

②変更のある項目を入力して「登録する」をクリックします。

ID	メールアドレス	備考
admin	ishikawa@so-ten.co.jp	変更する

ID	admin
パスワード	<input type="text"/> 空白の場合パスワードは変更しません
パスワード確認	<input type="text"/>
メールアドレス	ishikawa@so-ten.co.jp セミコロン「:」区切りで複数登録
備考	<input type="text"/>

4. お問い合わせ

本製品に対するご意見、ご質問はメール、TEL、FAXにて下記までお問い合わせ下さい。
お問い合わせの内容によっては、ご返答に多少お時間を頂戴する場合がありますので、予めご了承ください。

〒135-0064 東京都江東区福住 1-14-4 山崎ビル 1F
株式会社蒼天 サポートセンター

e-mail : support@so-ten.co.jp
TEL : 03-5809-8406
FAX : 03-5809-8495
受付・対応時間 : 月～金曜日（祝祭日、年末年始休暇除く）
10:00～17:00

お問い合わせの際、以下の内容をご記載下さいますようお願い申し上げます。

お客様番号

* 「システム設定」⇒「ライセンス登録・更新」画面に表示されます。

会社名（団体、学校名）、ご部署名

ご担当者名

メールアドレス

電話番号

FAX 番号

お問い合わせの内容（できるだけ詳しくお書き下さい）

実行環境

コンピュータメーカー名：

型番：

メモリー容量：

ハードディスク容量または種類：

OSバージョン：

サービスパック：

<< 補足資料 >>

■LogVillageMgrの再起動

- ① [コントロールパネル] [サービス] から、下記のサービスを停止します。

Apache2
LV_M_MonitorSrv
LV_ManagerServer
Embedded Database - LOGVILLAGE2

- ② [コントロールパネル] [サービス] から、下記のサービスを開始します。

Embedded Database - LOGVILLAGE2
LV_M_MonitorSrv
Apache2

- ③ 「LV_M_MonitorSrv」 起動後、「LV_ManagerServer」 が開始される事を確認します。

■LogVillagePSの再起動

- ① [コントロールパネル] [サービス] から、下記のサービスを停止します。

LV_P_MonitorSrv

- ② [タスクマネージャ] [プロセス] から、下記のサービスを選択し、「プロセスの終了」を実施します。

LV_PollingServer.exe

- ③ [コントロールパネル] [サービス] から、下記のサービスを起動します。

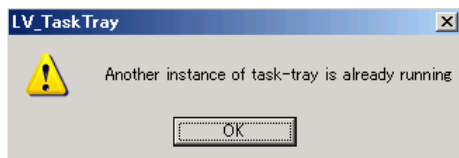
LV_P_MonitorSrv

- ④ [タスクマネージャ] [プロセス] に「LV_PollingServer.exe」が表示されることを確認します。

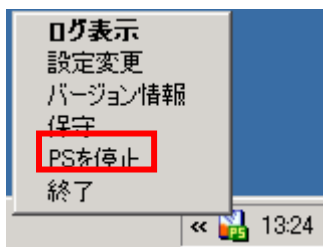
■LogVillagePSの終了方法

①Windowsのスタートメニューから、[すべてのプログラム] [S0-TEN] [LogVillage 2.0 ポーリングサーバー] [LV_TaskTray (PS)の起動]を実施します。

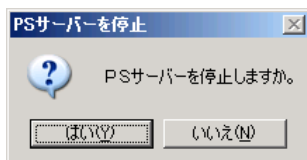
※起動中の場合、以下のメッセージが表示されます。
OKでダイアログを閉じてください。



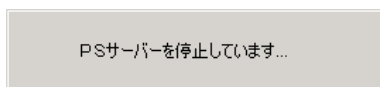
②タスクトレイアイコン  を右クリックします。



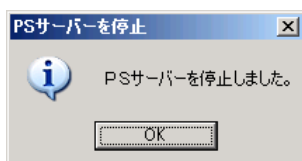
③「PSを停止」をクリックします。



④「はい」をクリックします。



上図が消えるまでお待ちください。



⑤「OK」をクリックします。

※起動する場合は[サービス]「LV_P_MonitorSrv」を起動してください。



株式会社 蒼天

〒135-0064 東京都江東区福住 1-14-4 山崎ビル 1F
<http://www.so-ten.co.jp/>

改訂履歴 ※PDF ファイルには、このページを入れない事！

Revision	発行日	改訂履歴
MU-20-20091113	2009年11月13日	3. 1. ポーリングサーバーの設定とステータスの画面キャプチャを変更 3. 2. グループ毎の設定に保有ライセンス登録を追加 3. 3. アラートポリシーの一部にステータスを追加 プロセス: 定期を追加 アプリケーション: ステータスの記述を追加 補足資料に Mgr と PS の再起動方法を追加
MU-20-20101122	2010年11月22日	2. 3. 1 PC 資産管理台帳に注意点を追加追加 ソフトウェア台帳画面キャプチャ変更 2. 4. 3 ログオン・オフ履歴に Win7, 2008 を追加 管理対象フォルダ設定に Config.ini の情報を追加 保有ライセンスの画面キャプチャなどを変更 3. 3 アラートポリシーの設定 禁止デバイスの接続、アプリケーション・インストールの検知の画面キャプチャなどを変更
MU-23-20120220	2012年2月20日	画面デザイン変更に伴う修正 ファイル管理機能変更に伴う修正 システム設定の項目名変更、並び順の変更に伴う修正
	2012年4月16日	2. 4. 3 ログオン・オフ履歴 ログオフ(例外)について追記。
MU-23-20120809	2012年8月9日	補足資料 DB サービス名を「Embedded Database – LOGVILLAGE2」に変更
MU-23-20120918	2012年9月18日	3. 1. 3. 管理対象 PC 自動設定ツールの内容を修正 ■登録した管理対象 PC のログ接続確認 を追加
MU-23-20161026	2016年10月26日	3. 3. 2. 禁止印刷ファイル/枚数制限 枚数アラートの内容を修正
MU-23-20161220	2016年12月20日	全般 新 UI 画像に変更 3. 3. 4 禁止デバイス接続 部分一致設定を追記
MU-23-20170927	2017年10月2日	2. 5. ネットワークスキャン 3-1-9. ネットワークスキャン設定 3-1-10. ネットワークスキャンアラート設定 を追加